# 大学番号 私立266

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分: 学部の設置

注1



# 広島経済大学 メディアビジネス学部 ビジネス情報学科 注2

# 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 学校法人石田学園 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部(総務課)

電話番号 082-871-1000

(夜間) 082-871-1000

e —mail ssc@hue.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

#### 例)

- ・大学の設置の場合:「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

· / —		レントツー	<i>د</i> — د	ᅭᅲᇝ
メディ	<i>( ) /</i>	ヒンィ	ィスニ	<del>了</del> '台以

< t	ごジネス情報学科>														^∘	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	3
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	20
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	21
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	22
6.	附帯事項等に対する履行状況等	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	41
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•				•		•	•	•	•	•	•	•	42

## 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人石田学園

- (2) 大 学 名 広島経済大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

#### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	( イシダ ツネオ ) 石田 恒夫 (現職就任平成11年9月)		
学 長	( オダニ ユキオ ) <b>小谷 幸生</b> (現職就任平成29年4月)	( イシダ ユウコ ) 石田 優子 (現職就任令和3年4月)	任期満了に伴い令和3年4 月1日に変更(3)
学 部 長	(キタノ ヒサト) <b>北野 尚人</b> (現職就任平成31年4月)		
学科長等	(ニワ ケイイチ) <b>丹羽 啓一</b> (現職就任平成31年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/用 75
メディアビジネス学部 ビジネス情報学科 学士 (経営学)	経済学関係	4年	80人	年次 人		新規入学者を 募集中	

- 注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和力	元年度	令和2	2 年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和	1 5	年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入	.学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1)#1	75
	λ,	30	人 8	n X	, S	10	人	\( \)		人	人				
A 入学定員		<b>–</b> )	(-			<b>-</b> )	(	)	(		)				
	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[	]	[		]				
	356	_	449	1	408	_									
志願者数	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	( )	( )	(	)	( )				
	[3]	[-]	[6]	[-]	[6]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
	356	_	444	_	401	_									
受験者数	(-)	(-)	(0)	(-)	(-)	(-)	( )	( )	(	)	( )	0.91倍	一 倍		
	[3]	[-]	[6]	[-]	[6]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
	168	_	209	_	224	_									
合格者数	(-)	(-)	(0)	(-)	(-)	(-)	( )	( )	(	)	( )				
	[2]	[-]	[5]	[-]	[ 3 ]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
	72	_	85	_	61	_									
B 入学者数	(-)	(-)	(0)	(-)	(-)	(-)	( )	( )	(	)	( )				
	[2]	[-]	[4]	[-]	[1]	[-]	[ ]	[ ]	[	]	[ ]				
入学定員超過率 B/A	0.	90	1.	06	0.	76									

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	9 年度	平成3	0年度	令和力	年度	令和 2	2年度	令和:	3年度	 ±	考
学	年	春季入学	その他の学期	Ħ	<b>1</b> 5								
						72	_	85	_	61	_		
	1 年次					[2]	[-]	[4]	[-]	[1]	[-]		
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
								67	_	81	_		
	2 年次							[1]	[-]	[4]	[-]		
								(-)	(-)	(-)	(-)		
										57	_		
	3 年次									[1]	[-]		
		_		_		_		_		(3)	(-)		
										_	_		
	4 年次									[-]	[-]		
		_		_			_			(-)	(-)		
							2		52		99		
	計						2]		5]		6]		
						(-	-)	(-	-)	(;	3)		

- ・令和3年5月1日 公表
  - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
    - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
    - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
    - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
    - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
    - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	内訳退学	者数うち留学生数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
平成29年度	人	人				
平成30年度	<b>.</b>	<b>.</b>				
令和元年度	72 人	3 人	令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学(1),家庭の事情(1),その他(1)
令和2年度	157 人	2 人	令和元年度	2人	1人	他の教育機関への入学(1).[他の教育機関への入学(1)]
令和3年度	218 人	11 人	令和元年度 令和2年度 令和3年度	7 人 4 人 0 人	0 A 0 A	他の教育機関への入学・転学(1),学生個人の心身に関する事情(1),学力不足(2),就学意欲の低下(2),就職(1) 他の教育機関への入学・転学(1),学生個人の心身に関する事情(1),就学意欲の低下(1),就職(1)
合 計		16 人		16 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

#### (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) #DIV/0! % 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 4.16 % 72 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 2 157 1.27 % 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) - = -5.04 % 令和3年度の在学者数(b)

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

# 2 授業科目の概要

# <メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

#### (1)一① 授業科目表

## 【認可時又は届出時】

		配	į	单位数	汝	専	任教	]員等	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
E-71		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共外基	必修英語A I	1前	1								6
通国碛 科語科	必修英語AⅡ	1後	1								6
	必修英語B I	1前	1								11
○目全	必修英語BⅡ	1後	1								11
全学部学科共通	必修英語C I	1通	1								2
学	必修英語CⅡ	2通	1								1
科 #	英語理解•基礎徹底 I	2前		1							2
通	英語理解・基礎徹底Ⅱ	2後		1							2
$\sim$	英語理解・標準 I	2前		1							2
	英語理解・標準Ⅱ	2後		1							2
	英語理解・発展 I	2前		1							2
	英語理解·発展 II 英語表現·基礎徹底 I	2後		1							2
	英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
	英語表現・標準 [	2後 2前		1							2
	英語表現・標準 II	2例		1							2
	英語表現・発展 [	2前		1							1
	英語表現·発展 II	2後		1							1
	海外研修英語 I	1前		1							1
	海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
	ビジネス英語 I	1前		1							1
	ビジネス英語Ⅱ	1後		1							1
	基礎英会話I	1前		1							1
	基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
	発展英会話 I	1前		1							1
	発展英会話Ⅱ	1後		1							1
	資格英語 I	1前		1							2
	資格英語Ⅱ	1後		1							2
	資格英語Ⅲ	1前		1							1
	資格英語Ⅳ	1後		1							1
	Academic Writing in English	2休		1							1
	フランス語 I	1前		1							1
	フランス語 Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語 I	1前		1							1
	ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語 I	1前		1							1
	スペイン語 II	1後		1							1
	中国語I	1前		1							1
	中国語 I 韓国語 I	1後		1							1
	韓国語Ⅱ	1前		1							1
	  インドネシア語 I	1後		1							1
	インドネシア語Ⅱ	1前 1後		1							1
	小計(43科目)	- 1友	6	37	0						29
日	日本語文章表現	1前・後	2	37							5
本	文章検演習	4前・後	_		2						2
語文	ビジネス日本語演習	1前・後		2	-						3
章	日本語演習・標準	1前・後		2							1
表 現	文章表現演習・標準	1前・後		2							4
科日	日本語演習·発展	2前		2							1
目	文章表現演習·発展	2前・後		2							1
	小計(7科目)	-	2	10	2						8
自コ	日本の歴史Ⅰ	1前		2							1
旦理	日本の歴史Ⅱ	1前		2							1
解	日本の歴史Ⅲ	1後		2							1
系科	広島の歴史と文化	1後		2							2
目	日本の思想と文化	1前		2							1
	日本の宗教	1後		2							1
	日本の地理	1前・後		2							1
	日本の法律	1後		2							1
11	日本の政治	1前・後		2					ĺ		1

#### 【令和3年度】

				配	<u>È</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	日分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
_	.,,			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共名			必修英語A I	1前	1								7
	国石	楚科	必修英語AⅡ	1後	1								8
目	科目		必修英語B I	1前	1								11
全	B		必修英語BⅡ	1後	1								12
全学			必修英語C I	1通	1								2
部学			必修英語CⅡ	2通	1								2
科			英語理解・基礎徹底 I	2前		1							2
共通			英語理解・基礎徹底 Ⅱ	2後		1							2
$\overline{}$			英語理解·標準 I	2前		1							2
			英語理解・標準 Ⅱ	2後		1							2
			英語理解·発展I	2前		1							2
			英語理解・発展 Ⅱ	2後		1							2
			英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
			英語表現・基礎徹底Ⅱ	2後		1							2
			英語表現·標準 I	2前		1							3
			英語表現・標準Ⅱ	2後		1							3
			英語表現·発展I	2前		1							1
			英語表現・発展Ⅱ	2後		1							1
			海外研修英語Ⅰ	1前		1							1
			海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
			ビジネス英語Ⅰ	1前		1							1
			ビジネス英語 II 基礎英会話 I	1後		1							1
			基礎英会話Ⅱ	1前		1							1
			を使失云記 I 発展英会話 I	1後		1							1
			発展英会話Ⅱ	1前 1後		1							1
			資格英語 I	1前		1							3
			資格英語 Ⅱ	1後		1							3
			資格英語Ⅲ	1前		1							1
			資格英語Ⅳ	1後		1							1
			Academic Writing in English	2休		1							1
			フランス語 I	1前		1							1
			フランス語 II	1後		1							1
			ドイツ語 I	1前		1							1
			ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1
			スペイン語 I	1前		1							1
			スペイン語 Ⅱ	1後		1							1
			中国語 I	1前		1							1
			中国語Ⅱ	1後		1							1
			韓国語 I	1前		1							1
			韓国語Ⅱ	1後		1							1
I			インドネシア語 Ι	1前		1							1
I			インドネシア語 Ⅱ	1後		1							1
	╛		小計(43科目)	_	6	37	0						29
lſ	日本		日本語文章表現	1前・後	2								4
	語		文章検演習	4前·後			2						2
I	文章		ビジネス日本語演習	1前・後		2							2
I	表		日本語演習•標準	1前・後		2							1
	現科		文章表現演習・標準	1前・後		2							3
	目		日本語演習・発展	2前		2							1
			文章表現演習・発展	2前・後		2							1
I þ	_		小計(7科目)	-	2	10	2						7
I	自己		日本の歴史I	1前		2							1
	理	!	日本の歴史Ⅱ	1前		2							1
	解系		日本の歴史皿	1後		2							1
I	科		広島の歴史と文化	1後		2							2
	目		日本の思想と文化	1前		2							1
			日本の宗教	1後		2							1
			日本の地理	1前・後		2							1
			日本の法律 日本の政治	1後		2							1
Ц 7			ロ个の以口	1前・後		2					<u> </u>		1

г			配		単位数	itr	甫	<b>「</b> 任 教	·吕笙	の配	置	兼
	計目	授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助助	助	任・
[2	⊠分	12 X 17 L 07 L 107	年次					教				兼
Ħ,	科自	日本国憲法 I	1前	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担 1
通	目己	日本国憲法Ⅱ	1後		2							1
科目	理解		. 12		_							·
←	系	小計(11科目)	-	0	22	0						9
全学	他	世界の歴史 I	1前		2							2
部学科	者理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							2
科#	解系	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
共通	科	世界の思想と現代社会Ⅱ	1後		2							1
$\sim$	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
		世界の宗教 世界の地理 I	1前		2							2
		世界の地理Ⅱ	1後 1前		2							1
		世界の憲法	1後		2							1
					_							
		小計(9科目)	-	0	18	0						8
	基	社会心理学	1後		2							1
	礎教	生命倫理	1前		2							1
	養科	日本文学A	1前		2							1
	Ħ	日本文学B	1後		2							1
		外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権 環境法	1後 1後		2							1
		<sup>環境法</sup> テクノロジーと社会・経済	1伎 1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1削		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2							1
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習 小計(19科目)	1前・後	0	1 37	0						3 17
Н		共通科目計		8	124	2						17
H		大学入門ゼミ	1前・後	2	127		4	2		2		1
全	L.	興動人入門ゼミ	1前・後	2			4	2		2		1
一学部学	ゼミ	プレゼミ	2後	2			4	2		2		
子科共	科目	演習 I	3通	4			4	2		2		
通	1	演習Ⅱ	4通	6			4	2		2		
Ĺ		小計(5科目)	-	16	0	0	4	2		2		1
台上	目①	ゼミ科目計	-	16	0	0						
カ	税	簿記論 I 簿記論 Ⅱ	1前		4							1
開発	理士	與記論Ⅱ 財務諸表論Ⅰ	1後 1前		4							1
科	関	財務諸表論Ⅱ	1後		4							1
		小計(4科目)	-	0	16	0						1
全学		資産運用実務 I	2前		4							3
部	ドロン関係科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	資産運用実務Ⅱ	2後		4							3
学科		小計(2科目)	_	0	8	0						3
共	士③ 関宅	不動産実務法務I	1後		4							1
通	係建	不動産実務法務Ⅱ	2前		2							1
	目物取	不動産実務法務Ⅲ	2前	_	2	^	_					1
	51 F @	小計(3科目) IT戦略とマネージメント	_ ე <del>ქ/</del> i	0	8	0	_					1
	関I 係T 科バ	情報化技術	2前 2後		4							1
	日スポー	小計(2科目)	- 仅	0	8	0						1
		資本市場の役割と証券投資	2前	Ť	2	-						2
	関係科目 (株)提供 の野村證券	小計(1科目)	-	0	2	0						2
	プログラム 大学校研集	中小企業大学校研修プログラム ※受講する科目数によって単位を決定	2		1又は2							
L	ラ研企 ム体業	小計(1科目)	-	0	1又は2	0						
_		<b>上</b> 力開発科目計	- :	0	43又は 44	0						
キャリア	置なぐに こ々せら	キャリアスキルズI	2前		2							1
ア 科 目	関すず 様子 日ラン	キャリアスキルズ II	2後	_	2	_	-					1
(全学部	関②	小計(2科目)	- 1 前	0	4	0	-					2
部学科共通	係就 科聯 日対	社会人基礎学力基礎 社会人基礎学力応用	1前 1後		2							1
共通)	無試	小計(2科目)	1仮	0	4	0	_					2
ш	験	* HI \="IT III /		J	_ ¬	v	_	<b>L</b>		<u> </u>		

			配	ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	4目	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
12	277		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	科自	日本国憲法 I	1前	_ I'≥	2	Ш	12	12	Dib	- 33	7	1
通科	目己理	日本国憲法Ⅱ	1後	İ	2							1
目	解	日本外交史	1前	İ	2							1
$\widehat{\Box}$	系	小計(12科目)	-	0	24	0						10
全. 学	他	世界の歴史 I	1前		2							1
部	者理	世界の歴史Ⅱ	1後	İ	2							1
学科	解	世界の思想と現代社会 I	1前・後	İ	2							1
共	系	世界の思想と現代社会 II	1前	İ	2							1
通	科目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休	İ	2							1
		世界の宗教	1前	İ	2							2
		世界の地理 I	1後	İ	2							1
		世界の地理Ⅱ	1前	İ	2							1
		世界の憲法	1休	İ	2							1
		国際関係史	1後	İ	2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0						8
ŀ	基	社会心理学	1後	-	20	-						1
	礎	生命倫理		İ								ı
	教養	日本文学A	1前	İ	2							1
	科		1前	İ	2							1
	目	日本文学B	1後	İ	2	i l						1
		外国文学A	1後		2		l	ĺ				3
		現代社会と人権	1後		2		l	ĺ				1
		環境法	1前		2		l	ĺ				1
		テクノロジーと社会・経済	1前		2		l	ĺ				1
		情報とネットワーク社会	1後		2		l	ĺ				1
		数学A	1前		2		l	ĺ				1
		数学B	1後	İ	2	i l						1
		数学C	2前	İ	2	i l						1
		自然科学A	1前	İ	2							1
		自然科学B	1後	İ	2							1
		自然科学C	1休	İ	2	i l						1
		スポーツ科学	1後	İ	2	i l						1
		健康科学	1後	İ	2	i l						1
		メンタルヘルス論	1後	İ	2	i l						1
		スポーツ実習	1前・後	İ	1	i l						4
		小計(19科目)	_	0	37	0						19
		共通科目計	-	8	128	2						
_		大学入門ゼミ	1前・後	2			4	3		1		2
全学	ゼ	興動人入門ゼミ	1前・後	2			4	3		1		2
学部学	Ξ	プレゼミ	2後	2			4	3		1		ĺ
科	科目	演習 I	3通	4			4	3		1		ĺ
共通	1	演習Ⅱ	4通	6			4	3		1		
~		小計(5科目)	ı	16	0	0	4	3		1		2
		ゼミ科目計	-	16	0	0						
	目	簿記論 I	1前		4							1
力開	税理	簿記論Ⅱ	1後		4		l	ĺ				1
発	±	財務諸表論 I	1前		4							1
科目	関係	財務諸表論Ⅱ	1後	L	4	L	L	L	L			1
_	科	小計(4科目)	ı	0	16	0						1
全学	Fル② C ブフ し ライ 係ナナ 科 I ン	資産運用実務 I	2前		4							2
部	関ンイ 係ナナ 科 I シ	資産運用実務Ⅱ	2後	L	4			L	L			2
学 科	H · D	小計(2科目)	_	0	8	0						2
共	士③ 関宅	不動産実務法務 [	1後		4							1
通	展 係 地 科建	不動産実務法務Ⅱ	2前		2		l	ĺ				1
	目物	不動産実務法務Ⅲ	2前	L	2	L	L	L	L		L	1
	取引	小計(3科目)	-	0	8	0						1
ſ	ト ④ 関 I	IT戦略とマネージメント	2前		4							1
	係 T 料パ 目ス	情報化技術	2後		4		l	ĺ				1
	- # -	小計(2科目)	-	0	8	0						1
f	関一の 係務野 科…村	資本市場の役割と証券投資	2前		2							2
	料。村 目提證 供养	小計(1科目)	-	0	2	0						2
ŀ	ブ大名ロ学中	中小企業大学校研修プログラム ※受講する科目数によって単位を決定	2		1又は2							Г
	グ校小 ラ研企 ム修業	小計(1科目)	<u> </u>	0	1又は2	0						Г
		(力開発科目計	_	0	43又は	0						Н
牛	= 0 > + 5 +	キャリアスキルズ I	2前	Ť	2	H						1
IJ	グ ヤ 関 リ 係 ア	キャリアスキルズⅡ	2後		2							1
ア科目(	関リ 係ア 科ラシ	小計(2科目)	- 仅	0	4	0				<b>—</b>		<u> </u>
全	関②	社会人基礎学力基礎	٠.	H	2	U	-		<b>-</b>	-		1
学		エムハ全処丁刀至災	1前・🌺	i	۷ ا	1	I	ĺ	ĺ			ı '
学部学科	料職	<b>社会人基礎学も広田</b>		1	2	, ,	1					- 4
全学部学科共通 )		社会人基礎学力応用 小計(2科目)	1前・後	0	2	0						1

Γ			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	]員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
キャ	関3 係数 科員	教職教養	3後		2							1
リア	日採用試	思考力開発 小計(2科目)	3後	_	2	0						1
科	験 日文② 接女	/   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑	- 1前	0	4	0						3
<b>=</b>	関子 係字 料生	小計(1科目)	-	0	2	0						3
全学	シ⑤ ッイ ブン	インターンシップ I (国内)	2前		2		1					9
部学	ター	インターンシップ Ⅱ (海外)	3通		4							3
科共	ン ブタモ トテ	小計(2科目)	-	0	6	0	1					12
通	一字 かく	学校インターンシップ 小計(1科目)	2	0	2	0						
F	-	キャリア科目計	-	0	22	0						
興	元	わが人生の転機 I (教職員編)	1前		2							2
動館	気力	わが人生の転機 II (同窓生編)	1後		2							2
科目		「笑い」のパワー・生きるカ	1休		2							2
へ 全		禅(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前·後 1前·後		2							2
学		小計(5科目)	-	0	10	0						9
部学	企画	瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	1前		2							1
科共	画力	企画力養成講座	1前		2							1
通		経営実践	1休		2							1
		みんなで教材を創ろう プロスポーツによる広島活性化講座	1前 1前		2							1
		「私たちの広島」PR実践	1削 1後		2							1
		文芸創作実践	1後		2							1
		コピーライティング実践講座	1前		2							1
		興動館プロジェクトと企画カ	1前		2							1
		人の行動を経済学で読み解く 小計(10科目)	1後	_	2	0	1					2
	行	ブ・百 ( 104年日 ) ビジネス・シミュレーション・ゲーム	- 1前	0	20	0	1					11
	動力	身近なボランティア活動	1後		2							1
	,,	NPO・NGOの立ち上げと活動	1前		2							1
		戦略MG(マネジメントゲーム)	1前・後		2							1
		興動館プロジェクトの計画と実施 興動館プロジェクトの評価と改善	1前		2							1
		森の社会貢献実践	1後 1休		2							1
		興動館プロジェクトの経営戦略	1後		2							1
		小計(8科目)	_	0	16	0						6
	共生	広い世界に飛び出そう	1後		2							2
	カ	ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう スポーツで学ぶ共生力	1後		2							1
		コミュニケーション実践	1前 1後		2							1
		広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
		興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
		ユニバーサルデザイン実践	1後	_	2	_						1
H		小計(7科目) 興動館科目計	_	0	14	0	_					8
留	正	央 動 語 科 日 司 日本語 A	1前・後	0	60	0						2
学生	規留	日本語B	1前・後		2							2
科目	学生	日本語(基礎A)	1前		1							1
$\overline{}$	の	日本語(基礎B)	1前		1							1
全学部学科	日本	日本語(基礎C) 日本語(基礎D)	1前 1谷		1							1
部学	語関	日本語(基礎E)	1後 1後		1							1
科共	係	日本語(基礎F)	1後		1							1
共通	科目	日本語(発展A)	2前		1							1
$\vdash$		日本語(発展B)	2前		1							1
		日本語(発展C) ビジネス日本語A	2前 2谷		1							1
		ビジネス日本語B	2後 2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後		1							1
L		小計(14科目)	-	0	16	0						5
留学生	交換	Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
生科目	留学	Practical Management Theory for International Students I	1後		2							1
_	生	Independent Study I Independent Study II	1前 1後		2							1
全学部	科目	Independent StudyⅢ	1前		2							1
部 学 科		Independent StudyIV	1後		2							1
共通		Japanese Law and Society I	1前		2							1
٣		Japanese Law and Society II	1後		2							1

日本	兼	助手			教	授	0	択 2 2		年次 3後		分	2
株   根   根   根   根   根   根   根   根   根	手	手	教	師			0	2	修	3後	AVE TIAL AVE SEE	阿③	エ
1	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					0		2			サル かん サル 幸幸	M 3	土
思考カ開発   3休   2	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					0				~ ! !	教職教養	杜昌	
	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					0		4		3		日採用	IJ
日	2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					0			0	_	小計(2科目)	験	
全学部	1 3 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1					0		_		1前		接女関子	
1	22 11 11 11 11 11 11 11					U	0		0	-		÷(5)	
中の	1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1											ブン	
学校インターンシップ   2   2   0   1   1   1   1   1   1   1   1   1	2 1 2 2 1 1 1 1 1 1					_	_	-	_	3进		ر ا د	学
	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1					U	U		U	-		796 12	
キャリア科目計	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1						n		_	_		ン校 シイ マン	通
元	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1									_		_	_
動館	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1						_		Ť	1前		元	- 1
F(E) 10パワー・生きるカ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							2		1後	わが人生の転機 II (同窓生編)		
全学	1 1 1 1 1 1 1							2		1休	「笑い」のパワー・生きるカ	,,	科
学   小計 (5科目)	1 1 1 1 1 1							2		1前・後	禅(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう		日
1	1 1 1 1							2		1前・後	ライフプラン(人生設計)でやる気づくり		全
(本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (本)   (**)	1 1 1						0	10	0	-	小計(5科目)		
大   大   大   大   大   大   大   大	1 1 1												
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	1												共
プロスボーツによる広島活性化薄離   1前   2   1後   2   2   2   2   2   2   2   2   2	1												通
「私たちの広島」PR実践 1後 2 1後 2 1 1後 2 1 1前 2 1 1前 2 1 1前 2 1 1前 2 1 1前 2 1 1 1前 2 1 1 1 1	1												
文芸創作実践       1後       2         コピーライティング実践課産       1前       2         典動館プロジェクトと企画力       1後       2         人の行動を経済学で読み解く       1後       2         小計(10科目)       -       0       20         でジネス・シミュレーション・ゲーム       1依       2         身近なボランティア活動       1後       2         NPO・NGの立ち上げと活動       1前       2         関助館プロジェクトの計画と実施       月動館プロジェクトの経営戦略       2         関助館プロジェクトの経営戦略       1後       2         大会和大会員献等       1後       2         小計(8科目)       -       0       16       0         大会和し、プロー・ジョン実践       1位       2         大ペーツで学ぶ共生力       1方       2       1         スポーツで学ぶ共生力       1方       2       1         国際第四リンエクトとおまニケーション実践       1前       2       2         工バーサルデザイン実践       1後       2       2         本島とハフィで呼ばらりまざせ関係人       1       2       2         工バーサルデザイン実践       1後       2       2         小計(7科目)       -       0       14       0													
1前   2   1前   2   1前   2   1前   2   1前   2   1前   2   1													
異動館プロジェクトと企画力   1前   2   1前   2   1	- 1 -												
人の行動を経済学で読み解く 1後 2 0 0 0 0   1	- 1 7												
小計(10科目)	3					0					人の行動を経済学で読み解く		
カカ     カカ     カカ     カウ・NGOの立ち上げた活動     戦略MG(マネジメントゲーム)     関助館プロジェクトの計画と実施     関助館プロジェクトの評価と改善     森の社会貢献実践     関助館プロジェクトの経営戦略     オカ     オカ     オル計(8科目) - 0 16 0     カ計(8科目) - 0 16 0     カナー の 17 0     カナー の	1						0	20	0	-	小計(10科目)		
カ   身近な不つシイイイ   「	3							2		1休	ビジネス・シミュレーション・ゲーム		ŀ
<ul> <li>戦略MG(マネジメントゲーム) I前・後 2</li></ul>	1							2		1後	身近なボランティア活動		
	1							2		1前	NPO・NGOの立ち上げと活動		
現動館プロジェクトの評価と改善   1後 2   1	1												
森の社会貢献実践 1休 2 2 1後 2 小計(8科目) - 0 16 0 16 0 1 1	1												
現動館プロジェクトの経営戦略 1後 2   小計 (8科目)													
小計(8科目)													
共生力     広い世界に飛び出そう     1後     2       オームを選じてグローバル社会を開発しよう     1後     2       スポーツで学ぶ共生力     1前     2       コミュニケーション実践     1前     2       広島とハワイで学ぼう! めざせ国際人     1前     2       月動館プロジェクトとコミューケーション     1後     2       ユニバーサルデザイン実践     1後     2       小計(7科目)     0     14     0	1						0		_	一			
# カ	2						U		0	1径		共	ŀ
スポーツで学ぶ共生力 1前 2 コミュニケーション実践 1前 2 1前 2 1前 2 1前 2 1前 2 1前 2 1前 2 1 1 1 1	1												
コミュニケーション実践     1前     2       血島とハワイで呼ばう! めざせ国際人     1前     2       興動館プロジェクトとコミニケーション     1後     2       ユニバーサルデザイン実践     1後     2       小計(7科目)     -     0     14     0	1										スポーツで学ぶ共生力	71	
R	1							2		1前	コミュニケーション実践		
ユニバーサルデザイン実践 1後 2 小計(7科目) - 0 14 0	2							2		1前	広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人		
小計(7科目) - 0 14 0	1							2		1後	興動館プロジェクトとコミュニケーション		
	1												
興動館科日計	8												
	4						0		0	_			ជរា
留 正 日本語A 1前·後 2 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	2											規	学
4	1												
目生日本語(其礎民) 1前 1												生	
( の 日本語(基礎C) 1前 1   1   1   1   1   1   1   1   1													へ 全
学 本   <sub>日本語(其礎D)</sub>	- 1 -											本	学
部 語	- 1 7												学
科 係   日本語(基礎F)   124   1	1											係	科
共 科     日本語(発展A)     2前     1     1     1     1	1							1			日本語(発展A)		共通
□ 日本語(発展B) 2前 1	1							1			日本語(発展B)		~
日本語(発展C) 2前 1	1							1		2前	日本語(発展C)		
ビジネス日本語A   2後	1							1		2後			
ビジネス日本語B 2後 1	1												
ビジネス日本語C 2後 1	1						_		L_	2後			
小計(14科目)	5						0		0	- عد،		夵	密
学 换	1											換	学
													科
全 Independent Study II 1後 2	1	1										生	_
学 日 Independent StudyⅢ 1前 2	1	ı											学
	1		)	i l				2		1後	Independent StudyIV	_	学
	1										-		
学 Independent StudyIV 1後 2 共 Japanese Law and Society I 1前 2 通 Japanese Law and Society I 1 1前 2	1 1							2		1前	Japanese Law and Society I		

Ţ	. =		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	投	師	教	手	担
留学	交換	International Trade	1前・後		2							1
生	留											
科目	学生	Environment and Business	1前・後		2							1
п (	科	Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
全学	目	Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
部		Japan and the Environment	1前・後		2							1
学科		Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
<del>片</del>		Japanese Religion and Culture	1前・後	_	2							1
通		小計(15科目) 留学生科目計	_	0	30	0						7
教		笛字生件日訂 情報科教育法 I	_ 2 <del>±</del>	0	46	0						1
八職	各目に料 数の関す 数のする 数 、料 法	情報科教育法Ⅱ	3前 3後			2						1
関連	に教	教職入門	1前			2						2
科	関育	教育原理	1後			2						1
	すのる基	教育心理学 I	1後			2						1
	科礎	教育心理学Ⅱ	2前			2						1
	目的理	特別支援教育概論	2休			1						1
	解	教育制度論	2前			2						1
	数等进 育の想 相指	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後			2						1
	6.育稚族に関する科に関する科の指導法及び生徒18.で、総合的な学習の	教育方法学	2後			2						1
	すびな る生学 科技習	生徒·進路指導論	2前			2						1
	日指の 導幹 ・開	教育相談	2後	L		2	L	L				1
	関教	教育実習 I	3後・4通			1						5
	す育る実	教育実習Ⅲ	4前			2						5
	科践目に	教職実践演習(中·高)	4後			2						1
		小計(15科目)	-	0	0	28						10
. *!		<b>敗職関連科目計</b>	-	0	0	28						
ビジ	入門	経済入門	1後	2						1		
ネ	科	経営入門	1前	2						1		
ス情	目	ビジネス情報入門	1前	2				1		1		
報		コンピュータ入門	1前		2		1					
子科		情報処理基礎 情報入門演習S	1後		2		1	_				
科目		情報入門演習A	1前 1前	2	2		1	2				1
$\overline{}$		情報入門演習B	1後		2							1
経済		小計(8科目)		8	8	0	2	2		2		1
学	基	ビジネス概論	1後	2	Ť		1	_		_		Ė
関係	礎科	情報技術論	2前	_	2							1
分	目	ビジネスと戦略	2前		2					1		
野科		経営管理論基礎	2前		2							1
Ħ		経営情報論	2前・後		2							1
)		マーケティング論基礎	2前		2							1
		ビジネス統計学	2前		2		1					
		会計学基礎	2前		2							2
		ミクロ経済学基礎 I	2後		2							1
		マクロ経済学基礎 I	2後		2							1
		インターネット・マーケティング論	2後		2					1		
		コンピュータ基礎Ⅰ	2前		2		1					
		コンピュータ基礎Ⅱ	3前		2		1					
		情報処理論A 情報処理論B	2後 2後		2		1					
		情報処理論B 情報ネットワーク論	2後 2後		2		l '	1				
		情報活用演習A	2伎 1後		2			'				1
		情報活用演習B	1伎 2前		2							1
		情報活用演習C	2削 2後		2							1
		旧報店用演員 U Web演習	2版 2前		2					1		
		ビジネス情報入門ゼミ	2前	2	-		1	2		2		
		小計(21科目)	-	4	38	0	4	2		2		10
	発ビ	オペレーションズ・リサーチ	2前		2		1					
ノネス	展ジ・ネ	ビジネスデータ分析	3後		2		1					
情	応ス											
446	用科 科目	AIとビジネス	3後		2			1				
	目	電子金融取引I	3前		2					1		
_		電子金融取引Ⅱ	3後		2					1		
経		顧客関係管理と知的情報ベース	3後		2					1		
済世	1											
学関								ı	ı	1 4		
学関係		IT応用事例研究	3後		2					1		
学関		IT応用事例研究 プロジェクトマネジメント リスクマネジメント	3後 3前 3後		2 2 2					'		1

				配	Í	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	4日		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・・
-		'		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
留	交		International Trade	1前·後		2							1
学生	挡留		International Economics	1前・後		2							1
科	学		Environment and Business	1前・後		2		1					
目 (	生和		Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
全学	E	1	Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
部			Japan and the Environment			2							1
学科			Study on International Issues and Challenges  Japanese Religion and Culture	1前·後 1前·後		2							1
共通			小計( <b>16</b> 科目)	- 181	0	32	0	1					7
乪		_	留学生科目計	-	0	48	0	•					
教	各目数の日	に料開の	情報科教育法 I	3前			2						1
職関	. 6 2	る導料法	情報科教育法Ⅱ	3後			2						1
連刻	に関		教職入門	1前・機			2						2
	す	の	教育原理	1前・後			2						1
	る科		教育心理学 I	1後			2						1
	目	的	教育心理学Ⅱ	2前			2						1
		理解	特別支援教育概論	2休			1						1
	8.4	ii.	教育制度論 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2 <b>後</b> 3後	-		2						1
	相接機に対		教育方法学(教育課程論を含む)	3仮 2後			2						1
	日報技に関する科目	数な字	生徒・進路指導論	2版 2前			2						1
	科技品指	報告の報	教育相談	2後			2						1
	関	教	教育実習 I	3後・4通			1						5
	する	育実	教育実習Ⅲ	4前			2						5
	科	践	教職実践演習(中·高)	4後			2						1
	目		小計(15科目)	ı	0	0	28						11
Ľ	7	_	で で で で で で で で で に で に に に に に に に に に に に に に	-	0	0	28				<u> </u>		_
ニジ	<i>ا</i> ر	9	経済入門	1後	2						1		
ネス	科目		経営入門 ビジネス情報入門	1前	2				1 2		0		
情		1	コンピュータ入門	1前 1前		2		1	-		١		
報学			情報処理基礎	1後		2		1					
科			情報入門演習S	1前	2	_		1	0				1
科目			情報入門演習A	1前	-	2		1					1
(経			情報入門演習B	1後		2		L					1
斉			小計(8科目)	-	8	8	0	2	2		1		2
学関	基礎		ビジネス概論	1後	2			1					
係分	科	4	情報技術論	2前		2					_		1
分野	E	1	ビジネスと戦略 経営管理論基礎	2前		2		1			0		١,
科目			栓呂官坦···基礎 経営情報論	2前 <sub>2前·後</sub>		2							1
_			在呂頂報酬 マーケティング論基礎	2前後		2							1
			ビジネス統計学	2前 2前		2		1					Ι΄
			会計学基礎	2前		2							2
			ミクロ経済学基礎 I	2後		2							1
			マクロ経済学基礎 I	2後		2							1
			インターネット・マーケティング論	2後		2			1		0		
			コンピュータ基礎 I	2前		2		1					
			コンピュータ基礎Ⅱ	3前		2		1					
			情報処理論A	2後		2		1					
			情報処理論B	2後		2		1	4				
			情報ネットワーク論 情報活用演習A	2後		2			1				,
			情報活用演省A 情報活用演習B	1後 2前		2							1
			情報活用演習C	2削 2後		2							1
			Web演習	2 2前		2					1		
			ビジネス情報入門ゼミ	2前	2	-		3	3		1		
			小計(21科目)	-	4	38	0	4	3		1		10
ビジ		ビジ	オペレーションズ・リサーチ	2前		2		1					
ュ		ジネ	ビジネスデータ分析	3 <b>前</b>		2		1					
z	応	ス科	データサイエンスとビジネス	3後		2		1					
情報		目	AIとビジネス	3後		2			1				
情報学科	科		電子金融取引 I	3前		2					1		
情報学科科	科目		悪フム ひたつこ	011.		2		1	1	ı	1		
情報学科科目(経	科		電子金融取引Ⅱ	3後	1				4				
情報学科科目〈経済学	科		顧客関係管理と知的情報ベース	3後		2			1		0		
ネス情報学科科目 (経済学関係)	科		顧客関係管理と知的情報ベース デジタルビジネス論	3後 <b>3前</b>		2 2		1	1		0		
情報学科科目〈経済学関	科		顧客関係管理と知的情報ベース	3後		2		1	1				1

		配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
		次	修	択	由	授	投授	師	教	手	兼担
ビ発ビジ展ジ	生産管理論	3前		2							1
ン氏ン	流通システム論 I	2前		2							1
ス応ス	流通システム論 Ⅱ	2後		2							1
情用 <sup>科</sup> 報科目	中級簿記演習	1後		4							1
	情報システム論 I	2前		2			1				
科科目	情報システム論 Ⅱ	2後		2			1				
目目	データベース論	2後		2		1					
〜 ≰来	マルチメディア論	3前		2							1
済	データマイニング論	3前		2			1				
学明	情報社会と情報倫理	3前		2							1
係	情報と職業	3後		2							1
経済学関係分野科目ピジネス情	情報処理演習A	2前		2		1					
科ス	モバイルアプリ演習	2後		2		1					
目情報		2後		2					1		
演		2後		2							1
習科	情報システム演習	3前		2			1				
B	マルチメディア演習	3休		2							1
	データマイニング演習	3前		2			1				
	小計(27科目)	-	0	56	0	3	2		2		7
	ジネス情報学科科目 発学関係分野科目)計	-	12	102	0						
	合計(247科目)	-	36	397又 は398	30	4	2		2		127

卒業要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選 択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得す ること。 (科目区分)

- ①共通科目
- 1)必修科目8単位 2)選択必修科目14単位以上
- 3)選択科目8単位以上
- ②ゼミ科目
- 1) 必修科日16単位

17の時代日 10年10 ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目 (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

- 1)選択科目24単位以上
- ・・・ ニッパロ ロ マーキ ロ ルエ ④ビジネス情報学科科目(経済学関係分野科目) 1)必修科目12単位
- 2)選択科目42単位以上

#### 【履修方法】

【腹修方法】 履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年 次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。 ※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

-	_		配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区·		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
			次	修	択	由	授	投授	師	教	手	兼担
ビ角ジ囲	€ビ	生産管理論	3前		2							1
ンル	5 ス	流通システム論 I	2前		2							1
ス応		流通システム論 Ⅱ	2後		2							1
情 報 報	4 目	中級簿記演習	1後		4							2
学目	情報	情報システム論 I	2前		2			1				
科 科	科科	情報システム論 Ⅱ	2後		2			1				
<b>目</b>	目	データベース論	2後		2		1					
~ 終 <b>又</b>		マルチメディア論	3前		2							1
経 済		データマイニング論	3前		2			1				
学関		情報社会と情報倫理	3前		2							1
係		情報と職業	3後		2							1
分 野	ビジ	情報処理演習A	2前		2		1					
科	ネス	モバイルアプリ演習	2後		2		1					
目	情報	情報処理演習C	2後		2					1		
$\sim$	演	画像処理演習	2後		2							1
	習科	情報システム演習	3前		2			1				
	目	マルチメディア演習	3休		2							1
		データマイニング演習	3前		2			1				
		小計(29科目)	-	0	60	0	4	3		1		7
		ネス情報学科科目 f学関係分野科目)計	-	12	106	0						
	î	合計( <b>252</b> 科目)	-	36	407又 は408	30	4	3		1		131

卒業要件及び履修方法

#### 【卒業要件】

14 + ※ 17 月 以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選 択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得す

(科目区分)

- 1)必修科目8単位 2)選択必修科目14単位以上
- 3)選択科目8単位以上
- ②ゼミ科目
- 1)必修科目16単位
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目

(能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

1)選択科目24単位以上

④ビジネス情報学科科目(経済学関係分野科目) 1)必修科目12単位

2)選択科目42単位以上

#### 【履修方法】

【度修み/法】 履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

#### 【令和元年度】

## 【令和2年度】

Γ				配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
共通	外国	基礎	必修英語A I	1前	1								6
科	語科	科	必修英語AⅡ	1後	1								6
<b> </b>	目	Н	必修英語BI 必修英語BⅡ	1前	1								11
全			必修英語C I	1後 1通	1								11 2
全学部学科共			必修英語CII	2通	1								1
学科			英語理解・基礎徹底 I	2前	'	1							2
共			英語理解·基礎徹底 II	2後		1							2
通			英語理解•標準 [	2前		1							2
			英語理解・標準 Ⅱ	2後		1							2
			英語理解・発展 I	2前		1							2
			英語理解・発展Ⅱ	2後		1							2
			英語表現·基礎徹底I	2前		1							2
			英語表現・基礎徹底Ⅱ	2後		1							2
			英語表現·標準I	2前		1							2
			英語表現·標準Ⅱ 英語表現·発展 I	2後		1							2
			英語表現・発展Ⅱ	2前 2後		1							1
			英語表現·光展 I 海外研修英語 I	2版 1前		1							1
			海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
			ビジネス英語 I	1前		1							1
			ビジネス英語Ⅱ	1後		1							1
			基礎英会話 I	1前		1							1
			基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
			発展英会話 I	1前		1							1
			発展英会話Ⅱ	1後		1							1
			資格英語 I	1前		1							2
			資格英語Ⅱ	1後		1							2
			資格英語Ⅲ	1前		1							1
			資格英語Ⅳ Acadamia Weiting in English	1後		1							1
			Academic Writing in English フランス語 I	2休 1前		1							1
			フランス語Ⅱ	1後		1							1
			ドイツ語 I	1前		1							1
			ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1
			スペイン語 I	1前		1							1
			スペイン語 Ⅱ	1後		1							1
			中国語 I	1前		1							1
			中国語Ⅱ	1後		1							1
			韓国語 I	1前		1							1
			韓国語Ⅱ	1後		1							1
			インドネシア語Ⅰ	1前		1							1
			インドネシア語 II 小計(43科目)	1後 -	6	1 37	0	_					1
	E		日本語文章表現	1前・後	6	3/	U	_					<b>28</b> 5
	2	*	文章検演習	4前・後	_		2						2
	3	吾女	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
		章	日本語演習•標準	1前・後		2							1
	Į	見	文章表現演習·標準	1前・後		2							3
		計画	日本語演習・発展	2前		2							1
1	[		文章表現演習・発展	2前・後		2							1
1	Ļ	_	小計(7科目)	-	2	10	2						7
			日本の歴史Ⅰ	1前		2							1
		里解	日本の歴史 II 日本の歴史Ⅲ	1前		2							1
	3	ĸ	日本の歴史山 広島の歴史と文化	1後 1後		2							1 2
		計画	日本の思想と文化	1後 1前		2							1
	<u> </u>	1	日本の宗教	1後		2							1
			日本の地理	1前・後		2							1
1			日本の法律	1後		2							1
1			日本の政治	1前・後		2							1
			日本国憲法 I	1前		2							1
			日本国憲法Ⅱ	1後		2							1
1			日本外交史	1前		2							1
L			小計(12科目)	-	0	24	0						10

京分   京本   京本   京本   京本   京本   京本   京本	Γ				配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
株 根 由 神 教				授業科目の名称	当年	必	選	自	教		講	助	助	1±
刊列国		_ 7	3			悠	坦	д	坶		師	粉	垂	兼担
1後   1   1   1   1   1   1   1   1   1				必修英語A I	1前		1/1	ш	18	18	- qiq	77		7
日科目				必修英語AⅡ		1								7
全学部   1後 1   1   1   1   1   1   1   1   1				必修英語B I		1								12
学師 必修英語C I 1通 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>_</u>	目		必修英語BⅡ		1								12
	学			必修英語C I	1通	1								2
対	部学			必修英語CⅡ	2通	1								1
選	科	1		英語理解·基礎徹底 I	2前		1							2
英語理解・標準   2前	共通			英語理解・基礎徹底 Ⅱ	2後		1							2
英語理解・免展 I 2前 2後 1 1 2	$\overline{\mathbb{D}}$	1		英語理解•標準 [	2前		1							2
英語表現・基礎徹底 I 2後 1				英語理解・標準 Ⅱ	2後		1							2
英語表現・基礎徹底 I 2前				英語理解・発展 [	2前		1							2
英語表現・基礎物底 I 2後 1 1				英語理解・発展 Ⅱ	2後		1							2
英語表現・標準 I 2前 1				英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
英語表現・発展 I 2後 1 1				英語表現・基礎徹底 Ⅱ	2後		1							2
英語表現・発展 I 2前 1 1				英語表現·標準 I	2前		1							2
英語表現・発展I 2後 1				英語表現・標準 Ⅱ	2後		1							2
海外研修英語 I 1前 1 1				英語表現・発展 I	2前		1							1
海外研修英語 I 1後 1 1前 1 1	ĺ			英語表現·発展 Ⅱ	2後		1							1
世ジネス英語 I 1前 1 1				海外研修英語 I	1前		1							1
送機	l				1後		1							1
基礎英会話 I 1前 1				ビジネス英語 I	1前		1							1
基礎英会話 I 1前 1					1後		1							1
発展英会話 I 1前 1 2 1 1前 1 2 1 1前 1 2 1 1 1 1 1 1 1				基礎英会話 I	1前		1							1
発展英会話 I 1後 1 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
資格英語 I       1前       1         資格英語 I       1後       1         資格英語IV       1後       1         Academic Writing in English 7ランス語 I       1前       1         フランス語 I       1前       1         アランス語 I       1前       1         ドイツ語 I       1前       1         ドイツ語 I       1前       1         大ペイン語 I       1前       1         中国語 I       1前       1         中国語 I       1前       1         中国語 I       1前       1         インドネシア語 I       1前       1         インドネシア語 I       1前       1         インドネシア語 I       1前       1         インドネシア語 I       1前       1         インドネシア語 I       1前       2         本語 文章表現       1       2         本語 漢 選 機       2       2         文章表現 書 機       2       2         文章表現 書 機       2       2         小計 (7科目)       2       2         日本の歴史 I       1前       2         日本の歴史 I       1前       2         日本の歴史 L       1       2         日本の思 と 文       1       2      <					1前		1							1
資格英語II     1後     1       資格英語IV     1後     1       Academic Writing in English フランス語 I     1後     1       フランス語 I     1後     1       ドイツ語 I     1前     1       ドイツ語 I     1前     1       大ペイン話 I     1前     1       大ペイン話 I     1前     1       中国語 I     1前     1       中国語 I     1前     1       中国語 I     1前     1       中国語 I     1前     1       インドネシア語 I     1後     1       インドネシア語 I     1後     1       インドネシア語 I     1後     1       インドネシア語 I     1前     1       インドネシア語 I     1前     2       日本 語 検演     2     2       東京 表現 標準     10・後     2       中本 京 表現 演習 学展     2     2       小計 (7科目)     -     2     10     2       日本 の歴史 I     1前     2       日本 の歴史 I     1前     2       日本 の歴史 I     1前     2       日本 のの歴史 I     1前     2       日本 のの歴史 I     1前     2       日本 のの思想と文化     1     2       日本 の 地理 I     1     2       日本 の 地理 I     1     2       日本 の 地理							1							1
清格英語IV Academic Writing in English フランス語 I フランス語 I フランス語 I フランス語 I 1後 1 ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I 1後 1 スペイン語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 中国語 I 1後 1 インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I ボーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							1							2
資格英語IV   Academic Writing in English   2中   1前   1   1   1   1   1   1   1   1														2
Academic Writing in English フランス語 I 1前 1 1														1
フランス語 I 1前 1後 1														1
フランス語   1後														1
Fイツ語 I														1
Fイツ語														1
スペイン語 I 1前 1 1														1
スペイン語 I				****										1
中国語 I														1
中国語 I				****										1
韓国語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														-
韓国語 II     1後     1       インドネシア語 I     1前     1       インドネシア語 I     1後     1       小計(43科目)     -     6     37     0       日本語文章表現     1前 後     2       文章検演習     1前 後     2       日本語演習・標準     1前 後     2       日本語演習・標準     2     2       本語演習・標準     2     2       本語演習・発展     2前 後     2       小計(7科目)     -     2     10       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史 E I     1前     2       日本の歴史と文化     1後     2       日本の思想と文化     1前     2       日本の地理     16     2       日本の法律     1後     2       日本の政治     1前     2														1
インドネシア語 I 1前 1 1前 1 インドネシア語 I 1後 1 I I I I I I I I I I I I I I I I														1
インドネシア語 I 1後 1 1 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1
小計 (43科目)	I			****										1
日 本語文章表現	I				_	6		n						28
本語文章検演習 4前・後 2 2 1前・後 2 2 1前・後 2 2 1前・後 2 2 1前・後 2 2 1前・後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1				1前・後		- J	Ť						5
です	1					-		2						2
章表現演習・標準     1前・後     2       文章表現演習・標準     1前・後     2       日本語演習・発展     2前・後     2       文章表現演習・発展     2前・後     2       小計(7科目)     -     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史と文化     1後     2       日本の思想と文化     1前     2       日本の宗教     1後     2       日本の地理     1前・後     2       日本の法律     1後     2       日本の政治     1前・後     2	1	3	ζ	ビジネス日本語演習			2							3
表現演習・標準     1前・後     2       日本語演習・発展     2前・安     2       文章表現演習・発展     2前・後     2       小計(7科目)     -     2     10     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史と文化     1後     2       日本の思想と文化     1前     2       日本の宗教     1後     2       日本の地理     1前・安     2       日本の政治     1前・安     2	1				1前・後									1
科目     日本語演習・発展 文章表現演習・発展 (小計(7科目)     2     2       小計(7科目)     -     2     10     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史と文化     1後     2       日本の思想と文化     1前     2       日本の思想と文化     1前     2       日本のの地理     1歳     2       日本の法律     1後     2       日本の政治     1前・後     2	1	Į	見		1前・後									3
文章表現演習・発展     2m・後     2       小計(7科目)     -     2     10     2       自 日本の歴史 I     1前     2       日本の歴史 II     1前     2       日本の歴史と文化     1後     2       日本の思想と文化     1前     2       日本の宗教     1後     2       日本の地理     1m・後     2       日本の政治     1m・後     2	1			日本語演習·発展	2前									1
自 日本の歴史 I     1前       日本の歴史 I     1前       日本の歴史 I     1前       日本の歴史 I     1後       日本の歴史と文化     1後       日本の思想と文化     1前       日本の宗教     1後       日本の地理     1前・後       日本の法律     1後       日本の政治     1前・後	1		1	文章表現演習·発展										1
日本の歴史 I 1前 2 日本の歴史 I 1後 2 日本の歴史と文化 1後 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の宗教 1後 2 日本の地理 I前・後 2 日本の法律 1後 2 日本の政治 I前・後 2 日本の政治 I前・後 2	1			小計(7科目)	-	2	10	2						7
理解 日本の歴史 II 1前 2 日本の歴史 II 1後 2 日本の歴史と文化 1後 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の宗教 1後 2 日本の地理 I前・後 2 日本の法律 1後 2 日本の政治 I前・後 2	1			日本の歴史 I	1前		2							1
解 日本の歴史皿 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			日本の歴史Ⅱ	1前		2							1
科 IL版の歴史と文化 1 伎 2 日本の思想と文化 1 前 2 日本の宗教 1 後 2 日本の地理 I 前・後 2 日本の法律 1 後 2 日本の政治 I 前・後 2	1	角	屛	日本の歴史Ⅲ	1後		2							1
目 日本の思想と文化     1前       日本の宗教     1後       日本の地理     1前・後       日本の法律     1後       日本の政治     1前・後	1			広島の歴史と文化	1後		2							2
日本の地理 1前 後 2 日本の法律 1後 2 日本の政治 1前・後 2	1			日本の思想と文化	1前		2							1
日本の法律 1後 2 日本の政治 1前・後 2	1			日本の宗教	1後		2							1
日本の政治 前後 2	ĺ			日本の地理	1前・後		2							1
	ĺ			日本の法律	1後		2							1
	ĺ				1前·後		2							1
	1			日本国憲法 I	1前		2							1
日本国憲法 1後 2 2	1													1
日本外交史 1前 2	1				1前									1
小計( <mark>12</mark> 科目)	L			小計( <b>12</b> 科目)	-	0	24	0						10

Γ			配	į	单位类	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
L	-		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
共通	他者	世界の歴史Ⅰ	1前		2							1
科目	理解	世界の歴史 II 世界の思想と現代社会 I	1後		2							1
$\overline{}$	系	世界の思想と現代社会Ⅱ	1後		2							1
全学	科目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
部学		世界の宗教	1前		2							2
科		世界の地理 I	1後		2							1
共通		世界の地理Ⅱ	1前		2							1
$\sim$		世界の憲法	1後		2							1
		国際関係史 小計(10科目)	1後	0	20	0						8
	基	社会心理学	1後	_	2	U						1
	礎教	生命倫理	1前		2							1
	養	日本文学A	1前		2							1
	科目	日本文学B	1後		2							1
		外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権 環境法	1後		2							1
		<sup>環境伝</sup> テクノロジーと社会・経済	1 <b>前</b> 1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1後		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C スポーツ科学	1休 1後		2							1
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1前・後		1							3
		小計(19科目)	-	0	37	0						17
		共通科目計	-	8	128	2						
へ 全		大学入門ゼミ	1前・後	2			4	2		2		2
全学部	ゼ	興動人入門ゼミ プレゼミ	<sup>1前·後</sup> 2後	2			4	2		2		2
学科	ミ科	演習I	3通	4			4	2		2		
共通	目	演習Ⅱ	4通	6			4	2		2		
$\sim$		小計(5科目)	1	16	0	0	4	2		2		2
	_	ゼミ科目計	1	16	0	0						
能力	目①	簿記論 I	1前		4							1
開発	理士	溥記編Ⅱ	1後		4							1
科	関	財務諸表論 I 財務諸表論 II	1前 1後		4							1
	係科	小計(4科目)	-	0	16	0						1
全学		資産運用実務 I	2前		4							3
小部点		資産運用実務Ⅱ	2後		4							3
学科	A T	小計(2科目)	- :	0	8	0						3
共通	士③ 関宅係地	不動産実務法務 I	1休		4							1
Ü	科建	不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ	2前 2前		2							1
	取引	小計(3科目)	<b>2月リ</b> 一	0	8	0						1
	ト ④ 関 I	IT戦略とマネージメント	2前	Ť	4	-						1
	係T科バ	情報化技術	2後	L	4		L	L	L			1
	ポート	小計(2科目)	-	0	8	0						1
	関(5) 係株野 科 J 提	資本市場の役割と証券投資	2前		2							2
	供养	小計(1科目)	-	0	2	0						2
	ロ学中 グ校研 ラ研業	中小企業大学校研修プログラム ※受請する科目数によって単位を決定 小計(1科目)	2	0	1又は2 1又は2	0						
H		か計(144日) も力開発科目計	-	0	43又は	0	_					_
キャ	= 0	キャリアスキルズ I	2前	Ť	2							1
ヤリア	ング間係 料目 シ	キャリアスキルズ II	2後		2							1
ア科目		小計(2科目)	_	0	4	0						2
日(全	関② 係就 料職	社会人基礎学力基礎	1前		2							1
主学部	日対策試	社会人基礎学力応用	1後	L_	2	_						1
<b>一</b> 学科	製3	小計(2科目)	- 2経	0	4	0						2
共通	係 科員 目採	教職教養 思考力開発	3後 3後		2							1
Ü	用試驗	小計(2科目)	-	0	4	0						1
ㄴ	48			<u> </u>		-						

Г			配	į	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	¥目 ≤分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
共通	他者	世界の歴史 I	1前		2							1
科	理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							1
目	解系	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
全	科	世界の思想と現代社会Ⅱ	1前		2							1
全学部	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
学		世界の宗教 世界の地理 I	1前 1後		2							2
科共		世界の地理Ⅱ	1版 1前		2							1
通		世界の憲法	1後		2							1
		国際関係史	1後		2							1
		小計(10科目)	1	0	20	0						8
	基	社会心理学	1後		2							1
	礎 教	生命倫理	1前		2							1
	養科	日本文学A	1前		2							1
	目	日本文学B	1後		2							1
		外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権	1後		2							1
		環境法 テクノロジーと社会・経済	1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1前 1後		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2							1
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1書・後	_	1	•						3
Ш		小計(19科目) 共通科目計	-	8	37 128	2						17
H		大学入門ゼミ	1前・後	2	120	2	4	2		2		2
<b>全</b>		興動人入門ゼミ	1前·後	2			4	2		2		2
全学部	ゼミ	プレゼミ	2後	2			4	2		2		_
学 科	科	演習 I	3通	4			4	2		2		
共通	目	演習Ⅱ	4通	6			4	2		2		
)		小計(5科目)	ı	16	0	0	4	2		2		2
611.1		ゼミ科目計	-	16	0	0						
能力	日①	簿記論 I	1前		4							1
開	理上	簿記論 II	1後		4							1
発科	士関	財務諸表論 I 財務諸表論 II	1前		4							1
目	係 科	小計(4科目)	1後	0	4 16	0						1
( 全	7-r F 10 2 0 7 7 0 7 7	資産運用実務 I	- 2前	۳	4	U						2
学部		資産運用実務Ⅱ	2後		4							2
学	係ナナ 料 I シ 日 、シ A キ	小計(2科目)	-	0	8	0						2
科共	士③ 関宅	不動産実務法務I	1後		4							1
通)	展地 係建	不動産実務法務Ⅱ	2前		2							1
	目物取	不動産実務法務Ⅲ	2前		2							1
	- AX 	小計(3科目)	-	0	8	0						1
	ト (4) 関 I 係 T 料 パ	IT戦略とマネージメント	2前		4							1
	日スポ	情報化技術	2後	_	4	_						1
	l e	小計(2科目) 資本市場の役割と証券投資		0	8	0	_					1
	係推野 科」村 目提證 供券	小計(1科目)	2 <b>後</b> -	0	2	0						2
		/」、「「「「」 「	2	۲	1又は2	U	_					
	プログラマック が プログラック が プログラック が プログラック かまま かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	小計(1科目)	-	0	1又は2	0						
H		6力開発科目計 1	-	0	43又は 44	0						
キャ	= 00	キャリアスキルズ I	2前	Ė	2	-						1
リア	クマリ 係ア 科 ブ 日 ラ ン	キャリアスキルズ Ⅱ	2後		2							1
科		小計(2科目)	_	0	4	0						1
目(4	関② 係就 料職	社会人基礎学力基礎	1前・後		2							1
全学部	日対策	社会人基礎学力応用	1前・後		2							1
部学科	財団	小計(2科目)	-	0	4	0						2
科共	関③ 係教 科員	教職教養	3後		2							1
通	日採用試	思考力開発	3後	_	2	^	_					5
Ш	験	小計(2科目)	_	0	4	0						6

			配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
	¥目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
ľ	≥ <i>⊓</i>		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
キャ	接文	女子学生のためのキャリア形成入門	1前	יציו	2	щ	JX	JX	Hill	72	J	3
リア	接字版字	小計(1科目)	-	0	2	0						3
科目	シ⑤ ッイ ブン	インターンシップ I (国内)	2前		2		1					9
全 学	ブター	インターンシップ Ⅱ (海外)	3通		4							3
部学	ž	小計(2科目)	-	0	6	0	1					12
科共	ブタの中ン	学校インターンシップ	2		2							
通 )	ン枝シイッシ	小計(1科目)	-	0	2	0						
ren	_	キャリア科目計	-	0	22	0						
興動	元気	わが人生の転機 I (教職員編)	1前		2							2
館	カ	わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)	1後		2							2
科目		「笑い」のパワー・生きる力 #(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう	1休		2							2
<ul><li>全</li></ul>		サイフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前·後 1前·後		2							2
学		小計(5科目)		0	10	0						9
学部学	企	瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	1前	-	2	-						1
科	画力	企画力養成講座	1前		2							1
共通	71	経営実践	1休		2							1
		みんなで教材を創ろう	1前		2							1
		プロスポーツによる広島活性化講座	1前		2							1
		「私たちの広島」PR実践	1後		2							1
		文芸創作実践	1後		2							1
		コピーライティング実践講座	1前		2							1
		興動館プロジェクトと企画力	1前		2							1
		人の行動を経済学で読み解く	1後		2		1					2
	行	小計(10科目)	-	0	20	0	1					11
	動	ビジネス・シミュレーション・ゲーム 身近なボランティア活動	1前		2							3
	カ	NPO・NGOの立ち上げと活動	1後 1前		2							1
		戦略MG(マネジメントゲーム)	I FI J 1前・後		2							
		興動館プロジェクトの計画と実施	1前		2							1
		興動館プロジェクトの評価と改善	1後		2							1
		森の社会貢献実践	1休		2							1
		興動館プロジェクトの経営戦略	1後		2							1
		小計(8科目)	-	0	16	0						6
	共生	広い世界に飛び出そう	1後		2							2
	力	ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後		2							1
		スポーツで学ぶ共生力	1前		2							1
		コミュニケーション実践 広島とハワイで学ぼう! めざせ国際人	1後		2							1
			1前		2							2
		興動館プロジェクトとコミュニケーション ユニバーサルデザイン実践	1仮 1後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0						8
H		興動館科目計	_	0	60	0						
留	正	日本語A	1前・後		2							2
学生	規留	日本語B	1前・後		2							2
科	学	日本語(基礎A)	1前		1							1
目	生の	日本語(基礎B)	1前		1							1
全	日	日本語(基礎C)	1前		1							1
子 部	本語	日本語(基礎D)	1後		1							1
全学部学科	関係	日本語(基礎E)	1後		1							1
共	科	日本語(基礎F)	1後		1							1
通	目	日本語(発展A)	2前		1							1
		日本語(発展B)	2前		1							1
		日本語(発展C) ビジネス日本語A	2前		1							1
		ビジネス日本語B	2後 2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後 2後									
		小計(14科目)	- -	0	16	0						5
	交	Practical Management Theory for International Students I	1前	Ť	2							1
	換留	Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
	学	Independent Study I	1前		2							1
	生科	Independent Study II	1後		2							1
	目	Independent StudyⅢ	1前		2							1
		Independent StudyIV	1後		2							1
		Japanese Law and Society I	1前		2							1
		Japanese Law and Society II	1後		2							1
		International Trade	1前・後		2							1
		International Economics Environment and Business	1前・後		2							1
Ш		vii ommonic and Dusiness	「問」「仮		2		<u> </u>					ш

接乗料目の名称				配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
大学の中のののでは、1 を			授業科目の名称	当年	必	選	自	教		講	助	助	
1	12	- /]			修	択	ф	授		紬	数	<b></b>	
1	キャ	接文	女子学生のためのキャリア形成入門	1後	19		щ	1,0	12	ни	72		
2		展 子 長 字 科 生	小計(1科目)	-	0		0						
4   1   1   1   1   1   1   1   1   1			インターンシップ I (国内)(未開講)	2前		2		0					10
		ブン	インターンシップ Ⅱ (海外)			4							3
中央インターンシップ   2   2   0   0   1   1   1   1   1   1   1   1	部	۷	小計(2科目)		0	6	0	0					13
小計 (1科目)	科			2		2							
デース		ン報 シイ ッン	小計(1科目)	_	0		0						
動館科目		-	キャリア科目計	_	0	22	0						
加利			わが人生の転機 I (教職員編)	1前		2							2
程   (全学部			わが人生の転機 II (同窓生編)	1後		2							1
全会	科	,,	「笑い」のパワー・生きる力	1休		2							2
## 1	目		禅(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう	1前・後		2							2
### 1/14   10			ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前・後		2							1
学会			小計(5科目)	_	0	10	0						8
世典	学		瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	1前		2							1
経営実践			企画力養成講座	1後		2							1
TDスポーツによる血熱性化関数   1後   2			経営実践	1休		2							1
私たちの広島」PR実践 1後 2	$\sim$		みんなで教材を創ろう	1前		2							1
文芸創作実践			プロスポーツによる広島活性化講座	1後		2							1
コピーライティング実践講座   前前   2			「私たちの広島」PR実践	1後		2							1
関数館プロジェクトと企画力   1後 2 0 0   12   13   3   1   1   1   1   1   1   1			文芸創作実践	1後		2							1
Aの行動を経済学で読み解   1後 2 0 0 0 0   12   17   17   10   18   18   18   18   18   18   18			コピーライティング実践講座										1
Aの行動を経済学で読み解く   1後   2   0   0   12   17   17   17   18   1   1   1   1   1   1   1   1			興動館プロジェクトと企画カ			2							1
行			人の行動を経済学で読み解く	1後		2		0					3
カ			小計(10科目)	-	0	20	0	0					12
力   身近なボラシティア活動   1後   1前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			ビジネス・シミュレーション・ゲーム	1前		2							3
NPO-NGOの立ち上げと活動			身近なボランティア活動	1後		2							1
関数的プロジェクトの計画と実施			NPO・NGOの立ち上げと活動	1前		2							1
開助館プロジェクトの評価と改善 1後 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			戦略MG(マネジメントゲーム)	1前・後		2							1
## A M			興動館プロジェクトの計画と実施	1前		2							1
映物館プロジェクトの経営戦略   1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1			興動館プロジェクトの評価と改善	1後		2							1
小計(8科目)			森の社会貢献実践	1休		2							1
世			興動館プロジェクトの経営戦略	1後		2							1
### 1			小計(8科目)	_	0	16	0						6
カ			広い世界に飛び出そう	1後		2							2
1			ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後		2							1
広島とハフィで呼ばり! めざ世間際人   前前   2   2   1   1   1   1   1   1   1   1			スポーツで学ぶ共生力	1後		2							1
関節プラエウトとコミューケーション   1後 2 1 1 1			コミュニケーション実践	1前		2							1
コニバーサルデザイン実践 1後 2			広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
小計 (7科目)			興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
興動館科目計			ユニバーサルデザイン実践	1後		2							1
日本語			小計(7科目)	_	0	14	0						8
学生 規 日本語B 1前 後 2 2 1前 日本語(基礎A) 1前 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	•		興動館科目計	-	0	60	0						
生留 日本語(基礎A) 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語A	1前・後		2							2
科 学 日本語(基礎A) 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生		日本語B	1前・後		2							2
日本語(基礎C) 1削 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科	学	日本語(基礎A)	1前		1							1
全 日本語(基礎C) 1前 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(E		日本語(基礎B)	1前		1							1
部 語 関係 (本語 (基礎E) 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	全	日	日本語(基礎C)	1前		1							1
学 関 日本語(基礎F) 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語(基礎D)	1後		1							1
共利 日 日本語(発展A) 2前 1 1 1 日本語(発展A) 2前 1 日本語(発展B) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2前 1 日本語(発展C) 2後 1 日本語(発展C) 2後 1 日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(日本語(	学	関	日本語(基礎E)	1後		1							1
通 目 日本語(発展A) 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語(基礎F)	1後		1							1
日本語(発展B) 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語(発展A)	2前		1							1
日本語(発展C) 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	$\vdash$		日本語(発展B)	2前		1							1
ビジネス日本語B 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語(発展C)			1							1
ビジネス日本語B 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ビジネス日本語A	2後		1							1
小計 (14科目)			ビジネス日本語B	2後		1							1
文 Producted Management Purer for International Boulement I 1前 2 1 1後 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1章 2 1 1前 1 1章 2 1 1前 1 1章 2 1 1 1前 1 1章 2 1 1 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ビジネス日本語C	2後	L	_1		L	L	L	L	L	_ 1
接留 hatcul Management Theory for International Student I 1後 2 1 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			小計(14科目)		0	16	0						5
Product Management Natural I 後 2			Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
学生 Independent Study I 1前 2 1 1後 2 1 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
科 Independent Study II 1使 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IJ	学	Independent Study I	1前		2							1
Independent StudyIII 1前 2 1 1前 1 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Independent Study II			2							1
Independent StudyIV 1後 2 Japanese Law and Society I 1前 2 Japanese Law and Society I 1後 2 International Trade 1前・後 2 International Economics 1前・後 2	IJ		Independent StudyIII			2							1
Japanese Law and Society I 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Independent StudyIV										1
Japanese Law and Society II 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Japanese Law and Society I										1
International Trade I前·後 2 1 1 1 1			Japanese Law and Society II										
International Economics I前・後 2 1													
			Environment and Business	1前・後		2		1				ĺ	Ι΄.

Γ			配	Í	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	斗目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
ľ			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
常学生	交	Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
料目	換留	Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
·	学	Japan and the Environment	1前・後		2							1
部学	生科	Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
(全学部学科共通	目	Japanese Religion and Culture	1前・後		2							1
`		小計(16科目)	-	0	32	0	1					7
±4-		留学生科目計	-	0	48	0						
教職	各目に料 飲のする 料のする 排 りる。 料	情報科教育法Ⅰ	3前			2						1
関連		情報科教育法 II 教職入門	3後			2						1
科	関育	教育原理	1前 1後			2						1
B	すの る基	教育心理学 I	1後			2						1
	科礎	教育心理学Ⅱ	2前			2						1
	目的理		2休			1						1
	解	教育制度論	2後			2						1
	数等達 育の徳 報报 数導郡	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後			2						1
		教育方法学 <b>(教育課程論を含む)</b>	2後			2						1
	に関する年間 する年間	生徒·進路指導論	2前			2						1
	科技習 日指の 導勢 、間	教育相談	2後			2						1
	関教	教育実習 I	3後・4通			1						4
	す育る実	教育実習Ⅲ	4前			2						4
	科践目に		4後			2						1
L		小計(15科目)	-	0	0	28						11
	-	<b></b>	-	0	0	28						
ビジ	八門	経済入門	1後	2						1		
ジネス情	科目	経営入門	1前	2						1		
へ 情	Н	ビジネス情報入門 コンピュータ入門	1前	2	2			1		1		
報学科科		情報処理基礎	1前 1後		2		1					
科		情報入門演習S	1前	2	_		1	2				
科目		情報入門演習A	1前	_	2		ľ	_				1
_		情報入門演習B	1後		2							1
経済		小計(8科目)	-	8	8	0	2	2		2		1
済学関	基	ビジネス概論	1後	2			1					
係	礎科	情報技術論	2前		2							1
分野	目	ビジネスと戦略	2前		2					1		
科		経営管理論基礎	2前		2							1
目		経営情報論	2前・後		2							1
		マーケティング論基礎	2前		2							1
		ビジネス統計学	2前		2		1					
l		会計学基礎	2前		2							2
l		ミクロ経済学基礎 I マクロ経済学基礎 I	2後		2							1
		マクロ経済学基礎 1 インターネット・マーケティング論	2後		2					4		1
		コンピュータ基礎 I	2後 2前		2		1			1		
		コンピュータ基礎Ⅱ	2削 3前		2		1					
		情報処理論A	2後		2		1					
		情報処理論B	2後		2		1					
		情報ネットワーク論	2後		2		ļ .	1				
		情報活用演習A	1後		2							1
		情報活用演習B	2前		2							1
		情報活用演習C	2後		2							1
		Web演習	2前		2					1		
l		ビジネス情報入門ゼミ	2前	2			1	2		2		
L		小計(21科目)	-	4	38	0	4	2		2		10

5	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任	ΙΓ			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
i F	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
<mark>ጀ</mark>	修	択	由	授	授	師	教	手	担	_			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
・後		2							2	学生	交換	Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
·後 ·後		2							1	H H	留学	Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment	1前・後		2							1
-後		2							1	7	生	Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
-後		2							1	科	科目	Japanese Religion and Culture	1前・後		2							1
-	0	32	0	1					7	- 1		小計(16科目)	ı	0	32	0	1					7
-	0	48	0							-		留学生科目計	-	0	48	0						
前			2						1	<b>教</b>			3前			2						1
後前			2						1	<b>関</b>	1	情報科教育法 II 教職入門	3後			2						2
fl 後			2						1	科	関育の	**本医理	1前・後			2						1
後			2						1		る基	教育心理学 I	1後			2						1
前			2						1		科礎目的		2前			2						1
休			1						1		理	特別支援教育概論	2休			1						1
後			2						1		解	<b>狄月</b> 門及酬	2後			2						1
後然			2						1		育の他 相指 扱導総	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後			2						1
後前			2						1		に集会 関及な すま学	教育方法学( <b>教育課程論を含む</b> ) 生徒・進路指導論	2後 2前			2						1
前後			2						1		科技習 日指の 導勢 、間	教育相談	2削 2後			2						1
·4通			1						4		関教	教育実習 I	3後・4通			1						5
前			2						4			教育実習Ⅲ	4前			2						5
後			2						1		科践	教職実践演習(中·高)	4後			2						1
-	0	0	28						11		目に	小計(15科目)	-	0	0	28						11
-	0	0	28							2		り 地職関連科目計	-	0	0	28						
後前	2						1			ジ	八門	経済入門 経営入門	1後	2						1		
前前	2				1		1			ネス	科目	ビジネス情報入門	1前 1前	2				1		1		
前	2	2		1	'		'			帽	Ĭ	コンピュータ入門	1前	_	2		1	'		'		
後		2		1						軒 学		情報処理基礎	1後		2		1					
前	2			1	2					和 和	ŀ	情報入門演習S	1前・機	2			1	0				1
前		2							1	E		情報入門演習A	1前		2							1
後		2							1	組		情報入門演習B	1後		2							1
- 後	2	8	0	2	2		2		1	<b>済</b>		小計(8科目)	- 15%	8	8	0	2	1		2		2
医前	2	2		1					1	関	礎	ビジネス概論 情報技術論	1後 2前	2	2		1					1
前		2					1		'	5	目	ビジネスと戦略	2前		2		1			0		'
前		2							1	野和		経営管理論基礎	2前		2		-			-		1
-後		2							1	Ē	i	経営情報論	2前・後		2							1
前		2							1	)		マーケティング論基礎	2前		2							1
前		2		1								ビジネス統計学	2前		2		1					
前		2							2			会計学基礎	2前		2							2
後後		2							1			ミクロ経済学基礎 I マクロ経済学基礎 I	2後 2後		2							1
後		2					1		'			インターネット・マーケティング論	2後		2					1		
前		2		1			'					コンピュータ基礎 I	2前		2		1			'		
前		2		1								コンピュータ基礎 Ⅱ	3前		2		1					
後		2		1								情報処理論A	2後		2		1					
後		2		1								情報処理論B	2後		2		1					
後		2			1							情報ネットワーク論	2後		2			1				
後前		2							1			情報活用演習A 情報活用演習B	1後		2							1
前後		2							1			情報活用演習C	2前 2後		2							1
的前		2					1		'			Web演習	2前		2					1		
前	2			1	2	L	2					ビジネス情報入門ゼミ	2前	2			1	2		2		
-	4	38	0	4	2		2		10	L		小計(21科目)	-	4	38	0	4	2		2		10

Г				配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	보 로 3		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
1		,		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	発	Ľ	オペレーションズ・リサーチ	2前	12	2	Щ	1	-,^	H-P	32		-
ジネ	展	ジネ	ビジネスデータ分析	3後		2		1					
z	応	٠.											
情報	用科	科目	AIとビジネス	3後		2			1				
報学	目		電子金融取引 I	3前		2					1		
科科			電子金融取引Ⅱ	3後		2					1		
目			顧客関係管理と知的情報ベース	3後		2					1		
(XX													
経済学			IT応用事例研究	3後		2					1		
学明			プロジェクトマネジメント	3前		2							1
関係分野科目			リスクマネジメント	3後		2							1
分配			生産管理論	3前		2							1
科			流通システム論 I	2前		2							1
目			流通システム論 Ⅱ	2後		2							1
$\Gamma$			中級簿記演習	1後		4							1
		情報	情報システム論 I	2前		2			1				
		私科	情報システム論 Ⅱ	2後		2			1				
		目	データベース論	2後		2		1					
			マルチメディア論	3前		2							1
			データマイニング論	3前		2			1				
			情報社会と情報倫理	3前		2							1
		L	情報と職業	3後		2							1
		ビジ	情報処理演習A	2前		2		1					
		ネス	モバイルアプリ演習	2後		2		1					
		情報	情報処理演習C	2後		2					1		
		演習	画像処理演習	2後		2							1
		科目	情報システム演習	3前		2			1				
		П	マルチメディア演習	3休		2							1
			データマイニング演習	3前		2			1				
L		L	小計(29科目)	-	0	56	0	3	2		2		7
(			ジネス情報学科科目 F学関係分野科目)計	-	12	102	0						
		1	合計( <b>252</b> 科目)	-	36	403叉 は404	30	4	2		2		127

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選 択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得す

- (科日区分)
- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上
- 3)選択科目8単位以上
- ②ゼミ科目

1720時代日 10年10 30自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目 (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単 位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

- 1)選択科目24単位以上
- ④ビジネス情報学科科目(経済学関係分野科目)
- 1)必修科目12単位
- 2) 選択科目42単位以上

#### 【履修方法】

覆修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年 次生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。 ※自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

				配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科 E 区 タ		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
1		•		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
ビジ	発	Ľ	オペレーションズ・リサーチ	2前		2		1					
ンネ	展	ンネ	ビジネスデータ分析	3前		2		1					
ス	応	ス	データサイエンスとビジネス	3後		2		1					
情報	用科		AIとビジネス	3後		2			1				
報学	目	П	電子金融取引I	3前		2					1		
科科			電子金融取引Ⅱ	3後		2					1		
目			顧客関係管理と知的情報ベース	3後		2					1		
へ 約束			デジタルビジネス論	3前		2		1					
済			IT応用事例研究	3後		2					1		
学			プロジェクトマネジメント	3前		2							1
<b>医</b>			リスクマネジメント	3後		2							1
経済学関係分野			生産管理論	3前		2							1
野科			流通システム論 I	2前		2							1
目			流通システム論 Ⅱ	2後		2							1
$\vdash$			中級簿記演習	1後		4							2
		情扣	情報システム論 I	2前		2			1				
		報科	情報システム論 Ⅱ	2後		2			1				
		目	データベース論	2後		2		1					
			マルチメディア論	3前		2							1
			データマイニング論	3前		2			1				
			情報社会と情報倫理	3前		2							1
			情報と職業	3後		2							1
		ビジ	情報処理演習A	2前		2		1					
		ネス	モバイルアプリ演習	2後		2		1					
		情	情報処理演習C	2後		2					1		
		報演	画像処理演習	2後		2							1
		習科	情報システム演習	3後		2			1				
		目	マルチメディア演習	3休		2							1
			データマイニング演習	3前		2			1				
			小計(29科目)	-	0	60	0	4	2		2		7
			ネス情報学科科目	-	12	106	0						
F	(裕		学関係分野科目)計		H	40777		<u> </u>					
L		í	合計( <b>252</b> 科目)	-	36	407又 は408	30	4	2		2		130

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選 択科目88単位以上〔選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上〕)を修得す

#### (科日区分)

- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上
- 3)選択科目8単位以上
- ②ゼミ科目
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目

(能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

- 1) 選択科目24単位以上
- ④ビジネス情報学科科目(経済学関係分野科目)
- 1)必修科目12単位
- 2) 選択科目42単位以上

#### 【履修方法】

覆修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
  - 履修希望者がいなかったために未<u>開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
    - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

#### 【令和元年度】

- ・担当者就任辞退及びクラス再編の理由により、外国語科目の教員の配置小計を「兼任・兼坦29」から「兼任・兼坦28」へ変更。
  ・「文章表現演習・標準」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦4」から「兼任・兼坦3」へ変更。
  ・教育内容充実の理由により、授業科目「日本外交史」「国際関係史」「International Economics」を新規に追加。
  ・「世界の歴史 I・II」担当者就任辞退の理由により教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦1」へ変更。
  ・担当教員の本務校業務により、「環境法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
  ・教育内容充実の理由により、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」の教員の配置を「兼任・兼坦1」から「兼任・兼坦2」に変更。
  ・教育内容充実の理由により、「不動産実務法務 I」の配当年次を「1後」から「1休」に変更。
  ・「Environment and Business」担当者認植の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦1」へ変更。

- ・「教職入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦1」から「教授」「入変更。
  ・教育入容充実の理由により、「教育制度論」の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦1」へ変更。
  ・教育入容充実の理由により、「教育制度論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
  ・教職再課程認定により、授業科目の名称を「教育方法学」から「教育方法学(教育課程論を含む)」に変更。
  ・「教育実習 I・Ⅲ」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦1」へ変更。

#### 【令和2年度】

- ・教育環境充実の理由により、「必修英語A I・II」の教員の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担7」に変更
  ・教育環境充実の理由により、「必修英語B I・II」の教員の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担12」に変更
  ・ 教育環境充実の理由により、「必修英語B I・II」の教員の配置を「兼任・兼担11」から「兼任・兼担12」に変更
  ・ 「世界の思想と現代社会 II」担当教員(兼任)の本務校業務の理由により、の配当年次を「1後」から「前」に変更
  ・ 「資産運用実務 I・II」担当教員(兼任)の就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦3」から「兼任・兼坦2」へ変更
  ・ キャリアプランニング関係科目担当教員(兼任)の就任辞退の理由により、の教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦1」へ変更
  ・ 教育環境充実の理由により、「社会人基礎学力基礎」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
  ・ 教育環境充実の理由により、「社会人基礎学力に用」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更
  ・ 教育環境充実の理由により、「起考力開発」を分担授業に変更
  ・ 教育内容充実の理由により、「思考力開発」を分担授業に変更

- 「兼任・兼担10」に変更
- ・版化 系担 ( ) に及り ・COVID-19の影響により、令和2年度のみ「インターンシップI (国内)」を未開講とする。代替として当該学年は3年次に履修可とする ・「我が人生の転機II (同窓生編)」担当教員(兼担)の都合により、教員の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更 ・「人の行動を経済学で読み解く」担当教員の当該学科への転科取消の理由により、教員の配置を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授0」
- 「兼任・兼担3」に変更
- ・「コミュニケーション実践」担当教員(兼任)本務校の都合により、の配当年次を「1後」から「1前」に変更・教育環境充実の理由により、「教育入門」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更・教育環境充実の理由により、「教育原理」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更
- ・教職関連科目担当教員(兼担)新規採用の理由により、の教員の配置を「兼任・兼担10」から「兼任・兼担11」へ変更
- ・教育内容充実の理由により、「情報入門演習S」の教員の配置を「准教授2」から「兼任・兼担1」に変更
- ・「ビジネスと戦略」担当教員(専任)採用の理由により、教員の配置を「助教1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の理由により、「ビジネスデータ分析」の配当年次を「3後」から「3前」に変更 ・教育内容充実の理由により、授業科目「データサイエンスとビジネス」を新規に追加
- ・教育内容元美の理由により、授業科目「デーダザイエンスとこンネス」を新規に追加 ・教育内容充実の理由により、授業科目「デジタルビジネス論」を新規に追加 ・教育環境充実の理由により、「中級簿記演習」の教員の配置をを「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更

- (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による変更) ※令和2年度のみの変更 ・新型コロナウイルス対策を理由に「スポーツ実習」の配当年次を「1前・後」から「1後」へ変更 ・新型コロナウイルス対策を理由に「資本市場の役割と証券投資」の配当年次を「2前」から「2後」へ変更 ・新型コロナウイルス対策を理由に「女子学生のためのキャリア形成入門」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更 ・新型コロナウイルス対策を理由に「プロスポーツによる広島活性化講座」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更
- ・新型コロナウイルス対策を理由に「戦略MG(マネジメントゲーム)」の配当年次を「1前・後」から「1後」へ変更・新型コロナウイルス対策を理由に「スポーツで学ぶ共生力」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更・新型コロナウイルス対策を理由に「情報入門演習S」の配当年次を「1前」から「1前・後」へ変更
- 新型コロナウイルス対策を理由に「情報システム演習」の配当年次を「3前」から「3後」へ変更

#### 【令和3年度】

- ・担当教員の変更により、「必修英語AI」の教員の配置を「兼任・兼坦6」から「兼任・兼坦8」へ変更・担当教員の変更により、「必修英語CI」の教員の配置を「兼任・兼坦1」から「兼任・兼坦2」へ変更・担当教員の変更により、「英語表現・標準I・II」の教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦3」へ変更・教育環境充実の理由により、「資格英語I・II」の教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦3」へ変更・担当教員の変更により、「日本語文章表現」の教員の配置を「兼任・兼坦5」から「兼任・兼坦7」へ変更・担当教員の変更により、「日本語文章表現」の教員の配置を「兼任・兼坦7」から「兼任・兼坦7」へ変更・担当教員の変更により、「ビジネス日本語変型」の教員の配置を「兼任・兼坦7」から「兼任・兼坦7」へ変更・担当教員の変更により、「ビジネス日本語変型」の教員の配置を「兼任・兼坦7」から「兼任・兼坦7」へ変更

- ・担当教員の変更により、「日本語文章表現」の教員の配置を「兼任・兼坦5」から「兼任・兼坦4」へ変更
  ・担当教員の変更により、「ビジネス日本語演習」の教員の配置を「兼任・兼坦3」から「兼任・兼坦2」へ変更
  ・担当教員の都合により、「世界の憲法」の配当年次を「1後」から「非任・兼坦3」から「兼任・兼坦4」へ変更
  ・教育環境充実の理由により、「スポーツ実習」の教員の配置を「兼任・兼坦3」から「兼任・兼坦4」へ変更
  ・担当教員(専任)昇格の理由により、ゼミ科目の教員の配置を「准教授2」「助教2」から「准教授3」「助教1」に変更
  ・担当教員の都合により、「思考力開発」の配当年次を「1後」から「1休」へ変更
  ・担当教員の都合により、「ビジネス・シミュレーション・ゲーム」の配当年次を「1前」から「1休」へ変更
  ・「経営入門」担当教員(専任)昇格の理由により、教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
  ・「ビジネス情報入門」担当教員(専任)昇格の理由により、教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
  ・「ビジネス・フーケティング論」担当教員(専任)昇格の理由により、教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更

- ・「インターネット・マーケティング論」担当教員(専任) 昇格の配置を「別教」がある配置を「助教」がら「准教授」に変更・教育環境充実の理由により「ビジネス情報入門ゼミ」の教員の配置を「教授」から「教授3」に変更
- 「ビジネス情報入門ゼミ」担当教員(専任)昇格の理由により、教員の配置を「准教授2」「助教2」から「准教授3」「助教1」に変更
- ・「顧客関係管理と知的情報ベース」担当教員(専任)昇格の理由により、教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の変更により、「IT応用事例研究」の教員の配置を「助教1」から「教授1」に変更
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 授業科目数

	設置時の	計画				変更料	犬況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	<b>S</b>	選択	自由		計		1用行
18 科目 21	13 科目	16 科目	247 科目	18 r	科目 1	218 科目 [5]	<b>16</b>	科目	252 [5]	科目	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合: $\triangle$ 1)

#### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	インターンシップⅡ(海外)	4	3	一般		新型コロナウイルスの影響 一時的な未開講 のため代替え措置は無し(3)
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

#### (4) 廃止科目(該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

#### 「大学の所見」

「インターンシップⅡ (海外)」を、新型コロナウイルスの影響で未だ海外実習での安全確保が難しいため未開講とする。この科目については全学部共通選択科目の1科目であり、この他にも多数の科目があることから、体系的な学びに特段の影響はないと判断し、学生に不利益を生じさせるものではないと考える。

「学生への周知方法」

履修相談及びポータルサイトにおいて周知を行っている。

「今後の方針」

安全確保が確認でき次第、未開講科目は再開する予定である。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 1 247 = 0.4 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

#### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					容	3				備考
(1)		区	分		専		用	共	用			:用する他の !校等の専用				計		
+5		校舎	き 敷 均	t.		91,	279. 12m²			0m²			0r	n		91, 2	79. 12m²	
校		運動	場用地	ļ.		120,	117. 63 m²			0m²			0r	nî		120, 1	17. 63 m	
地		小	計	+		211,	396. 75㎡			0m²			0r	ń		211, 39	96. 75 m <sup>2</sup>	
<u> </u>		そ	の他	1			630. 43m <sup>2</sup> 645. 68m <sup>2</sup>			0m²			0r	n			30. 43 m 45. 68 m	
等		合	計	-			027. 18m 042. 43m			0m²			0r	n			27. 18m 42. 43m	
					専		用	共	用			:用する他の :校等の専用				計		
(2) 校			舎			55,	478. 94m²			0m²			0r	n		55, 4	78. 94m	
					(55,	478. 9	4m²)	(	0m²	)	(	0	m²)		(55, 4	78. 94	m³)	
				講	義室		演習	室	実験	実習室	2	情報処理	学習加	拖設	語学	学学習:	施設	
(3) 教		室	等			25室		64室			25室			0室			1室	大学全体
					-	-v±		07 <u>±</u>			20主	(補助職)	<b>〕</b> 0	人)	(補助	職員	0人)	
							新設学部等	等の名称				室			数			教員1名退職、2名就任した ため(3)
(4) 専	任教	<b>対員研究</b>	室			У	ディアビ	ジネス学部	ß		1.0	<del>(2)</del> , 16	1 9	1 7	, (R	ш\	室	教員3名退職、5名就任した ため(2) 教員1名が退職したため
											1-8	<del>(2), 10</del>	(元)	, 17	<del>( )由</del> (	<del>m)</del>		(元)
(5)	ź	新設学音	·R\\	2	_		学術		# 7 V			視聴覚資	料	機械・	器具	標	本	学部単位での特定が 不能なため、大学全 体の数
(5)		の名称		しつ	ち外国書		[うち外		電子ジ		-		F		F		-	完成年度の予相数
-				492, 74	0 [131, 6	∰ 30]	4, 870	種 [1,314]	7, 050	外国書		5, !	点 500		点 0		点 0	他:兄旦し(3)   ・
	メ-	ディアヒ	ごジネ	507, 81	0 (133, 10	08)	4, 969 (4, 851 [1	(1, 314) (307)	(11, 237		-	<del>6, ·</del> (5, 476)	20		U		U	約を変更したため(3) 学術雑誌:和書の製
図書•		ス学部	ß	(487, 33	25 [130, 786 3 <mark>2 [130, 162</mark> 10 [128, 932	<del>) )</del>	(4, 870 (1) (5, 099 (1)	<del>, 305]  </del>  , 300]	<del>(2, 551</del> <del>(2, 545</del>	<del>(2, 462</del> <del>(2, 462</del>	<del>2] )</del> <del>2] )</del>	(5, 453) (5, 428)		(0)		(	(0)	本雑誌を除籍したた め(2)
設備				492, 74	0 [127, 424 0 [131, 6	30]		[1, 314]	<del>(6, 407</del> 7, 050			<del>(5, 960)</del> 5, 1	500		0		0	電子ジャーナル:抄録や
PHS		計		ĺ	0 (133, 10	-	4, 969 (4, 851 [1	(1, 314) 1, 307)	(11, 237			<del>6, 1</del> (5, 476)	20		J		·	書誌情報のみのものは除 外したため(元) 視聴覚資料:除籍のため
		μ,		(487, 33 (483, 21	25 (130, 786 3 <del>2 (130, 162</del> 10 (128, 932 10 (127, 424	<del>))</del>	(4, 870 (1) (5, 099 (1) (4, 909 (1)	, 300)	(2, 551 (2, 545 (6, 407	(2, 462	2)	(5, 453) (5, 428) (5, 960)		0		(	(0)	(元)
(=) =		_	٥.	(470, 01	面	3 /	積	, 2019 /	閲覧			(0, 000)	収	納可	<b>」</b> 能	₩	数	収納可能冊数:書架
(6) 図		書	館				8, 685. 28	m				441席					<mark>2, 200⊞</mark> 7, 750⊞	を増設したため(3)
( <b>7</b> ) /±		<b>*</b>	<b>ම</b> ර		面		積			体育	館以タ	トのスポー	ツ施言	との概要	更	.,	, . J • IIII	
(7) 体		育	館				9, 906. 56	im 総合グ	ラウンド・	フット	ボール	パーク 野珠	據場•	テニス	. – –	۲		- 大学全体
		奴典	Σ	<u>ζ</u>	分	開	設年度	完成年度	ŧ Þ	<u> </u>	<b>ને</b>	開設前年	度	開設年	度	完瓦	<b></b>	
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	<u> </u>	500千円	500 <del>1</del>	千円 図	書購入	費	1, 777 <del> T</del> <del>3, 960 T</del>		4, 000 <del>5, 00</del> 0		<del>5,</del> I	000千円	図書購入費:誤植による修正(3)
経費の 積り及	び		共 同	研	兄 費 等	<u> </u>	一 千円	- =	千円 設	備購入	費	50, 000 <b>∓</b>	H	8, 200 <del>22, 35</del> 0				設備購入費:誤植に よる修正(3)
維持方 の 概		学生 1 り		第	1 年次		第2年次	第	3 年次	ĝ	第 4 年	次	第5	年次		第6年		学生納付金:教育の
		納付			980千円 <del>880千円</del>		880 <del>T</del>	円	880千円	3	88	30千円		- <b>f</b> F	7	_	- 千円	充実のため(3)
		学生	納付金	以外の糺	推持方法 <i>0</i>	)概要	補助金	収入、資産	運用収入	等によ	り維持	持						未記入により追記(3)

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島	島経済	大学				学生募集停止学科数	4	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考	
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所	在	地			
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度			年度			
経済学部			人												
経済学科	4	330	若干	1320	学士 (経済学)	0. 96	0. 94	昭和42年度	広島県広島市安 佐南区祇園五丁 目37番1号						
経営学科	4	-	-	_	学士 (経済学)	-		昭和49年度	同上	※平成 生募集					
ビジネス情報学科	4	-	-	_	学士 (経済学)	-		平成14年度	同上	※平成 生募集					
メディアビジネス学科	4	-	-	_	学士 (経済学)	-		平成16年度	同上	※平成 生募集					
スポーツ経営学科	4	-	-	_	学士 (スポーツ経 営学)	-		平成23年度	同上	※平成 生募集					
<u>経営学部</u>															
<u>経営学科</u>	4	310	若干	930	学士 (経営学)	0. 95	0. 92	平成31年度	広島県広島市安 佐南区祇園五丁 目37番1号						
スポーツ経営学科	4	70	-	210	学士 (スポーツ経 営学)	1. 05	0. 96	平成31年度	同上						
<u>メディアビジネス学部</u>															
<u>ビジネス情報学科</u>	4	80	若干	240	学士 (経営学)	0. 91	0. 76	平成31年度	広島県広島市安 佐南区祇園五丁 目37番1号						
<u>メディアビジネス学科</u>	4	60	若干	180	学士 (経営学)	0. 89	0. 83	平成31年度	同上						
大学全体	4	850	若干	2880	-			-	_						
大学院経済学研究科															
経済学専攻 博士課程後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0. 00	0. 00	平成2年度							
博士課程前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0. 75	0. 80	昭和54年度							
										l			l		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

#### 5 教員組織の状況

<メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

#### (1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	[合	和元年	r#T	<b>「</b> 会£	12年	#1	「合	和3年	<b>申</b> 1
専任・	1 M A	氏 名	専任・	1170-4	氏 名	専任・	124	氏 名	専任		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別	職名	(年 龄) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		丹羽 啓一 (45) <平成31年4月〉 博士(工学)			丹羽 啓一 (46) 〈平成31年4月〉 博士(工学)			丹羽 啓一 (47) 〈平成31年4月〉 博士(工学)			丹羽 啓一 (48) 〈平成31年4月〉 博士(工学)
専	教授 (学科 主任)	大学入八代ミ 大学入八代 大学入八代 大学入八代 大学入八代 大学入八代 と で で 大学入 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	専	教授 (学科 主任)	大学 入州 と	専	教授 (学科 主任)	大学入八代 大学入八代 大学入八代 大学入八代 大学入八代 大学入八代 と で で 大学入 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	専	教授 (学科 主任)	大学入門ゼミ 実際あ入門ゼミ プレゼミ 演習 II 情報の表演習 S 情報の表演と 世ピジネスを サイベレーシースで 情報の記載を サイベーシースで 情報の記載を サイベーシースで 「情報の記載を サイベーシースで アータース アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アーター アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータースで アータース アータース アータース アータース アータース アーター アーター
専	教授	高関 義幸 (68(高)) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Science(7州加) 大学入門ゼミ 興動人人門ゼミ ビジネス情報入門※ ビジネス機論	専	教授	高岡 義幸 (69(高)) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Science(アメリカ) 大学入門ゼミ 長島人人門ゼミ ビジネス情報入門※						
		堀江 浩司 (46) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)※			堀江 浩司 (47) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)※						
専	教授	大学入門ゼミ 貝動人入門ゼミ ブルゼミ 済濟習 I インターンシップ I (国内) ビジネス概論	専	教授	大学入門ゼミ 貝敷 人入門ゼミ ブルゼミ 演習 I 演習 I インターンシップ I (国内) ビジネス概論						
								港下 博 (54) 〈令和2年4月〉 修士(学術)※			港下 博 (55) 〈令和2年4月〉 修士 (学術) ※
						*	教授	大学入門ゼミ 実施人人門ゼミ ブレゼミ 演習 I 演習 I ジネス都論 ビジネスと職略	*	教授	大学人門ゼミ 男職人人門ゼミ ブレゼミ 選者 II 選者 II ビジネスを動物 ビジネスを動物 ビジネスを動物 ビジネスを動物 ビジネスを動物 ビジネスを 1T必用事例研究
						兼担	教授	銀江 浩司 (48) (令和2年4月) 修士(器営学)※ インターンシップI(国内)	兼担	- 教授	欄江 浩司 (49) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)※ インターンシップI(間内)
		田中 章司郎 (61) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			田中 章司郎 (62) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			田中 章司郎 (63) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			田中 章司郎 (64) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
専	教授	大学入門ゼミ 見動人人で 見動したで にnvi roment and Business 立て 2 人門 情報ンピュータ人門 情報ンピュータ基礎 日 可情報のピュータ基礎 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	専	教授	大学入門ゼミ 見動人と 見かして Environment and Business ロットでは ロータ 情報ンピュータ は の は の は の は の に に 。 に の に 。 に に に に に に に に に に に に に	専	教授	大学入門ゼミ 見動人人ゼミ 見動人人で Environment and Business コーラス門 情報がニュータス門 情報がニュータを基礎 I 情報がニュータム オーター は アイルアフィーター で アイルアンター で アイルアン	専	教授	大学人門ゼミ 見動人入門ゼミ ブレゼミ デョー Environment and Business コンビュニック人門 情報处理ュータ人門 情報处理ュータ基礎 II コンビュニータ基礎 II 電視数理調格 モバイルアプリ演習
専	教授	山村 耕一郎 (68(高)) 《平成31年4月》 展学博士 大学入門ゼミ 情報入門演習S	専	教授	山村 耕一郎 (69 (高)) (平成31年4月) 服学博士 大学人門ゼミ 青鶴人人門漫習S						
專	教授	得津 康義 (45) (45) (45) (45) (47) (45) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	専	教授	得津 康義 (46) (46) (今和2年4月) 博士(経済学) 大学入門ゼミ 関動人人門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ ブルゼミ ブルゼミ 「福宇 I 国 演演の行動を経済学で読み解く ビジネスポータ分析						
								田浦 元 (47) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)			田浦 元 (48) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
						*	教授	大学人門ゼミ 両軸人人門ゼミ 対策1 減ぎ1 減ぎ1 対策2 対策2 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3 対策3	*	教授	大学人門ゼミ 開助人人門ゼミ ブレゼミ 東書 京書 第1 ビジネス情報人門ゼミ ビジネスデータ分析 ビジネスデータ分析

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
兼坦	教授	得津 康義 (45) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 人の行動を経済学で読み解く【隔	兼坦	教授	得津 康義 (46) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 人の行動を経済学で読み解く	兼坦	教授	得津 康義 (47) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 人の行動を経済学で読み解く【隔	兼	坦	教授	得津 康義 (48) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 人の行動を経済学で読み解く
		石野 亜耶			石野 亜耶			右野 亜耶	_	_		石野 亜耶
		(33) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)			(34) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)			(35) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)				(36) 〈平成31年4月〉 博士(情報科学)
専	准教授	大学動列門ゼミ 大学動列の関係を 大学動列の関係を 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 大学の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	専	准教授	大学動列性を 大学動力を 対して 対して では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	專	准教授	大学動列門ゼミ 対象を表現しています。 対象を表現しています。 対象を表現しています。 大学を表現していまする。 大学を表現していまする。 大学を表現しています。 大学を表現していまする。 大学を表現していまする。 大学を表現していまする。 大学を表現な 大学を表現る 大学を表現る 大学を表現る 大学を表現る 大学を表現る 大学を表現る 大学を表現る	專	K I	<b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b>	大学動列門ゼミ 大学動列 大学動列 大学動列 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学
		杉山 克典 (43) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)			杉山 克典 (44) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)			杉山 克典 (45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)				杉山 克典 (46) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)
専	准教授	大男助人と 大男助人と デスティー 大学の 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	專	准教授	大男ファット と マール と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	准教授	大男助と記されています。 大男助と記されています。 大男助と記言しています。 大男かと記言しています。 大男かと記言しています。 大男かと記言しています。 大男な子の一角では、 大男な子の一を 大男な子の 大男を 大男な子の 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を 大男を	專	K I	隹教授	大男助人と 大男助レミ1 デカルと デカルと デカルと デカルと デカルと 大男かと 大男かと 大男かと 大男かと 大男かと 大男かと 大男かと 大男な 大男な 大男な 大男な 大男な 大男な 大男な 大男な
		久保 大支 (52) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※			久保 大支 (53) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※			久保 大支 (54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※				久保 大支 (55) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
専	助教	大学入門ゼミ 大学入門ゼミミ ブル門ゼミミ 国国 国 国 国 国 国 選済 み に み に み に み に み に み に み に み に み に み	専	助教	大学入門ゼミミ 大学入門ゼミミ 東ア海湾を持ち、 東京福東の東京福東の東京福東の東京福東の東京福東の東京福東の東京福東の東京福東	専	助教	大学入門ゼミ 大学入門ゼミ リファ 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	專	Ī	助教	大学入八円ゼミ 大学入八円ゼミ 大学人八円ゼミ 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京
		関 隆教 (36) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※			関 隆教 (37) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※			関 隆教 (38) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※				関 隆教 (39) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※
專	助教	大学入門ゼミ 無動人人門ゼミ 類型 1 漢習 1 漢習 1 漢習 1 第2 1 第2 1 ビジネス情報入門※(平31) ビジネス情報及門》(中2~) ビジネス情報財務 インターネット 門ゼミ 第2 1 第5 1 第6 1 第6 1 第7 1	専	助教	大学リスティー 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	專	助教	大学入門ゼミ 開動人入門ゼミ 河ンゼミ 演習 I 演習 I ジネス情報入門※(守21) ビジネス情報入門※(守2-) ゼジネス情報入門※(ウ2-) ビジネス情報入門※(ウ2-) ジェンケーネット・マーケティング 施ビジネス情報入門ゼミ 顧客関係管理と知的情報ベース	蒋	Ē	准教授	大学入門ゼミ 風動人入門ゼミ 風動人入門ゼミ 演習 I 選者 E ビジネス代報 ビジネス代報 ビジネス代報 リンシネス代報 リンシネス代 リンシネス代 リンシネス代 リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ リンシ
兼担	教授	新垣 繁秀 (54) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】	兼担	教授	新垣 繁秀 (55) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解く 【隔年】	兼担	教授	新垣 繁秀 (56) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】	兼	担	教授	新垣 繁秀 (57) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解〈 【隔年】
兼担	教授	マクロ経済学基礎 I 小笠原 礼以 (49) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※	兼担	教授	マクロ経済学基礎 I 小笠原 礼以 (50) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※	兼担	教授	マクロ経済学基礎 I 小笠原 礼以 (51) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※	兼	担	教授	マクロ経済学基礎 I 小笠原 礼以 (52) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※
		インターンシップ I (国内)			インターンシップ I (国内)			インターンシップ I (国内)				インターンシップ I (国内)
兼担	教授	岡田 斎 〈令和2年4月〉 博士(経営学),博士(工学) インターンシップ I (国内) 経営情報論	兼担	教授	岡田 査 (65) (今和2年4月〉 博士(経営学) 博士(工学) インターンシップ I (国内) 経営情報論	兼担	教授	岡田 斎 (今和2年4月) 博士(経営学)・博士(工学) インターンシップ I (国内) 経営情報値	兼	担		図田 斎 (67) (今和2年4月) 博士(経営学), 博士(工学) インターンシップⅠ(国内) 経営情報論
		生産管理論 岡本 恵子 (63)			生産管理論 岡本 恵子 (64)			生産管理論 岡本 恵子 (65)	-			生産管理論 岡本 恵子 (66)
兼担	教授	(甲戌31年4月) 文学修士 ビジネス日本語演習 女章表現演習・発展 日本シーシップ I (国内) 文芸制作実践	兼担	教授	(平成31年4月) 文学修士 ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 大学人門ゼミ ストース・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	兼担	教授	(平成31年4月) 文学修士 ビジネス日本語演習 文章表現宗・発展 日本文学A 大学人内社を 同期人人内社を インターンシップ I (国内) 文芸創作実践	兼:	担		マ東 (31年4月) マ文学修士 ビジネス日本語演習 文章表現演習・掲載 文章表現演習・発展 日本文学A、同ゼ号 (4) インターンシップI (国内) 文章級的作業
		岡本 貞雄 (65) 〈平成31年4月〉 文学修士※			岡本 貞雄 (66) (平成31年4月) 文学修士※			岡本 貞雄 (67) 〈平成31年4月〉 文学修士※				
兼担	教授	日本の思想と文化 日本の宗教 様(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう	兼担	教授	日本の思想と文化 日本の思想と文化 日本の宗で元気なこころとから だをつくろう	兼担	教授	日本の思想と文化 日本の宗教 様(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう				

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  (就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
									禁担	教授	度辺 都夫 (53) (全和3年4月) 文学修士 日本の屋盤と文化 日本の景像 コミュニケーション実践
									兼任	鉄師	関本 貞雄 (68) (中和3年4月) 文学修士※ 禅(ZEN) で元気なこころとから だをつくろう
兼担	教授 (学長)	小谷 幸生 (66) 《平成31年4月》 Master of Business Administration(アタリカ) わが人生の転機 I (教職員編)	兼担	教授 (学長)	小谷 幸生 (67) 《平成31年4月〉 Master of Business Administration(アリカ) わが人生の転機 I (教職員編)	兼担	教授 (学長)	小谷 幸生 (68) 〈平成31年4月〉 Master of Business Administration(7月1分) わが人生の転機 I (教職員編)			
									兼坦	教授	- 標 信之 (67) (67) (今和3年4月) 修士(経済学)※ わが人生の転機 I (像職員棚)
兼担	教授	神田 義浩 (58) (7年成31年4月) 文字修士※ 社会心理学 大学入門ゼミ 教育心理学 教育の理学 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育 日教育	兼担	教授	神田 義浩 (60) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (7	兼担	教授	神田 義浩 (61) 《平成31年4月》 文学格士※ 社会心理学 规数人人門ゼミ <b>思考力照典</b> 教育心理学 I 教育心理学 I 教育 東雲 I	兼担	教授	神田 義浩 (62) (72) (72) (72) (72) (72) (73) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74
兼担	教授	北野 尚人 (61) 〈平成31年4月〉 経済学士 コピーライティング実践講座	兼担	教授	教育実習Ⅲ 北野 尚人 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士 コピーライティング実践講座	兼担	教授	教育実習Ⅲ 北野 尚人 (60) (9	兼担	教授	教育実習Ⅲ 北野 尚人 (64) 〈平成31年4月〉 経済学士 コピーライティング実践講座
兼担	教授	宜名眞 勇 (67) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(アメリカ) International Trade	兼担	教授	直名眞 勇 (68) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(アチリカ) International Trade	兼担	教授	宣名眞 勇 (69) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(アチメワカ) International Trade	兼担	教授	宜名眞 勇 (70) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy (7۶リカ) International Trade
兼担	教授	高石 150 (50) (平成31年4月) 博士(理学) 数学子 数学子 日前数学子 日自然科学A 目が料字を 日本・シャップ I (国内)	兼担	教授	高石 哲弥 (51) (平成31年4月) 博士 (理学) 数学 (平成31年4月) 博士 (理学) 数学 (平成31年4月) 数学 (平成31年4月) 数学 (平成31年4月) 日部 (日本) 日部 (日本) 日本) 日本) 日本) 日本) 日本) 日本) 日本) 日本) 日本)	兼担	教授	高石 哲弥 (52) (平成31年4月) 博士(理学) 数学 5 数学 9 数学 9 数学 9 数学 9 数学 9 数学 9 数学 9 数学 9	兼担	教授	高石 哲弥 (53) 〈平成31年4月〉 博士(理学)  蒙学・ 自然科学 日 日
兼担	教授	田中泉 (年度31年4月) 文学修士※  で成31年4月) 文学修士※  広島の歴史と文化※ 世界の歴史  世界の歴史  世界の歴史  世界ので表  成島とハワイで学ぼう!めざせ国  教職入門窓  教職大響習  教育実習  教育実習	兼担	教授	田中泉 (61) 年 (61	兼担	教授	田中泉 (62) (平成31年4月) 文学修士※  広島の歴史と文化※ 世界の歴史1 世界の歴史1 世界の歴史1 世界のア東敦※ 孟为1期994 広島とハワイで学ぼう! めざせ国際 (株) 東京 (株)	兼担	教授	田中泉 (63) (年度31年4月) 文学等士※  広島の歴史と文化※ 世界の歴史 I 世界の歴史 I 世界のア教 本高か加州の大学がで学ぼう!めざせ 表示の大学 本語の大学 本語の大学 本語の大学 本語の大学 教育夫害国  新月美智  「
兼担	教授	田辺 洋子 (63) 〈甲成31年4月〉 博士(文学)  必修英語 I L  必修英語 I L  炎語理解・標準 I 英語理解・標準 I	兼担	教授	田辺 洋子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語A I 英語理解・標準 I 英語理解・標準 I	兼担	教授	田辺 洋子 (65) 〈甲成31年4月〉 (第七(文学)	兼担	教授	田辺 洋子 (66) (年成31年4月) 情士(文学) 必修英語 A I 必修英語 A I 英語理解・標準 I 英語理解・標準 I
兼担	教授	展森 裕幅 (52) (今和3年4月) 博士(教育学) 教育実習正 教育実習正 教職実践演習(中・高)	兼担	教授	朋森 裕暢 (53) (平成31年月) 博士(教育学)   秦華入門 教育実習 I 教育実習 I 教育実習 I 教育実習 I 教育実習 I 教育実習 I	兼担	教授	風森 裕铝 (54) (平成31年4月) 博士(教育学) 思考力開発※ (東入門※ 教育美習」 教育美習」 教育美習」	兼担	教授	阻森 裕暢 (55) (李剛第31年4月) 博士(教育学)  ■等力開発※ ●職入門院 教育美習 I 教育美習 I 教育美習 正 教育美習 正
			兼担	教授	令本 麻後 (65) (平成31年4月) 博士(法学) 日本外交史 国際関係史	兼担	教授	李本 康後 (66) (平成31年4月) 博士(法学) 日本外交史 國際關係史	兼担	教授	等本 重数 (87) (87) (平度31年4月〉 博士(法学) 日本外交史 國際關係史
兼担	教授	永田 靖 (51) (平成31年4月) 博士(マネジメント) インターンシップ I (国内) 経営実践									

専任・	_		東/元。	_		表行。			専任・	_	T
等担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	芽担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			蒙坦	教授	林 和夫 (81) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)						
					インターンシップ I (国内)						
						兼坦	教授	藤口 光紀 (70) 〈令和2年4月〉 文学士	兼坦	教授	第口 光紀 (71) (令和2年4月) 文学士
								インターンシップI(国内)			インターンシップI(国内)
			兼坦	准骸	藤原 久間 (52) (平成31年4月) 修士(経営学)	兼坦	准教授	藤原 久間 (53) (平成31年4月) 修士(装置学)	兼坦	准教授	藤原 久間 (54) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
					経営実践			経営実践			経営実践
兼担	教授	糠谷 英輝 (57) 〈令和2年4月〉 法学士	兼担	教授	糠谷 英輝 (58) 〈令和2年4月〉 法学士	兼担	教授	糠谷 英輝 (59) 〈令和2年4月〉 法学士	兼担	教授	糠谷 英輝 (60) 〈令和2年4月〉 法学士
		資本市場の役割と証券投資			資本市場の役割と証券投資			資本市場の役割と証券投資			養本市場の役割と証券投資
									兼担	助徽	調 怡 (29) 〈令和3年4月〉 修士(経営学)
											資本市場の役割と証券投資
		長谷川 泰志 (59) 〈平成31年4月〉 文学修士※			長谷川 泰志 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※			長谷川 泰志 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※			長谷川 泰志 (62) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼担	教授	日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学B	兼担	教授	日本語文章表現文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学B	兼担	教授	日本語文章表現文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学 日本語文章表現	兼担	教授	日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学日
		企画力養成講座			企画力養成講座			企画力養成講座			企画力養成構座
兼担	教授	濱 愼一 (66) 〈令和3年4月〉 Doctor of Philosophy(アメリカ)	兼担	教授	濱 愼一 (67) 〈令和3年4月〉 Doctor of Philosophy(7が助)	兼担	教授	濱 慎一 (68) 〈令和3年4月〉 Doctor of Philosophy(7がか)	兼担	教授	濱 愼一 (69) 〈令和3年4月〉 Doctor of Philosophy(7が助)
		マルチメディア論			マルチメディア論			マルチメディア論			マルチメディア論
兼担	教授	渡田 敏彦 (56) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼担	教授	渡田 敏彦 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼担	教授	渡田 敏彦 (58) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼担	教授	渡田 敏彦 (59) 〈平成31年4月〉 文学修士※
		日本の歴史 II 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう			日本の歴史I 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信し よう			日本の歴史 II 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう			日本の歴史II 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう
		George R. Harada (58) 〈平成31年4月〉 法学修士※			George R. Harada (59) 〈平成31年4月〉 法学修士※			George R. Harada (60) 〈平成31年4月〉 法学修士※			George R. Harada (61) 〈平成31年4月〉 法学修士※
兼担	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会 上 模 広 い世界 L 原 び 出 そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students I Independent Study I Japanese Law and Society I Japanese Law and Society I Japanese Law and Society I Theory and Practice of Budo% Study on International Issues and Challenges	兼担	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会人権 広い世界に飛び出そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students I Independent Study II Japanese Law and Society II Mapanese Law and Society II Heory and Practice of Budo ※ Study on International Issues and Challenges	兼担	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会 上 模 区 L 世界 F L M T M T M T M T M T M T M T M T M T M	兼担	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会と人権 広い世界に飛び出そう 広い世界に飛び出そう for International Students I Practical Management Theory for International Students I Independent Study I Independent Study I Japanese Law and Society I Japanese Law and Society I Theory and Practice of Budo ※ Study on International Issues and Challenges
		平岡 賢治 (67) 〈平成31年4月〉 理学修士※			平岡 賢治 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士※			平岡 賢治 (69) 〈平成31年4月〉 理学修士※			
兼担	教授	数学A 数学B 数学C 社会人基礎学力応用	兼担	教授	数学 A 数学 B 数学 C 社会人基礎学力応用	兼担	教授	数学 A 数学 B 数学 B 数学 B 社会人基礎学力基礎 社会人基礎学力応用			
											青谷 章弘
											(40) 〈令和3年4月〉 博士(提象數理学)
									兼坦	准教授	数学A 数学B 数学C 社会人基礎学力基礎 社会人基礎学力応用
		平本 賢了			平本 賢了			平本 賢了			平本 賢了
兼担	教授	(54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼担	教授	(55) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼担	教授	(56) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼担	教授	(57) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
		インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ I (海外)			インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ I (海外) 広田 坚志			インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ II (海外)			インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ II (海外)
兼担	教授	広田 堅志 (47) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	(48) 〈平成31年4月〉 <b>※令和元年海外 靈学</b> 博士(経済学)	兼担	教授	広田 堅志 (49) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	広田 堅志 (50) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
		ゲームを通じてグローバル社会を 理解しよう			ゲームを通じてグローバル社 会を理解しよう			ゲームを通じてグローバル社会を 理解しよう			ゲームを通じてグローバル社会 を理解しよう

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名	兼任	誘師	担当授業科目名 <b>栗原 連</b> (63) 〈平成31年4月〉 博士( <b>歯学</b> )			担当授業科目名			担当授業科目名
					ゲームを運じてグローバル社 会を理解しよう						
兼担	教授	福居 信幸 (62) 〈令和2年4月〉 経済学士 資本市場の役割と証券投資	兼担	教授	福居 信幸 (63) 〈令和2年4月〉 経済学士 資本市場の役割と証券投資	兼担	教授	福居 信幸 (64) 〈令和2年4月〉 経済学士 資本市場の役割と証券投資	兼担	教授	福居 信幸 (65) 〈令和2年4月〉 経済学士 資本市場の役割と証券投資
兼坦	教授	細井 護一 (50) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※	兼坦	教授	細井 謙一 (51) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※	兼坦	教授	網井 謙一 (52) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※	兼坦	教授	細井 謙一 (53) 〈令和2年月〉 修士(商学)※
**	4A1X	流通システム論 I 流通システム論 I	- 本型	4A1X	流通システム論 I 流通システム論 I	***	4A1X	流通システム論 I 流通システム論 I	水型	4A1X	流通システム論Ⅰ 流通システム論Ⅱ
兼坦	教授	堀江 真由美 (52) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	堀江 真由美 (53) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	堀江 真由美 (54) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	堀江 真由美 (55) (令和2年4月) 博士(経済学)
		ミクロ経済学基礎 I 松本 耕二 (50)			ミクロ経済学基礎 I 松本 耕二 (51)			ミクロ経済学基礎 I 松本 耕二 (52)			ミクロ経済学基礎 I 松本 耕二 (53)
兼坦	教授	(30) 〈平成31年4月〉 修士(体育学) スポーツ実習	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 修士(体育学)	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 修士(体育学)	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		タルーリ美音 宮岡 弥生 (51) 〈平成31年4月〉			スポーツ実習 宮岡 弥生 (52) 〈平成31年4月〉			スポーツ実習 宮岡 弥生 (53) 〈平成31年4月〉			スポーツ実習 宮岡 弥生 (54) 〈平成31年4月〉
兼坦	教授	(本成31年4月2 博士(学術) 日本語(基礎B) 日本語(基礎F)	兼坦	教授	博士(学術) 日本語(基礎B) 日本語(基礎F)	兼坦	教授	ヤ成31年4月/  博士(学術)   日本語(基礎B)   日本語(基礎F)	兼坦	教授	博士(学術) 日本語(基礎B) 日本語(基礎F)
		日本四(金)(1)			and the second of the second o	兼坦	教授	官田 庄悟 (64) 〈令和2年4月〉 政治学士	兼坦	教授	宫田 庄悟 (65) 〈令和2年4月〉 政治学士
								インターンシップ I (国内)			インターンシップ I (国内) 企画力養成議座
兼坦	教授	宮畑 加奈子 (54) 〈平成31年4月〉 博士(法学)	兼坦	教授	宮畑 加奈子 (55) 〈平成31年4月〉 博士(法学)	兼坦	教授	宮畑 加奈子 (56) 〈平成31年4月〉 博士(法学)	兼坦	教授	宮畑 加奈子 (57) 〈平成31年4月〉 博士(法学)
		日本の法律 インターンシップⅡ(海外)			日本の法律 インターンシップⅡ(海外)			日本の法律 インターンシップⅡ(海外)			日本の法律 インターンシップⅡ(海外)
		餅川 正雄 (61) 〈平成31年4月〉 経済学士			餅川 正雄 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士			餅川 正雄 (63) 〈平成31年4月〉 経済学士			餅川 正雄 (64) 〈平成31年4月〉 経済学士
兼坦	教授	生徒・進路指導論 教育実習 I 教育実習皿 中級簿記演習	兼坦	教授	わが人生の転 <mark>傷 II(同家生編)</mark> 生徒・進路指導論 教育実習 I 教育実習 I 中級簿記演習	兼坦	教授	思考力開発※ わが人生の転機II(同窓生編) 生徒・進路指導論 教育実習I ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	兼坦	教授	思考力開発※ わが人生の転機 I (同窓生編) 生徒・建築の転機 I (同窓生編) 教育実習 I 教育実習 I 中級簿記演習
兼坦	教授	森田 裕司 (56) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼坦	教授	森田 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士						
		メンタルヘルス論 教育相談			メンタルヘルス論 教育相談			上手 幸治			上手 幸治
						兼坦	准骸	(51) 〈令和2年4月〉 人間環境学修士 メンタルヘルス論 教育相談	兼坦	准骸	(52) 〈令和2年4月〉 人間環境学修士 メンタルヘルス論 教育相談
		柳川 和優 (59)			柳川 和優 (60)			<b>教育相談</b> 柳川 和優 (61)			柳川和優(62)
兼坦	教授	〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼坦	教授	〈平成31年4月〉 博士(教育学)
水坦	7X 1X	スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	水坦	4X1X	スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	水坦	4X1X	スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	水坦	9212	スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップ I (国内) わが人生の転機 II (周窓生機)
兼坦	教授	山内 昌斗 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)									
		わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)									
兼坦	教授	山本 公平 (53) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※									
		「笑い」のパワー・生きるカ			山本 公平			山本 公平			山本 公平
			兼任	脾師	(54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※ 「美い」のパワー・生きるカ	兼任	講師	(555) <平成31年4月> 修士(経済学)※ 「美い」のパワー・生きるカ	兼任	糖師	(56) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※ 「笑い」のパワー・生きるカ
<u> </u>			J [		2000	Ц_		2000	<u> </u>	<u> </u>	Jan Jan Jan Jan Jan Jan Jan Jan Jan Jan

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専作 兼担 兼任	∄· £	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		山本 貴裕 (51) 〈平成31年4月〉 文学修士※				山本 貴裕 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士※			山本 貴裕 (53) 〈平成31年4月〉 文学修士※			山本 貴裕 (54) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	必修英語BI 必修英語BI 必修英語BI 必修英語CI Academic Writing in English 世界の思想と現代社会 I 広い世界に飛び出そう 原人 Japanese Religion and Culture	***	坦	教授	必修英語BI 必修英語BI 必修英語CIIting in English 快速の思想と現代社会I 広い世界に飛び出そうI 広い世界に飛び出そうI 位国際人 Japanese Religion and Culture	兼坦	秋坂	必修英語BI 必修英語BI 必修英語BI 必修英語CII Academic Writing in English Hzpの思想と現代社会I 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう! めざせ国 際人 Japanese Religion and Culture	兼坦	教授	必修英語 B I 必修英語 D I 必修英語 D I 必修英語 D I 必修英語 C I I I I I I I I I I I I I I I I I I
兼坦	教授	山本 雅昭 (54) (54) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	兼	田	教授	山本 雅昭 (〒65) Philosophy of Doctor(イギリス) Philosophy of Doctor(イギリス) テクノロジーと社会・経済情報とネットワーク社会 インターンシップ I (国内) 情報技術語	兼坦	教授	山木 雅昭 (55) (平成31年4月) Philosophy of Doctor (イギリス) アクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 インターンシップ I (国内) 情報技術論	兼坦	教授	山本 雅昭 (57) (57) (7月) (57) (7月) (57) (7月) (57) (7月) (7月) (7月) (7月) (7月) (7月) (7月) (7
兼坦	教授	楊 義申 (46) 〈令和3年4月〉 博士(経済学)	<b>*</b>	坦	教授	精報技術 編     横 義申   (47)   (令和3年4月)   博士(経済学)	兼坦	教授	特 報及物調   楊 義申 (48) (令和3年4月)  博士(経済学)	兼坦	教授	情報技術  編   横 義申   (49)   (今和3年4月)  博士(経済学)
		インターンシップ Ⅱ (海外)				インターンシップⅡ (海外)			インターンシップⅡ(海外)			インターンシップⅡ(海外)
兼坦	教授	渡辺 勇一 (66) 〈令和2年4月〉 法学士 インターンシップ I(国内)	*	坦	教授	渡辺 勇一 (67) 〈令和2年4月〉 法学士 インターンシップI(国内)	兼坦	教授	渡辺 勇一 (68) 〈令和2年4月〉 法学士 インターンシップ I (国内)	兼坦	教授	渡辺 勇一 (69) 〈令和2年4月〉 法学士 インターンシップ I (国内)
兼坦	准教授	石田 優子 (44) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	*	坦	准教授	石田 優子 (45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼坦	准教授	石田 優子 (46) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼坦	准教技	石田 優子 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
		わが人生の転機 I (教職員編)				わが人生の転機 I (教職員編)			わが人生の転機Ⅰ(教職員編)			わが人生の転機 I (教職員編)
兼坦	准教授	梶原 英二 (50) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※	#	坦	准教授	梶原 英二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※	兼坦	准教授	梶原 英二 (52) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※	兼坦	准教技	梶原 英二 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※ 必修英語AI
		必修英語AI 必修英語AⅡ				必修英語 A II			必修英語AI 必修英語AII			必修英語 A II 必修英語 C II
		木本 一成 (59) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)				木本 一成 (60) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			木本 一成 (61) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			木本 一成 (62) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
兼坦	准教授	日本語文章表現 文章検索管 - 標準 日本語演演管 - 標準 文章表現演管 - 標準 日本語演音・機展 女子学生のためのキャリア形成入 門	兼	坦	教授	日本語文章表現 文章検演習 日本語演習・標準 文章表語演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形 成入門	兼坦	教授	日本語 文章表現 文章 核語文章 表現 文章 株語 東海 日本語 東海 一様準 日本語 東海 一様準 日本語 海 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様 一様	兼坦	教授	日本語文章表現 大章検演習・標準 大事検演習・標準 大事義親漢書・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成 入門でま 興動人入門でま
兼坦	准教授	坂間 十和子 (30) 〈令和2年4月〉 修士 (商学) ※	#	坦	准教授	坂間 十和子 (31) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※	兼坦	准教授	坂間 十和子 (32) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※	兼坦	准教技	坂間 十和子 (33) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※
		マーケティング論基礎				マーケティング論基礎			マーケティング論基礎			マーケティング論基礎
		迫田 奈美子 (43) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)				迫田 奈美子 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)			追田 奈美子 (45) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(4ギリス)			迫田 奈美子 (46) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)
兼坦	准教授	必修英語BI 必修藤英語BI 英語理解・発展I 英語理解・発展I 女子学生のためのキャリア形成入 門	*	坦	准教授	必修英語BI 必修英語BI 英語理解・発展 I 英語理解・発展 I 女子学生のためのキャリア形 成入門	兼坦		必修英語BI 必修英語BI 英語理解・発展I 英語理解・発展I 女子学生のためのキャリア形成入 門	兼坦	准教技	₹ <b>必修英語 B.I.</b> 必修英語 B.II 必修英語 B.II 英語理解・発展 I 英語理解・発展 I 女子学生のためのキャリア形成 入門
兼坦	准教授	澤 滋久 (53) 〈平成31年4月〉 修士(理学)※	*	坦	准教授	澤 滋久 (54) (平成31年4月) 修士(理学)※	兼坦	准教授	澤 滋久 (55) 〈平成31年4月〉 修士(理学)※	兼坦	准教持	澤 滋久 (56) 〈平成31年4月〉 修士(理学)※
		世界の宗教※ インターンシップ I (国内)				世界の宗教※ インターンシップ I (国内)			世界の宗教※ インターンシップ I (国内)			世界の宗教※ インターンシップ I (国内)
兼坦	准教授	重野(白田) 裕美 (34) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	*	坦	准教授	重野(白田) 裕美 (35) 〈平成31年4月〉 博士(学術)						
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践				日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践						
									版水 貴司 (30) 〈令和2年4月〉 博士(学術)			板水 貴司 (31) (令和2年4月) 博士(学術)
							兼坦	助教	日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準	兼坦	助教	日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準
									重野(白田) 裕美 (36) (令和2年4月) 博士(学術)			重野(白田) 裕美 (37) 〈令和2年4月〉 博士(学術)
							兼任	講師	ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践	兼任	納無	日本語文章表現 ビジネス日本語波響 文章表現波響・標準 コミュニケーション実践

事57			東ゲ	1		東戸:			<b>電</b> 尺		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		竹林 栄治			竹林 栄治			竹林 栄治			竹林 栄治
		(52) 〈平成31年4月〉			(53) 〈平成31年4月〉			(54) 〈平成31年4月〉			(55) 〈平成31年4月〉
兼坦	准教授	経済学修士※	兼坦	准教授	経済学修士※	兼坦	准教授	経済学修士※	兼坦	准教授	経済学修士※
		ドイツ語 I ドイツ語 I			ドイツ語Iドイツ語Ⅱ			ドイツ語Iドイツ語I			ドイツ語 I ドイツ語 I
		Kenneth I. Tsuye (65)			Kenneth I. Tsuye (66)			Kenneth I. Tsuye (67)			Kenneth I. Tsuye (68)
		〈平成31年4月〉 Doctor of Business			〈平成31年4月〉 Doctor of Business			〈平成31年4月〉 Doctor of Business			〈平成31年4月〉 Doctor of Business
兼坦	准教授	Administration (7メリカ)	兼坦	准教授	Administration (アメリカ)	兼坦	准教授	Administration (7メリカ)	兼坦	准教授	Administration (アメリカ)
		Independent Study Ⅲ Independent Study Ⅳ			Independent Study III Independent Study IV			Independent Study III Independent Study IV			Independent Study III Independent Study IV
		土屋 祐子			土屋 祐子			土屋 祐子			
		(47) 〈平成31年4月〉			(48) 〈平成31年4月〉			(49) 〈平成31年4月〉			
兼坦	准教授	修士(学際情報学)	兼坦	准教授	修士(学際情報学)	兼坦	准教授	修士(学際情報学)			
		「私たちの広島」PR実践			「私たちの広島」PR実践			「私たちの広島」PR実践			
											後藤心平
										准載	(47) 〈令和3年4月〉 博士 (情報科学)
									兼坦	接	博士(情報科学)
											「私たちの広島」PR実践
		堂本(村田) 絵理			堂本(村田) 絵理			堂本(村田) 絵理			堂本(村田) 絵理
		(37) 〈令和3年4月〉			(38) 〈令和3年4月〉			(39) 〈令和3年4月〉			(40) 〈令和3年4月〉
兼坦	准教授	博士(情報科学)	兼坦	准教授	博士(情報科学)	兼坦	准教授	博士(情報科学)	兼坦	准教授	博士(情報科学)
		マルチメディア論			マルチメディア論			マルチメディア論			マルチメディア論
		中村 隆行			中村 隆行	$\vdash$		中村 隆行			中村 隆行
1		(60) 〈平成31年4月〉			(61) 〈平成31年4月〉			(62) 〈平成31年4月〉			(63) 〈平成31年4月〉
		法学修士※			法学修士※			法学修士※			法学修士※
					身近なボランティア活動						身近なポランティア活動
兼坦	准教授	対処は小フフリイノ心刺	兼坦	准教授	NPO・NGOの立ち上げと 活動	兼坦	准教授	身近なボランティア活動	兼坦	准教授	NPO・NGOの立ち上げと活動
		NPO・NGOの立ち上げと活動 興動館プロジェクトの計画と実施			興動館プロジェクトの計画と 実施			NPO・NGOの立ち上げと活動 興動館プロジェクトの計画と実施			興動館プロジェクトの計画と実 体
		興動館プロジェクトの評価と改善 興動館プロジェクトの経営戦略			興動館プロジェクトの評価と 改善			興動館プロジェクトの評価と改善 興動館プロジェクトの経営戦略			服 興動館プロジェクトの評価と改
					興動館プロジェクトの経営戦 略						曹 興動館プロジェクトの経営戦略
		宮地 茶和			宮地 英和			宮州 茶和			宮地 英和
		宮地 英和 (44) 〈平成31年4月〉			(45) 〈平成31年4月〉			宮地 英和 (46) 〈平成31年4月〉			(47) 〈平成31年4月〉
兼坦	准教授	博士(芸術)	兼坦	准教授	博士(芸術)	兼坦	准教授	博士(芸術)	兼坦	准教授	博士(芸術)
		ユニパーサルデザイン実践			ユニパーサルデザイン実践			ユニバーサルデザイン実践			ユニバーサルデザイン実践
		ユニバーリルナリイン夫成			ユニハーリルナリイン夫政			ユニハーッルチッキン夫成			ユニハーリルナッイン夫成
		三山 緑 (43)									
		〈平成31年4月〉 修士(教育学)※									
兼坦	准教授										
28-12	7E 7A1A	教育原理									
		教育制度論 教育実習 I									
		教育実習Ⅲ							-		
					<b>岡本 徹</b> (65)			<b>岡本 徹</b> (66)			<b>岡本 徹</b> (67)
			兼任	講師	〈令和2年4月〉 教育学修士※	兼任	講師	〈令和2年4月〉 教育学修士※	兼任	講師	《令和2年4月》 教育学修士※
					<b>教育制度論</b>			教育制度論			依有制度論
					宮崎 康子 (49)						
			兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(教育学)						
					教育原理						
								前馬 優策 (36)			前馬 優策 (37)
								〈令和2年4月〉 修士(人間科学)※			〈令和2年4月〉 修士(人間科学)※
						兼坦	准骸		兼坦	准教 授	
							134	数据入門※		130	級職僚差 後職入門※ 教育原理 教育実習Ⅰ
											♥ F F F F F F F F F F F F F F F F F F F
	1							飲職教養 物職入門※ 教育原理 教育原理 I 教育李書 I			
1		+			+			秋宵美寶皿			
		本岡 亜沙子 (37)			本岡 亜沙子 (38)			本岡 亜沙子 (39)			本岡 亜沙子 (40)
								本岡 亜沙子			本岡 亜沙子
兼坦	准教授	(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼坦	准教授	(38) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (39) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (40) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
兼坦	准教授	(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI	兼坦	准教授	(38) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語 A I 必修英語 A II	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (39) (平成31年4月) 博士(文学)  必修英語A II	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (40) (平成31年4月) 博士(文学)  必修英語A II
兼坦	准教授	(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語AI	兼坦	准教授	(38) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語 A I	兼坦	准教授	本間 亜沙子 (39) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (40) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語A I
兼坦	准教授	(3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	兼坦	准教授	(38) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 必修英語 A I 必修英語 A I 必修英語 C I 外国文学 A ※	兼坦	准教授	本間 董沙子 (39) (平成31年4月) 博士(文学)  必修英語A I 必修英語C I 外国文学A ※	兼坦	准教授	本間 亜沙子 (40) (平成31年4月> 博士(文学)  参修英語 A I  参修英語 A II 参修英語 C I 外園文学 A ※
兼坦	准教授	(37) 《甲戌34年4月》 博士(文学) 必修英語A I 必修英語A I 必修英語A I 別 別類文学A ※ 森山(丹羽) 拾子	兼坦	准教授	(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語AI 分類文字A※ 森山(丹羽) 除子 (47)	兼坦	准教授	本岡 蓮沙子 (39) (39) (平成31年4月) 南庄 (文字)  必修英語A I 必修英語A I 必修英語A I が解析 (丹羽) 称子 (48)	兼坦	准教授	本間 亜沙子 (40) (平成3144月) 博士(文学)  必修英語 A I 必修英語 A I 必修英語 A I 分析 英语 A I 外間文学 A ※ 森山(丹羽) 拍子 (49)
兼坦	准教授准教授	(37) 《甲戌31年4月》 博士(文学) 必修英語A I 必修英語A I 必修英語B C I 外国文学A ※	兼坦		(38) (平成31844月) 博士(文学) 必修英語A I 必修英語A I 必修英語C I 外国文学A※	兼坦		本間 蓮沙子 (39) (39) (平成31年4月) (博士(文学) 必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 分類文学A ※ 森山(丹羽) 珍子		准教授准教授	本図 亜沙子 (40) (中底)14年4月) 博士(文学)  必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 必修英語 C I 外国文学 A ※
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語BCI 外国文字A※ 森山(丹羽) 玲子 (47) 《平成31年4月》 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形			本間 選沙子 (39) (39) (平成31年4月) (博士(文学)   参修英語A I J  参修英語A I J  参修英語A I J  《中成31年4月》 (48) (平成31年4月》			本図 至沙子 (40) (平成31年4月) (博士(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  分類文学A ※ 森山(丹羽)  第子 (49) (平成31年4月)
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語AI 必修英語AI 必修英語BI 列国文学A  森山(丹羽) 始于 〈平成31年4月〉 传士(経済学)※			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語A I 必修英語A I 必修英語C I 外国文学A ※ 森山(丹羽) 珍子 (47) (年成31年4月) 修士(経済学) ※			本岡 亜沙干 (39) (39) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月			本間 亜沙子 (40) (甲戌次1年4月) 博士(文学) 必修英語A I 必修英語A I 必修英語C I 外国文学A ※ 森山 (丹羽) 珍子 (平成31年4月) 修士(経済学) ※
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語BCI 外国文字A※ 森山(丹羽) 玲子 (47) 《平成31年4月》 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形			本岡 亜沙干 (39) (39) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月			本間 亜沙子 (40) (中成3144月) 博士(文学)  必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 以外国文学A ※  森山(丹羽) 始子 (40) (年度31年4月) 修士(経済学)※  女子学生のためのキャリア形成 入門
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語BCI 外国文字A※ 森山(丹羽) 玲子 (47) 《平成31年4月》 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形			本岡 亜沙干 (39) (39) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月	兼坦	准教授	本関 亜沙子 (40) (中成3144月) (博士(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  小園文学A ※  森山(丹羽) 第子 (48) 44月)  修士(経済学) ※  女子学生のためのキャリア形成  入門  山田重沙尼 (37) (金別34月)
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語BCI 外国文字A※ 森山(丹羽) 玲子 (47) 《平成31年4月》 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形			本岡 亜沙干 (39) (39) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月			本間 亜沙子 (40) (中成3144月) 博士(文字)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  分修英語A I  分修英語A I  分修英語A I  分修英語A I  人名
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 必修英語AI 必修英語AI 必修英語BCI 外国文字A※ 森山(丹羽) 玲子 (47) 《平成31年4月》 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形			本岡 亜沙干 (39) (39) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月	兼坦	准教授	本関 亜沙子 (40) (中成3144月) (博士(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  少修英語A I  小園文学A ※  森山(丹羽) 第子 (48) 44月)  修士(経済学) ※  女子学生のためのキャリア形成  入門  山田重沙尼 (37) (金別34月)
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語C I  外国文学A ※  森山(丹羽)			(38) (平成31年4月) 博士(文学) 総修英語A II 必修英語B A II 必修英語B C I 外国文学 A ※ 森山(丹羽) 珍子 (47) (平成31年4月) 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形成入門			本間 亜沙子 (39) (平成31年4月) (博士(文学)  必修英語品 I  必修英語品 I  必修英語品 I  必修英語品 I  が年英語 C I  外国文学 A ※  森山(丹羽) 除子 (平成31年4月)  修士(経済学)※  女子学生のためのキャリア形成入門	兼坦	准教授	本間 亜沙子 (40) (中級)144月) 博士(文学)  必修業語A I  ※修策美語C I  ※修策美語C I  ※修策美語C I  ※例如文学A ※  森山(丹羽)  海子 〈年度31年4月〉  修士(第7)  ※女子学生のためのキャリア形成 入門 山田重沙配 〈マ和31年9月〉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I  必修英語B A I  必修英語B A I  必修英語B C I  外国文学A ※  森山(丹羽)			(38) (平成31年4月) 博士(文学)  必修英語A I  必修英語B A II  必修英語B C I   発生(発生)  森山(丹羽) 珍子 (47) (47) (48) (48) (48) (47) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48			本間 歪沙子 (39) (31) (31) (第女(31) (第女(31) (第女(31) (第女(31) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48	兼坦	准教授	本間 亜沙子 (40) (平成3144月) 博士(文学)  夢修英語A I  参修英語A I  参修英語A I  参修英語A I  列国文学A ※ 森山 (丹羽) 珍子 (平成31年4月) 修士(統字) ※  女子学生のためのキャリア形成 入門 山田重砂配 (47) (本和3年4月) スポーツ東 山根 (大和田) 智沙子 (43) (平成3144月)
兼坦	准教授	(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  参修英語A I 必修英語A I 必修英語A I 必修英語A I の 参修英語A I の ・	兼坦	准教授	(38) (平成31年4月) 博士(文学) 参修英語A I 必修英語A I 必修英語A I 分間文学A ※ 森山(丹羽) 珍子 (47) (年成31年4月) 修士(経済学) ※ 女子学生のためのキャリア形成入門	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (39) (31年4月) (第主(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  外国文学A ※  森山(丹羽) 珍子 (48) (44) (44) (47) (47) (47) (47) (47) (47	**####################################	准教授准教授	本関 亜沙子 (40) (中級)34年4月) 博士(文学)  必修英語A II 必修英語A II 必修英語A II 水田文学A ※ 森山(丹羽) 治子 (40) (平成31年4月) 修士(経済学)  本子学生のためのキャリア形成 入門 山田重沙配 (37) (本年31年4月) 修士(スポーツ機震科学)  スポーツ表置 山根(大和田) 智沙子 (43)
兼坦		(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)  必修英語A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 必修英語B A I 水田 文学 A ※ 森山 (丹羽) 聆子 (46) 年 (46) 年 (47年 第31年4月)	兼坦		(38) (平成31年4月) 博士(文学)  必修英語A I  心修英語A II  心修英語B C I  外国文学 A ※  森山(丹羽) 珍子 (47) (年成31年4月) 修士(経済学)※  女子学生のためのキャリア形成入門  山根(大和田) 智沙子 (41) (年成31年4月) 博士(経済学)  インターンシップI(国内)	兼坦		本 同 差沙子 (39) (39) (39) (39) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	**####################################	准教授	本関 亜沙子 (40) (中度3144月) 博士(文学)   必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  《特美語A I  《特美語A I  》
兼坦	准教授	(37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)   参修英語A I 必修英語A I 必修英語A I 必修英語A I 分閣文学A ※ 森山(丹羽) 玲子 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※ 女子学生のためのキャリア形成入門	兼坦	准教授	(38) (平成31年4月) 博士(文学)  参修英語品 A I   必修英語品 A I   必修英語品 A I   必修英語品 C I   外国文学 A ※   森山 (丹羽) 玲子  (47) (年成31年4月) 修士(経済学)※   女子学生のためのキャリア形成入門  山根 (大和田) 智沙子  (41) (平成31年4月) 博士(経済学)	兼坦	准教授	本 同 差沙子 (39) (39) (39) (39) (44) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	**####################################	准教授准教授	本関 亜沙子 (40) (中度3144月) 博士(文学)  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  必修英語A I  《特度 I  《49) (49) (49) (49) (44) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47
兼坦	准教授	(37)	兼坦	准教授	(38) 4 (4月) 情主 (文学) 第主 (文学) 2 (学校31年4月) 情主 (文学) 2 (2年2月) 2 (4月) 第五 (4月) 第十 (	兼坦	准教授	本 同 差沙子 (39) (39) (39) (48) (31944月) (69) (7年成31年4月) (69) (48) (48) (48) (49) (48) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49	**####################################	准教授准教授	本間 亜沙子 (成0) 44月 (相2) 44月 (相2) 44月 (相2) 44月 (相2) 44月 (相3) 44月 (相3) 44月 (相3) 44月 (本14)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
							兼坦	助軟	松榮 豊貴 (31) (令和2年4月) 博士(経済学)	兼坦	助軟	松榮 皇貴 (32) (令和2年4月) 博士(経済学)
									インターンシップ I (国内)			インターンシップI(国内)
		John. A. S. Wild (53) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science(7がか)				John. A. S. Wild (54) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science(7メ リカ)			John. A. S. Wild (55) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science (7が力)			John. A. S. Wild (56) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science(7が か)
兼坦	准教授	必修英語 B I 必修		兼坦	准教授	必修等英語 I I 展展 I 基 I 展展 I 基 I 展展 I 展展 I 展展 I 展	兼坦	准教授	必修英第18日 I 必修務英現・発展 I 英語外が表現・発展 I 海外が水英語 I 海外が水英語語 I ビビジネス英語 E	兼坦	准教授	必修英語 B I 必修英語 B I を接換 現 ・
兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (38) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実習		兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (39) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実習	兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (40) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実習	兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (41) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実習
						合田 優子 (30) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※			合田 優子 (31) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			合田 優子 (32) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
				兼坦	騰師	必修英語BI 必修英語BI 資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ	兼坦	講師	必修英語BI 必修英語BI 資格英語II 資格英語IV	兼坦	講師	必修英語 B I 必修英語 B I 資格英語 II 資格英語 IV
		藤田 香織 (39) 〈平成31年4月〉 学士(人文学)				藤田 香織 (40) 〈平成31年4月〉 学士(人文学)			藤田 香織 (41) 〈平成31年4月〉 <b>令和2年度宵休</b> 学士(人文学)			藤田 香織 (42) 〈平成31年4月〉 学士(人文学)
兼坦	講師	必修英語AI必修英語CI		兼坦	講師	必修英語 A I 必修英語 C I	兼坦	講師	必修英語 A I 必修英語 B II 必修英語 C I	兼坦	講師	必修英語 A I 必修英語 B I 必修英語 B I 必修英語 B I 必修英語 C I
							兼坦	禁錮	中川 棒 (32) 〈令和2年4月〉 卷士(文学)	兼坦	(株価)	中川 棒 (33) 〈令和2年4月〉 修士(文学)
							**		必修英語AI 必修英語AI 必修英語BI 必修英語BI	***		必修英語AI 必修英語AI 必修英語BI 必修英語BI
		Forrest, Richard Andrew (54) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※ (7۶リカ)				Forrest, Richard Andrew (55) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※ (アメリカ)			Forrest, Richard Andrew (56) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※ (アメリカ)			Forrest, Richard Andrew (57) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※ (アメリカ)
兼坦	講師	必修英語BI 必修英語BI 英語表現・基礎徹底I 英語表現・基礎徹底I Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment		兼坦	講師	必修英語BI 必修英語BI 英語表現·基礎撤底I 英語表現·基礎徹底I 英 <mark>景表現·標準I Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment</mark>	兼坦	講師	必修英語BI 必修英語BI 必修英語BI 英語表現 - 基礎徹底I 英語表現 - 基礎能 英語表現 - 編章I 英語 <mark>表現 - 編章</mark> I Jasues in Contemporary Japan Japan and the Environment	兼坦	講師	必修英語B I 必修英語B II 基础 基本 I 基础 基本 I 基础 基本 I Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment
兼坦	講師	泰谷 浩士 (46) 〈平成31年4月〉 修士(文学)		兼坦	講師	森谷 浩士 (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)	兼坦	講師	森谷 浩士 (48) 〈平成31年4月〉 修士(文学)	兼坦	講師	森谷 浩士 (49) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
		必修英語 A Ⅱ 必修英語 A Ⅲ				必修英語 A I 必修英語 A II			必修英語AI 必修英語AII			必修英語 A I 必修英語 A II
兼坦	助教	東 幸代 (29) (令和2年4月) 修士(経営学)		兼坦	助教	東 幸代 (30) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)	兼坦	助教	東 幸代 (31) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)	兼坦	助教	東 幸代 (32) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)
		会計学基礎 角 裕太				会計学基礎 角 裕太			会計学基礎 角 裕太			会計学基礎 角 裕太
兼坦	助教	(27) 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 会計学基礎		兼坦	助教	(28) 《令和2年4月》 博士(経営学) 会計学基礎	兼坦	助教	(29) 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 会計学基礎	兼坦	助教	(30) 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 会計学基礎
		Mark J. Tankosich				Mark J. Tankosich		-	Mark J. Tankosich			Mark J. Tankosich
兼坦	PL VL	(59) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)		兼坦	助教	(60) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	兼坦	DL W.	(61) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	兼坦	PL WL	(62) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(7がり)
本坦	助教	必修英語BI 必修英語BI 免展英会話I 発展英会話I Theory and Practice of Budo※		末坦	的敬	必修英語B I 必修英語B II 発展英会話 I 発展英会話 I Theory and Practice of Budo ※	末坦	助教	必修英語BI 必修英語BI 免展英会話I 発展英会話I Theory and Practice of Budo※	兼坦	助教	必修英語B I 必修英語B I 發展英会話 I 発展英会話 I Theory and Practice of Budo ※
兼坦	助教	平下 義記 (32) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 日本の歴史 I		兼坦	准教授	平下 義記 (33) (平成31年4月) 博士(文学) 日本の歴史 I	兼坦	准敬	平下 義記 (34) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 日本の歴史 I	兼坦	准板授	平下 義記 (35) (平成31年4月) 博士(文学) 日本の歴史 I
<u> </u>		藤山 和久				藤山 和久			藤山 和久	-		藤山 和久
兼坦	助教	(35) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※		兼坦	助教	(36) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※	兼坦	准板授	(37) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※	兼坦	准報	(38) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※
		必修英語BI 必修英語BI 外国文学A※				必修英語BI 必修英語BI 外国文学A※			<b>必修英語 A I 必修英語 B I</b> 必修英語 B I 必修英語 B I			必修英語 A I 必修英語 B I 必修英語 B I 外国文学 A ※
兼坦	助教	宮辻 渉 (34) 〈令和2年4月〉 博士(経営学)		兼坦	助教	宮辻 渉 (35) 〈令和2年4月〉 博士(経営学)	兼坦	准敬授	宮辻 渉 (36) 〈令和2年4月〉 博士(経営学)	兼坦	准教授	宮辻 渉 (37) (今和2年4月) 博士(経営学)
		経営管理論基礎				経営管理論基礎			経営管理論基礎			経営管理論基礎
						<del></del>			<del></del>			

東/7 .	_		表行。			東/7.			東/7		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 森 瑞樹 (37) 〈平成31年4月〉			担当授業科目名 森 瑞樹 (38) 〈平成31年4月〉	$\vdash$		担当授業科目名 森 瑞樹 (39) 〈平成31年4月〉			担当授業科目名 森 瑞樹 (40) 〈平成31年4月〉
兼坦	助教	(中ルジョナ・アナット 博士(高語文化学) 英語理解・発展 I 英語理解・発展 I 英語発発語 I 資格英語 I 資格英語 I 資格英語 I	兼坦	准敬	(干)(A)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)(中)	兼坦	准教授	《干版/日本/年》 博士[音語文化学]	兼坦	准教授	・ (中域)(中の学)  参修実際A I  参修実際 C I  英語理解・発展 I  英格理解・発展 I  英格英語 I  資格英語 I  資格英語 I  資格英語 I  著称英語 I  著称英語 I  著称英語 I  著称英語 I  著称英語 I
兼任	講師	青木 利夫 (53) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) スペイン語 I スペイン語 I	兼任	講師	青木 利夫 (54) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) スペイン語I	兼任	講師	青木 利夫 (55) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) スペイン語I スペイン語I	兼任	講師	青木 利夫 (56) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) スペイン語 I スペイン語 I
兼任	講師	安部 貴彦 (57) 《平成31年4月》 李学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう	兼任	講師	安部 貴彦 (58) 〈平成31年4月〉 準学士 禅(ZEN)で元気なこころとから だをつくろう	兼任	講師	安部 貴彦 (59) 〈平成31年4月〉 華学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう	兼任	講師	安部 貴彦 (60) 《平成31年4月》 漢学士 禅(ZEN)で元気なこころとから だをつくろう
兼任	講師	池松 由紀 (42) 〈令和2年4月〉 準学士 キャリアスキルズ I	兼任	講師	池松 由紀 (43) 〈令和2年4月〉 準学士 キャリアスキルズ I						
兼任	講師	大多 正人 (54) 〈令和2年4月〉 文学士 キャリアスキルズ II	兼任	講師	大多 正人 (55) 〈令和2年4月〉 文学士 キャリアスキルズII						
		TY 77 A T I I A			TY 7 / AT / AT /	兼担	教授	松川 佳洋 (80) (今和2年4月) 博士(被宣学) キャリアスキルズ I キャリアスキルズ I	兼担	教授	松川 佳学 (61) (令和2年4月) 博士(経営学) キャリアスキルズエ キャリアスキルズエ
兼任	講師	石田 知美 (43) (令和2年4月) 学士(文学) 資産運用実務 I	兼任	講師	石田 知美 (44) (令和2年4月) 学士(文学) 資産運用実務 I	兼任	講師	キャリアスキルズII 石田 知美 (45) (令和2年4月) 学士(文学) 資産運用実務 I	兼任	講師	石田 知美 (令和2年4月) 学士(文学) 資産運用実務 I
兼任	講師	受産連用実務 I 伊豆田 功 (51) 〈平成31年4月〉 経済学士	兼任	講師	資産連用実務 I 伊豆田 功 (52) 〈平成31年4月〉 経済学士	兼任	講師	資産連用実務 I 伊豆田 功 (53) 〈平成31年4月〉 経済学士	兼任	講師	策産運用実務 I 伊豆田 功 (54) 〈平成31年4月〉 経済学士
		ビジネス・シミュレーション・ ゲーム 岩園 智子 (44) 〈平成31年4月〉			ビジネス・シミュレーショ ン・ゲーム 岩園 智子 (45) 〈平成31年4月〉			ビジネス・シミュレーション・ ゲーム 岩園 智子 (46) 〈平成31年4月〉			ビジネス・シミュレーション・ ゲーム 岩園 智子 (47) 〈平成31年4月〉 修生(文学)
兼任	講師	修士(文学)  必修英語BI 必修英語BI 英語表現・基礎徽底I 英語表現・基礎徽底I	兼任	講師	修士(文学) 必修英語BI 必修英語BI 英語表現·基礎徵底I 英語表現·基礎徵底I	兼任	講師	修士(文学)  必修英語BI 必修英語BI 必修英語BI 素語表現・基礎徹底I 英語表現・基礎徹底I	兼任	講師	かよいスナ/ 必修英語BI 必修英語BI 英語表現・基礎徹底I 英語表現・基礎徹底I 英語機能をI 英語機能をI 英語機能をI
兼任	講師	David Williams (44) (平成31年4月) Bachelor of Arts, Bachelor of Science(約分)  必修英語 B I	兼任	講師	David Williams (45) 《平成31年4月〉 Bachelor of Arts, Bachelor of Science(計) 必修英語日 I 必修英語日 I 基礎英金館 I	兼任	講師	David Williams (46) 《平成31年4月〉 Bachelor of Arts, Bachelor of Science(カナケ) 必修英語B I 本職其会話 I 本職其会話 I			
兼任	講師	岡田 高惠 (40) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 世界の憲法	兼任	講師	図田 高嘉 (41) (平成31年4月〉 博士(経済学)  世界の憲法	兼任	講師	岡田 高嘉 (42) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 世界の憲法	兼任	講師	岡田 高嘉 (43) (平成31年4月) 博士(経済学) 世界の憲法
			兼任	誘師	教際 覚 (53) 〈平成31年4月〉 修士(衛書学) International Economics						
						兼任	計師	Bisset Ian James (48) 〈命和2年4月〉 博士(アジア太平洋学) International Economics	兼任	計師	Bisset Ian James (49) 〈令和2年4月〉 博士(アジア太平洋学) International Economics
兼任	講師	機川 正(64) (令和3年4月) 商学修士 情報科教育法 Ⅱ	兼任	講師	機川 正 (65) (令和3年4月) 商学修士 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ	兼任	講師	梶川 正 (66) (令和2年4月〉 商学修士 情報科教育法 I 情報科教育法 I	兼任	講師	据川 正 (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67) (67)
		情報と職業 情報社会と情報倫理 柏木 士郎 (46)			情報と観業 情報と観業 情報社会と情報倫理 柏木 士郎 〈平成31年4月〉			情報公職業 情報社会と情報倫理 中 <b>級準記波</b> 響			情報と職業 情報社会と情報倫理 中級等配演習
兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(軽済学)※ 社会人基礎学力基礎 金原 光広	兼任	講師	《平成31年4月》 修士(経済学)※ 社会人基礎学力基礎 金原 光広			金原 光広			金原 光広
兼任	講師	金原 元仏 (55) 〈平成31年4月〉 社会科学士 ビジネス・シミュレーション・ ゲーム	兼任	講師	を原 九仏 (56) 〈平成31年4月〉 社会科学士 ビジネス・シミュレーショ ン・ゲーム	兼任	講師	並原 元仏 (57) 〈平成31年4月〉 社会科学士 ビジネス・シミュレーション・ ゲーム	兼任	講師	世界 元仏 (58) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (78) (7
L	·	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>			L	Ь		<u>I</u>

W.F.			W.F.			W 17			W/7		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		家村(宮岸) 伸子 (49)			家村(宮岸) 伸子 (50)			家村(宮岸) 伸子 (51)			家村(宮岸) 伸子 (52)
		〈平成31年4月〉 博士(教育学)			〈平成31年4月〉 博士(教育学)			〈平成31年4月〉 博士(教育学)			〈平成31年4月〉 博士(教育学)
兼任	講師	日本語文章表現	兼任	講師	日本語文章表現	兼任	講師	日本語文章表現	兼任	講師	日本語文章表現
		日本語(基礎 D)			日本語(基礎 C) 日本語(基礎 D)			日本語(基礎 C) 日本語(基礎 D)			日本語(基礎 C) 日本語(基礎 D)
		日本語 (発展 A ) ビジネス日本語 A			日本語(発展 A) ビジネス日本語 A			日本語 (発展 A ) ビジネス日本語 A			日本語(発展 A) ビジネス日本語 A
		河口 忠史 (56)			河口 忠史 (57)			河口 忠史 (58)			河口 忠史 (59)
		〈平成31年4月〉 工学士			〈平成31年4月〉 工学士			〈平成31年4月〉 工学士			〈平成31年4月〉 工学士
兼任	講師	不動産実務法務I	兼任	講師	不動産実務法務 I	兼任	講師	不動産実務法務 I	兼任	講師	不動産実務法務I
		不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ			不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ			不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ			不動産実務法務Ⅱ 不動産実務法務Ⅲ
		河野 弥生			河野 弥生			河野 弥生			河野 弥生
		(52) 〈平成31年4月〉			(53) 〈平成31年4月〉			(54) 〈平成31年4月〉			(55) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	修士(学術)※	兼任	講師	修士(学術)※	兼任	講師	修士(学術)※	兼任	講師	修士(学術)※
		日本の政治			日本の政治			日本の政治			日本の政治
		記谷 伸彦 (43) 〈令和2年4月〉			記谷 伸彦 (44) 〈令和2年4月〉			記谷 伸彦 (45) 〈令和2年4月〉			記谷 伸彦 (46) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	学士(工学)	兼任	講師	学士(工学)	兼任	講師	学士(工学)	兼任	講師	学士(工学)
		画像処理演習 マルチメディア演習			画像処理演習 マルチメディア演習			画像処理演習 マルチメディア演習			画像処理演習 マルチメディア演習
		金 炫勇			金 炫勇	-					
		(44) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)			(45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)						
兼任	講師	韓国語I	兼任	講師	韓国語Ⅰ						
		韓国語Ⅱ			韓国語Ⅱ						
								李 正衡 (53)			李 正僧 (54) 〈令和2年4月〉
						兼任	講師	〈令和2年4月〉 教育学博士	兼任	講師	《市和2年4月》 教育学博士
								韓国語 I 韓国語 I			韓国語 I 韓国語 I
		木村 亮平			木村 亮平	-		木村 亮平			木村 亮平
		(38) 〈平成31年4月〉			(39) 〈平成31年4月〉			(40) 〈平成31年4月〉			(41) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	学士(経済学)	兼任	講師	学士(経済学)	兼任	講師	学士(経済学)	兼任	講師	学士(経済学)
		プロスポーツによる広島活性化講 座			プロスポーツによる広島活性 化講座			プロスポーツによる広島活性化講 座			プロスポーツによる広島活性化 講座
		久保田 浩二 (61)			久保田 浩二 (62)			久保田 浩二 (63)			久保田 浩二 (64)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士
		ビジネス・シミュレーション・ ゲーム			ビジネス・シミュレーショ			ビジネス・シミュレーション・			ビジネス・シミュレーション・
		,			ン・ゲーム	_		ゲーム			ゲーム
		熊尾 紗耶 (27) <平成31年4月>									
兼任	講師	修士(文学)									
		日本語文章表現			## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	-			-		
					板水 貴司 (29) 〈平成31年4月〉						
			兼任	講師	博士 (学術)						
					日本語文章表現						
								阿部 翔太 (25) <令和2年4月>			阿部 翔太 (26) 〈令和2年4月〉
						兼任	講師	学士(文学)	兼任	講師	学士(文学)
								日本語文章表現			日本語文章表現
		倉橋 孝博 (47) 〈平成31年4月〉			倉橋 孝博 (48) <平成31年4月>			倉橋 孝博 (49) 〈平成31年4月〉			倉橋 孝博 (50) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	学士(教育学)	兼任	講師	学士(教育学)	兼任	講師	学士(教育学)	兼任	講師	学士(教育学)
		ライフプラン(人生設計)でやる気 づくり			ライフプラン(人生設計)でや る気づくり			ライフプラン(人生設計)でやる気 づくり			ライフプラン(人生設計) でやる 気づくり
H		坂本 小百合			坂本 小百合	$\vdash$		坂本、小百合			坂本 小百合
		(50) 〈平成31年4月〉 教育学士			(51) 〈平成31年4月〉 教育学士			(52) 〈平成31年4月〉 教育学士			(53) 〈平成31年4月〉 教育学士
兼任	講師	情報λ門演習Δ	兼任	講師	傳報入門演習△	兼任	講師	情報入門演習Δ	兼任	講師	情報λ門瀋翌Δ
		情報入門演習B 情報活用演習A			情報入門演習B 情報活用演習A			情報入門演習B 情報活用演習B			情報入門演習B 情報并用演習A
		情報活用演習 B 坂本 聖子			情報活用演習B 坂本 聖子	-		情報活用演習 B 坂本 聖子			情報活用演習B 坂本 聖子
		(58) 〈平成31年4月〉			(59) 〈平成31年4月〉			(60) 〈平成31年4月〉			(61) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	修士(文学)※	兼任	講師	修士(文学)※	兼任	講師	修士(文学)※	兼任	講師	修士(文学)※
L		必修英語BI 必修英語BⅡ		L	必修英語BI 必修英語BⅢ	L	L	必修英語BI 必修英語BⅡ		L	必修英語BI 必修英語BI
		坂本 はるえ (44)			坂本 はるえ (45)			坂本 はるえ (46)			坂本 はるえ (47)
	SP ^-	〈平成31年4月〉 修士(文学)	** ~		〈平成31年4月〉 修士(文学)	***		〈平成31年4月〉 修士(文学)	** **		〈平成31年4月〉 修士(文学)
兼任	講師	日本語B※	兼任	講師	日本語B※	兼任	講師	日本語 8※	兼任	講師	日本語B※
		日本語(発展 C) ビジネス日本語 B			日本語(発展 C) ビジネス日本語 B			日本語(発展 C) ビジネス日本語 B			日本語 (発展 C) ビジネス日本語 B
		佐藤 達男 (54)			佐藤 達男 (55)			佐藤 達男 (56)			佐藤 達男 (57)
兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(学術)
eur lab		プロジェクトマネジメント	and lake		プロジェクトマネジメント	eur lab		プロジェクトマネジメント	and lab	200	プロジェクトマネジメント
		リスクマネジメント	<u> </u>		リスクマネジメント			リスクマネジメント			リスクマネジメント

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	<u> </u>		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 道雄 (54) 《平成31年4月》 文学修士	兼任	講師	佐藤 道雄 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士 日本語 A ※	兼任	講師	佐藤 道雄 (56) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	佐藤 道雄 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士 日本語 A ※
		日本語 B ※			日本語B※			日本語B※			日本語B※
兼任	講師	志賀 誠治 (62) 〈平成31年4月〉 教育学士	兼任	講師	志賀 誠治 (63) 〈平成31年4月〉 教育学士	兼任	講師	志賀 誠治 (64) (平成31年4月) 教育学士	兼任	講師	志賀 誠治 (65) 〈平成31年4月〉 教育学士
		興動館プロジェクトとコミュニ ケーション			興動館プロジェクトとコミュ ニケーション			興動館プロジェクトとコミュニ ケーション			興動館プロジェクトとコミュニ ケーション
兼任	講師	周 躩 (28) 〈平成31年4月〉 修士(文学)									
		資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ									
兼任	講師	先坊 幸子 (43) 〈平成31年4月〉 博士(文学)									
		文章表現演習・標準			Frank Inornton						Frank Inornton
兼任	講師	Frank Thornton (57) (平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science (7メリカ)	兼任	講師	(58) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science (7メリカ)	兼任	講師	Frank Thornton (59) (平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science (7月1九)	兼任	講師	(60) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science (アメリカ)
		スポーツで学ぶ共生力			スポーツで学ぶ共生力			スポーツで学ぶ共生カ			スポーツで学ぶ共生力
兼任	講師	園田 真由 (39) 〈令和2年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	園田 真由 (40) (令和2年4月) 学士(文学)						
		情報活用演習 C			情報活用演習C						
								上垣 このみ (35) 〈令和2年9月〉			上垣 このみ (36) 〈令和2年9月〉
						兼任	講師	マカル2年9月/ 学士(商学)	兼任	講師	学士(商学)
								情報活用演習 C			情報活用演習C
兼任	講師	竹本 伸 (63) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	竹本 伸 (64) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	竹本 伸 (65) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	竹本 伸 (66) 〈平成31年4月〉 文学士
		日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I			日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I			日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I			日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I
兼任	講師	竹本 真希子 (46) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol. (Doctor rerum politicarum) (ドイツ)	兼任	講師	竹本 真希子 (47) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol. (Doctor rerum politicarum) (ドイツ)	兼任	講師	竹本 真希子 (48) 〈平成31年4月〉 <b>(令和2年度在外研究)</b> Dr. rer. pol. (Doctor rerum politicarum) (ドイカ)	兼任	講師	竹本 真希子 (49) 〈平成31年月〉 <b>(令和3年度在外研究)</b> Dr. rer. pol. (Dotor rerum politicarum) (ドイツ)
		世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ
						兼任	鉄師	憲章 洋平 (34) 〈令和2年4月〉 博士 (学術)			
								世界の思想と現代社会Ⅱ			
									兼任	跳師	河合 信晴 (45) (令和3年4月> Dr. Phil. (Zeitgeschichte) (ドイケ)
											世界の思想と現代社会Ⅱ
兼任	講師	田中 健 (53) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (54) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (55) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (56) (平成31年4月) 博士(文学)
Ш		生命倫理			生命倫理			生命倫理			生命倫理
兼任	講師	棚橋 久美子 (60) (平成31年4月) 文学修士※ 日本の歴史Ⅲ	兼任	講師	棚橋 久美子 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	棚橋 久美子 (62) 〈平成31年4月〉 文学修士※ 日本の歴史Ⅲ	兼任	講師	棚橋 久美子 (63) 〈平成31年4月〉 文学修士※ 日本の歴史Ⅲ
Н		ロ本の庭文里	-		ロ本の庭文単	-		勝部 萬人			日本の歴史世
						兼任	計師	(67) 《令和2年9月》 博士(文學)			
$\vdash$		土山、ゆかり	-		土山 ゆかり	-		土山 ゆかり			土山」ゆかり
兼任	講師	(51) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	(52) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	(53) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	(54) 〈令和2年4月〉 経済学士
		IT戦略とマネージメント 情報化技術			IT戦略とマネージメント 情報化技術			1 T戦略とマネージメント 情報化技術 情報入門滅曹 S			I T戦略とマネージメント 情報化技術 情報人門演習 S
兼任	講師	常山 慶三 (53) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (54) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (55) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (56) 〈令和2年4月〉 経済学士
		資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ			資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ			資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ			資産運用実務 I 資産運用実務 I

職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	11		担当授業科目名			担当授業科目名
	土居 智典 (45)			土居 智典 (46)			土居 智典 (47)			土居 智典 (48)
講師	〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(文学)
	世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ
	豊島 桂子 (62)			豊島 桂子	1 -		豊島 桂子			
接施	〈令和2年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	- 本仁	*** 6市	〈令和2年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	*4	*** 6市	〈令和2年4月〉 Master of Arts(7リカ)			
27.00	英語理解・基礎徹底Ⅰ	AK ILL	man.	英語理解·基礎徹底 I	, and	man.	英語理解·基礎徹底I			
					<b>!</b>					## <del>**</del>
	(59)			(60)			(61)			仲村 正彦 (62) 〈平成31年4月〉
講師	農学士	兼任	講師	農学士	兼任	講師	農学士	兼任	講師	農学士
										森の社会貢献実践
	(42)			(43)			(44)			
講師	博士(文学)	兼任	講師	博士(文学)	兼任	講師	博士(文学)			
	日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準			
	中山(佐藤) 真美			中山(佐藤) 真美	1 🖯					
接餌	〈令和3年4月〉 学士(文学)	<b>*</b> 4	****	〈令和3年4月〉 学士(文学)						
urt DÜ	教職教養	ak III	나는 다니	教職教養						
	心ガリ研究			心号刀刑死			spin in the			沖田 悟傳
							(61) 〈令和3年4月〉			(62) 〈令和3年4月〉
					兼任	納師	教育学士	兼任		教育学士
							思考力開発※			思考力開発※
										西井 美雅 (58) 〈令和3年9月〉 博士 (学術)
								兼任	講師	
										英語表現・標準 I 英語表現・標準 I
										西浦 寛子 (43)
								兼任	計師	〈令和3年4月〉 修士(文学)
										英語理解・標準 I 英語理解・標準 I
	西本 純子	-		西本 純子	-		西本 純子			西本 純子
	(58) 〈令和2年4月〉			(59) 〈令和2年4月〉			(60) 〈令和2年4月〉			(61) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
講師	196年(文字)次 Master of Arts (存 リス)	兼任	講師	Master of Arts(作リス)	兼任	講師	Master of Arts(イギリス)	兼任	講師	Master of Arts(イギリス)
	英語理解·基礎徹底 I 英語理解·基礎徹底 I			英語理解・基礎徹底 I 英語理解・基礎徹底 II			英語理解·基礎徹底 I 英語理解·基礎徹底 I			英語理解・基礎徹底I 英語理解・基礎徹底I 英語理解・標準 I
	英語理解・標準Ⅱ			英語理解・標準Ⅱ			英語理解・標準Ⅱ			英語埋解・標準Ⅱ
	西森 章子 (46) (会和2年4日)			(47)			西森 章子 (48) (会和2年4日)			西森 章子 (49) 〈令和2年4月〉
講師	修士(人間科学)	兼任	講師	修士(人間科学)	兼任	講師	修士(人間科学)	兼任	講師	修士(人間科学)
	教育方法学			教育方法学(教育課程論を含む)			教育方法学 ( <b>教育課程論を含む)</b>			教育方法学 (教育課程論を含む)
	野本 敏生 (54)			野本 敏生 (55)			野本 敏生 (56)			野本 敏生 (57) 〈平成31年4月〉
講師	〈平成31年4月〉 修士(法学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(法学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(法学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(法学)※
	環境法			環境法			環境法			環境法
							標本 朝子 (62)			橋本 朝子 (63)
						90 der	〈令和2年4月〉 博士(文学)	**		〈令和2年4月〉 博士(文学)
					***		黄格英語 I	жu	-	英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 基礎徹底 I 資格英語 I 資格英語 I
					Į L					支格英語 I 資格英語 I
	橋本 弘 (36) 〈平成31年4日〉			橋本 弘 (37) 〈平成31年4日〉			橋本 弘 (38) 〈平成31年4日〉			橋本 弘 (39) 〈平成31年4月〉
講師	学士(商学)	兼任	講師	学士(商学)	兼任	講師	学士(商学)	兼任	講師	学士(商学)
	簿記論Ⅱ			簿記論Ⅱ			簿記論 Ⅱ 財務諸表論 Ⅰ			簿記論 I 簿記論 II 財務諸表論 I
	財務諸表論Ⅱ			財務諸表論Ⅱ	<b>∤                                    </b>		財務諸表論Ⅱ			財務諸表論Ⅱ
	(50) 〈令和2年4月〉			(51) 〈令和2年4月〉						
講師	文学士	兼任	講師	文学士						
_	資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ	L		資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ	IJĹ			L		
	原田 浩幸 (57)			原田 浩幸 (58)			原田 浩幸 (59)			原田 浩幸 (60)
講師	〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(学術)
	自然科学C			自然科学C			自然科学C			自然科学C
					1 🗀		藤山 益美 (41)			藤山 益美 (42)
					兼任	跳師	〈令和2年4月〉 博士(文学)	兼任	跳師	〈令和2年4月〉 博士(文学)
			1	i —	1 1	1		1	i	ı — —
	清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清 清	職名	# 任 名	株 名	## 1		## (1 年 8)	報告	변경 (보고 등) 기	변경

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 古田 ユミ (46)			担当授業科目名 古田 ユミ (47)			担当授業科目名 古田 ユミ (48)			担当授業科目名 古田 ユミ (49)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(文学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(文学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(文学)※	兼任	講師	〈平成31年4月〉 修士(文学)※
		資格英語 I 資格英語 Ⅱ			資格英語 I 資格英語 II			資格英語 I 資格英語 Ⅱ			資格英語 I 資格英語 I
		古本 勝則 (63) 〈平成31年4月〉 文学修士			古本 勝則 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士						
兼任	講師	必修英語 A I 必修英語 A II	兼任	講師	必修英語 A I 必修英語 A II						
		Matthew Thomas Vaughan (39) 〈平成31年4月〉 Bachelor of International			Matthew Thomas Vaughan (40) 〈平成31年4月〉 Bachelor of International						
兼任	講師	Studies (オーストラリア)  必修英語BI 必修英語BI 英語表現・標準I	兼任	講師	Studies (オーストラリア)         必修英語B I         必修英語B II         英語表現・標準 I						
		英語表現・標準Ⅱ 			英語表現・標準Ⅱ						
								Szuba Jamie (42) 〈令和2年4月〉 Master of Arts (4ギリス)			Szuba Jamie (43) 〈令和2年4月〉 Master of Arts (イギリス)
						兼任	講師	必修英語BI 必修英語BI 英語改義・標準I 英語改義・標準I	兼任	教師	必修英語BI 必修英語BI 英語表現·基礎徹底I 英語表現·基礎徹底I 英語表現·標準I 英語表現·標準I 基础美金話I 基础美金話I
兼任	講師	細川 志織 (43) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)	兼任	講師	細川 志織 (44) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)	兼任	講師	網川 志機 (45) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)	兼任	講師	細川 志織 (46) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)
X.I	200	興動館プロジェクトと企画力	XI.	DES SUP	興動館プロジェクトと企画カ	JK II	DES DIV	興動館プロジェクトと企画カ	JK II	ars are	興動館プロジェクトと企画カ
兼任	講師	堀江 清二 (45) 〈平成31年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (46) 〈平成31年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (47) 〈平成31年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (48) 〈平成31年4月〉 学士(文学)
		みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう
		堀田 哲一郎 (59) 〈令和2年4月〉 休十祭本巻〉※	4.1		堀田 哲一郎 (60) 〈令和2年4月〉			堀田 哲一郎 (61) 〈令和2年4月〉			
兼任	講師	修士(教育学)※ 特別支援教育概論	兼任	講師	修士(教育学)※ 特別支援教育概論	兼任	講師	修士(教育学)※ 特別支援教育概論			
											秦信吉 (66) 〈令和3年4月〉
									兼任	鉄師	修士 (教育学) 特別支援教育振論
		松浦 久幸 (48)			松浦 久幸 (49)			松浦 久幸 (50)			松浦 久幸 (51)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 学士(経済学)	兼任	講師	《平成31年4月》 学士(経済学) 戦略MG(マネジメントゲー	兼任	講師	〈平成31年4月〉 学士(経済学)	兼任	講師	〈平成31年4月〉 学士(経済学)
-		戦略MG(マネジメントゲーム) 三木 島彦			三木 島彦			戦略MG(マネジメントゲーム) 三木 島彦	-		戦略MG(マネジメントゲーム) 三木 島彦
兼任	講師	(59) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	(60) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	(61) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	(62) 〈平成31年4月〉 文学修士
		フランス語 I フランス語 II			フランス語 I フランス語 II			フランス語 I フランス語 II			フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	宮本 英征 (45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)									
JAK III	0400	世界の歴史 I 世界の歴史 I									
		矢野 宗宏 (61) 〈平成31年4月〉			矢野 宗宏 (62) 〈平成31年4月〉			矢野 宗宏 (63) 〈平成31年4月〉			矢野 宗宏 (64) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	「笑い」のパワー・生きるカ	兼任	講師	法学士 「笑い」のパワー・生きるカ	兼任	講師	「笑い」のパワー・生きるカ	兼任	講師	法学士 「笑い」のパワー・生きるカ
		山崎 初枝 (63) 〈平成31年4月〉			山崎 初枝 (64) 〈平成31年4月〉						
兼任	講師	修士(人間文化学) 健康科学	兼任	講師	修士(人間文化学) 健康科学						
								野瀬 由佳 (40)			野瀬 由佳 (41)
						兼任	論師	《令和2年4月》 博士(健康科学)	兼任	調師	《令和2年4月》 博士(健康科学)
		山田 浩之 (54)			山田 浩之 (55)			<b>健康科学</b> 山田 浩之 (56)	$\parallel$		健康科学 山田 浩之 (57)
兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(教育学)	兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(教育学)	兼任	講師	(56) 〈令和3年4月〉 博士(教育学)	兼任	講師	〈令和3年4月〉 博士(教育学)
		特別活動・総合的な学習の時間の 指導法			特別活動・総合的な学習の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の 指導法			特別活動・総合的な学習の時間の指導法
		山中 康子 (54) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			山中 康子 (55) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			山中 康子 (56) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			山中 康子 (57) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
兼任	講師	日本語 A ※ 日本語 (基礎 A ) 日本語 (基礎 E ) 日本語 (発展 B ) ビジネス日本語 C	兼任	講師	日本語 A ※ 日本語 (基礎 A) 日本語 (基礎 E) 日本語 (発展 B) ビジネス日本語 C	兼任	講師	日本語 A ※ 日本語 (基礎 A ) 日本語 (基礎 E ) 日本語 (発展 B ) ビジネス日本語 C	兼任	講師	日本語 A ※ 日本語 (基礎 A ) 日本語 (基礎 E ) 日本語 (発展 B ) ビジネス日本語 C

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  (就任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名
兼任	講師	Yoshioka Connie (42) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(TESOL) (41 リス) 英語表現・標準 I 英語表現・標準 I 基礎英金話 I 基礎英金話 I 基礎英金話 I					· -							
兼任	講師	吉村 千里 (42) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語BI 必修英語BI		兼任	講師	吉村 千里 (43) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語B I 必修英語B I		兼任	講師	吉村 千里 (44) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※  必修英語BI 必修英語BI		兼任	講師	吉村 千里 (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語BI 必修英語BI
兼任	講師	羅 穎 (52) (52) 〈平成31年4月〉 修士(学術) 中国語 I 中国語 I		兼任	講師	羅 類 (53) (下成31年4月) 修士(学術) 中国語 I 中国語 I		兼任		羅 鎖 (54) 〈平成31年4月〉 修士 (学術) 中国語 I		兼任	講師	羅 顕 (55) (75) (70,31年4月) 修士(学術) 中国語 I 中国語 I

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼出教員を含む。)を黒字で記入してください。
  その上で、**認可能又は風田地舎か。変更となっている箇所は太子の表生としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の演年動**を記入してください。
  ・ 再任、専門職大学等は零、実等、実、例)、実会)、来担、発化の順に記入してください。
  ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

#### 【令和元年度】

- ・ クラスの再編を理由として、高岡義幸教授(専)の担当科目から「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除 ・ クラスの再編を理由として、山村 耕一郎教授(専)の担当科目から「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除 ・ 教育内容充実を理由として、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」のクラスを再編し、岡本恵子教授(兼坦)の担当科目に追加 ・ 三山緑准教授(兼坦)の就任辞退にともない、「教職入門」科目の担当者再編のため、田中泉教授(兼坦)の担当科目から削除 ・ 三山緑准教授(兼坦)の就任辞退にともない、「教職入門」科目担当を胤森裕暢教授(兼坦)に変更 ・ 教育内容充実のため、寺本 康俊教授(兼坦)を採用

- ・ 永田靖教授 (兼坦) 就任辞退 ・ 永田靖教授 (兼坦) の就任辞退により、「インターンシップ I (国内)」科目担当を林和夫教授 (兼坦) に変更 ・ 永田靖教授 (兼坦) の就任辞退により、「経営実践」科目担当を藤原久嗣准教授 (兼坦) に変更
- 広田堅志教授(兼坦)令和元年度海外留学
- 品田玉心教授(兼坦)の海外留学により、「ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう」科目担当を栗原理講師(兼任)に変更(令和元年のみ) ・山内昌斗教授(兼坦)の就任辞退により、「かが人生の転機Ⅱ(同窓生編)」科目担当を餅川正雄教授(兼坦)に変更
- 山内昌斗教授(兼坦)就任辞退
- · 山本公平教授 (兼坦) 就任辞退
- 出本公平教授(兼担)の就任辞退により、「「笑い」のパワー・生きる力」科目担当を山本公平講師(兼任)に変更・平成31年4月木本 一成 (兼担)の職位を准教授から教授に昇格
- 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、重野(白田)裕美准教授(兼坦)の担当科目に「日本語文章表現」を追加

- 三山緑准教授(兼坦) 就任辞退
   三山緑准教授(兼坦) の就任辞退により、「教育制度論」科目担当を岡本徽講師(兼任)に変更
   三山緑准教授(兼坦) の就任辞退により、「教育原理」科目担当を宮崎康子講師(兼任)に変更
- ・兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、後任として合田優子講師(兼坦)を採用。 ・兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、Forrest、Richard Andrew講師(兼坦)の担当科目に「英語表現・標準 I・II」を追加 ・平成31年4月平下義記(兼坦)の職位を助教から准教授に昇格

- ・ 平成31年4月森瑞樹(兼坦)の職位を助教から准教授に昇格 ・ 兼任講師就任辞退によるクラス再編にともない、David Williams講師(兼任)の担当科目に「基礎英会話 I・II」を追加
- 教育内容充実のため、荻野覚講師(兼任)を採用 熊尾紗耶講師(兼任)就任辞退
- 熊尾 紗耶講師 (兼任) の就任辞退により、後任として坂水貴司講師 (兼任) を採用。 周躍講師 (兼任) 就任辞退

- 先坊幸子講師 (兼任) 就任辞退 宮本英征講師 (兼任) 就任辞退
- oshioka Connie講師 (兼任) 就任辞退

#### 【令和2年度】

- 令和2年3月、高岡義幸教授(専任)定年により退職
- 溝下博教授(専任)就任にともない、堀江浩司教授(兼担)の経営学部経営学科からメディアビジネス学部ビジネス情報学科への転科取消
- 令和2年4月、高岡義幸教授(専任)の後任として溝下博教授(専任)就任
- インターンシップ I (国内) 科目担当を、堀江浩司教授(専任)から堀江浩司教授(兼担)に変更
- 令和2年3月、山村耕一郎教授(専任) 定年により退職
- 田浦元教授(専任)就任にともない、得津康義教授(兼担)の経済学部経済学科からメディアビジネス学部ビジネス情報学科への転科取消
- 令和2年4月、山村耕一郎教授(専任)の後任として田浦元教授(専任)就任
- 溝下博教授(専任)の就任にともない、関隆教助教(専任)の担当科目から「ビジネスと戦略」を削除 クラス再編にともない、岡本恵子教授(兼坦)の担当科目に「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を追加
- 中山(佐藤)真由美講師 (兼任) 就任辞退により、神田義浩教授 (兼担) の担当科目に「思考力開発※」を追加 中山(佐藤)真由美講師 (兼任) 就任辞退により、田中泉教授 (兼担) の担当科目に「思考力開発※」を追加
- 前馬優策准教授(兼坦)の就任にともない、「教職入門」科目担当を分担に変更
- 中山(佐藤)真由美講師(兼任)就任辞退により、胤森裕暢教授(兼担)の担当科目に「思考力開発※」を追加
- 「インターンシップ I(国内)」科目担当を林和夫教授(兼坦)から藤口光紀教授(兼担)に変更
- 柏木士郎講師(兼任)の退職により、平岡賢治教授(兼担)の担当科目に「社会人基礎学力基礎」を追加
- 令和2年3月、栗原理講師 (兼任) 代行終了のため退職 令和2年4月、宮田庄悟教授(兼担)就任
- 中山(佐藤)真由美講師 (兼任) 就任辞退により、餅川正雄教授 (兼担) の担当科目に「思考力開発※」を追加 令和2年3月、森田裕司教授(兼担)退職 令和2年4月、森田裕司教授(兼担)の後任として、上手幸治准教授(兼担)が就任

- 令和2年3月、重野(白田)裕美准教授(兼担)退職
- 令和2年4月、重野(白田)裕美准教授(兼担)の後任として、坂水貴司助教(兼担)が就任
- 令和2年4月、重野(白田)裕美准教授(兼担)の後任として、重野(白田)裕美講師(兼任)が就任
- 宮崎康子講師 (兼任) 退職
- 令和2年4月、令和元年3月退職の三山緑准教授(兼担)の後任として、前馬優策准教授(兼担)が就任 松榮豊貴助教(兼担)の就任にともない、山根(大和田)智沙子准教授(兼担)の担当科目から「インターンシップI(国内)」を削除
- クラス再編にともない、山根(大和田)智沙子准教授(兼担)の担当科目に「マクロ経済学基礎 I」を追加
- 令和2年4月、松榮豊貴助教 (兼担) 就任
- 藤田香織講師(兼担)、令和2年度育児休暇取得。当該年次の担当科目は同科目担当教員(兼担)が代行
- クラス再編にともない、藤田香織講師(兼担)の担当科目に「必修英語BⅡ」を追加
- 令和2年4月、中川梓講師(兼任)就任
- 令和2年4月藤山和久 (兼坦) の職位を助教から准教授に昇格
- クラス再編にともない、藤山和久准教諭 (兼担) の担当科目に「必修英語 A I · II」を追加
- クラス再編にともない、森瑞樹准教授(兼担)の担当科目に「必修英語 A I・II」「必修英語 C I 」を追加
- 令和2年4月宮辻渉 (兼坦) の職位を助教から准教授に昇格
- 池松由紀講師(兼任)就任辞退
- 大多正人講師 (兼任) 就任辞退
- 池松由紀講師 (兼任) 、大多正人講師 (兼任) の就任辞退により、「キャリアスキルズI・Ⅱ」の科目担当を松川佳洋教授 (兼担) に変更
- 荻野覚講師(兼任)退職 荻野覚講師(兼任)の後任として、Bisset Ian James講師(兼任)を採用
- 教育内容充実のため、梶川正講師(兼任)の担当科目に「中級簿記演習」を追加し、就任年月日を令和2年4月に変更 柏木士郎講師(兼任)退職
- 金炫勇講師 (兼任) 退職
- 金炫勇講師(兼任)の後任として、李正樹講師(兼任)を採用
- 坂水貴司講師 (兼任) 退職
- 坂水貴司講師 (兼任) の退職により、後任として阿部翔太講師 (兼任) を採用
- 付本真希子講師 (兼任) 令和2年度本務校在外研究。当該年次の担当科目については、斎藤祥平講師 (兼任) が代行 竹本真希子講師 (兼任) の在外研究により、「世界の思想と現代社会Ⅱ」科目代行として、斎藤祥平講師 (兼任) を採用 (令和2年度のみ)
- 教育内容充実のため、土山ゆかり講師 (兼任) の担当科目に「情報入門演習S」を追加中山(佐藤)真美講師 (兼任) 就任辞退
- 中山(佐藤)真美講師(兼任)の後任として、沖田悟傳講師(兼任)を採用
- クラス再編により、橋本朝子講師 (兼任) を採用
- クラス再編により、藤山益美講師(兼任)を採用
- 波多間純子講師(兼任)就任辞退
- 古本勝則講師 (兼任) 退職
- Matthew Thomas Vaughan講師 (兼任) 退職
- Matthew Thomas Vaughan講師 (兼任) の後任として、Szuba Jamie講師 (兼任) を採用

- 山崎初枝護師(兼任)退職
- 山崎初枝講師(兼任)の後任として、野瀬由佳講師(兼任)を採用
- 園田 真由講師 (兼任) 前期で退職
- 園田 真由講師 (兼任) 前期退職により、上垣このみ講師 (兼任) を採用
- 棚橋久美子講師 (兼任) の事情により、「日本の歴史Ⅲ」科目代行として勝部眞人講師 (兼任) を採用(令和2年度のみ)

#### 【令和3年度】

- ・ 合田優子講師 (兼担) 令和2年3月に博士の学位を取得していたため、修士から博士に修正 ・ 担当科目の見直しにより、溝下博教授(専任)の担当科目に、「ビジネス情報入門ゼミ」「デジタルビジネス論」「IT応用事例研究」を追加 ・ 担当科目の見直しにより、田中章司郎教授(専任)の担当科目から、「演習Ⅱ」を削除
- 担当科目の見直しにより、田浦元教授(専任)の担当科目に、「ビジネス情報入門ゼミ」「データサイエンスとビジネス」を追加
- 担当科目の見直しにより、石野亜耶准教授(専任)の担当科目から、「情報入門演習S」を削除
- 担当科目の見直しにより、杉山克典准教授(専任)の担当科目から、「情報入門演習S」を削除
- 担当科目の見直しにより、久保大支助教(専任)の担当科目から、「IT応用事例研究」を削除
- 令和3年4月、関降教(専任)の職位を助教から准教授に昇格
- クラス再編にともない、岡本 恵子教授 (兼坦) の担当科目に「文章表現演習・標準」を追加し、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を削除
- 令和3年3月、岡本貞雄教授(兼担)退職
- 令和3年4月、岡本貞雄教授(兼担)の後任として、渡辺郁夫教授(兼担)が就任
- 岡本貞雄教授(兼担)の後任として、岡本貞雄講師(兼任)を採用
- 令和3年3月、小谷幸生教授(兼担)退職
- 小谷幸生教授(専任) の後任として、一橋信之教授(兼担)が「わが人生の転機 I (教職員編)」を担当
- 青谷章弘准教授(兼担)の就任にともない、高石哲弥教授(兼担)の担当科目から「数学A·B·C」「社会人基礎学力応用」を削除
- 胡怡助教(兼担)就任にともない、糠谷英輝教授(兼担)の担当科目から、「資本市場の役割と証券投資」を削除
- 令和3年4月、胡怡助教 (兼担) 就任
- 担当科目の見直しにより、長谷川泰志教授(兼担)の担当科目から、「ビジネス日本語演習」「企画力養成講座」を削除
- 令和3年3月、平岡賢治教授(兼担)退職
- 令和3年4月、平岡賢治教授 (兼担) の後任として、青谷章弘准教授 (兼担) が就任
- 担当科目の見直しにより、宮田庄悟教授(兼担)の担当科目に、「企画力養成講座」を追加

- 担当科目の見直しにより、柳川和優教授(兼担)の担当科目から、「わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)」を削除 クラス再編にともない、梶原英二准教授(兼担)の担当科目に、「必修英語CⅡ」を追加 クラス再編にともない、木本一成教授(兼担)の担当科目に、「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」を追加し、「文章表現演習・標準」を削除 クラス再編にともない、迫田奈美子准教授(兼担)の担当科目から、「必修英語BⅡ」を削除
- クラス再編にともない、重野裕美講師(兼任)の担当科目に、「日本語文章表現」を追加し、「ビジネス日本語演習」「コミュニケーション実践」を削除
- 令和3年3月、土屋祐子准教授(兼担)退職
- 令和3年4月、土屋祐子准教授(兼担)の後任として、後藤心平准教授(兼担)が就任
- 令和3年9月、山田亜沙妃准教授(兼担)就任
- クラス再編にともない、藤田香織講師(兼担)の担当科目に「必修英語BI」を追加し、「必修英語CI」を削除
- クラス再編にともない、Forrest、Richard Andrew講師(兼担)の担当科目から、「英語表現・標準 $I \cdot II$ 」を削除クラス再編にともない、藤山和久准教授(兼坦)の担当科目から、「必修英語 $BI \cdot II$ 」を削除
- クラス再編にともない、森瑞樹准教授(兼坦)の担当科目から「必修英語AI」を削除
- クラス再編にともない、岩國智子講師 (兼任) の担当科目に、「英語理解・基礎徹底Ⅰ・Ⅱ」を追加
- · David Williams講師 (兼任) 退職
- クラス再編にともない、阿部翔太講師(兼任)の担当科目から、「日本語文章表現」を削除
- 竹本真希子講師 (兼任) 令和3年度本務校在外研究。当該年次の担当科目については、河合信晴講師 (兼任) が代行
- 竹本真希子講師(兼任)の在外研究により、「世界の思想と現代社会Ⅱ」科目代行として河合信晴講師(兼任)を採用(令和3年度のみ)
- 豊島桂子講師(兼任)退職
- クラス再編にともない、「英語表現・標準Ⅰ・Ⅱ」を西井美穂講師(兼任)が担当
- クラス再編により、西浦寛子講師(兼任)を採用
- クラス再編により、西本純子講師 (兼任) の担当科目から、「英語理解・基礎徹底 I・Ⅱ」を削除 クラス再編により、橋本朝子講師 (兼任) の担当科目に、「英語理解・基礎徹底 I・Ⅱ」を追加
- クラス再編により、Szuba Jamie講師 (兼任) の担当科目に、「英語表現・基礎徹底 I・II」「基礎英会話 I・II」を追加
- 堀田哲一郎講師(兼任)退職 堀田哲一郎講師(兼任)の後任として、森信吉講師(兼任)を採用
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
  - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>
  - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

#### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) -② 専仟教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	2	0	2	8	0	4	3	0	1	8	0
(4)	(2)	(0)	(2)	(8)	(0)						
	現在(	報告時)の	完成年度時	が状況			現在(	報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	3	0	1	8	0	4	3	0	1	8	0
[ ]	[ 1 ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 1 ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

  - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 ・「千事情成」には、ヨ政子部における教員の定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員教をび完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員教を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 現在(報告時)の状況(B) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	1	後任	補充状	況	京	优任辞退	人	就任)の理	由	
				必修	J	大学入門ゼミ	;;		1							
				必修	興	動人入門ゼ	111		1							
				必修		プレゼミ			1					して、経営学		
1	教授	堀江 浩司	R2. 3	必修		演習 I			1		和2年4月に 授が新たに					
				必修		演習Ⅱ			1		ため、転科				- 13/0 IT	012
				選択	インタ	ヌ ーンシップ I (	国内)		2							
				必修	Ł	ごジネス概論	Ħ		1							
				必修	J	大学入門ゼミ	:		1							
				必修	興	動人入門ゼ	Ξ.		1							
				必修		プレゼミ			1		山村耕一郎	教授の	後任と	として、経済	学科。	より
2	教授	得津 康義	R2. 3	必修		演習 I			1		令和2年4月	に転科	の予え	定であったか	、田	浦元
_	2010	17.14.14.14	112.0	必修		演習 Ⅱ			1		教授が新た			て令和2年4月 未就任(2		任し
				選択	人の行	i動を経済学で読み	⊁解く		2		1_1_0)、 #A	17 C 4X	ηυ、	不机压 (2	,	
				選択	_	ジネス統計	_		1							
				選択	ビジ	ネスデータ	分析		1							
		수計	(D)							後	L 经任補充状況	の集計	(F)	)		
	优任を辞			国数の合計	(a) +	(b) + (c)	(	1)の合計	数 (a)	-	②の合計			③の合計	上数 (d	2)
			ıΣ	修	11	科目		<u></u> 必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				択	4	科目		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
	2	人		由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				<del>''</del>	15	科目	<u> </u>	計	13	科目	 計	2	科目	計	0	科目
			Ē	"	10	17 🗖		пІ	10	行日	ĒΙ	۷	行日	ĒΙ	U	行日

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由の	别	旦当予定科目	1	後任	補充状	況		括	4任等	の理由		
					合計	(F)							後	经任補充状況	の集計	(G)	)		
		趏	揺し	た 教員数		担当科目	関数の合計	(a) +	(b) + (c)	1)0	合計	数(a)	)	②の合計	十数(b)	)	③の合計	†数(c	)
						必	修	0	科目	必修	参	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
						選	択	0	科目	選択	R	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0		人	自	由	0	科目	自由	b	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						Ē	†	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	)	②の合計	ł数(b	)	③の合計	十数(c	)	
		必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	
2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	15	科目	計	13	科目	計	2	科目	計	0	科目	

#### (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
  - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当3	予定科目	後任補充	状況	1		轻化	£等の	理由		
	190 12	443,201	必修		ス情報入門		7 // // 0	1		HT I-	L () 0)	- <u>-</u>		
1	教授	高岡 義幸	必修		へる概論	(1)		-	R2. 3.	31付70	歳でに	定年退職(2)	)	
2	教授	山村 耕一郎	必修		門演習S	(1)			R2. 3.	31付70	歳でに	定年退職(2	)	
	17.17	H13 48 AF	219	וי לאו נוו	1000	0				0.13.0	AX ()	C   Z=1,2 \=		
		£	計						後任補充料	犬況のタ	<b>集計</b>			
	辞任l	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	】数(a)		②の合計	十数(b)	)	③の合計	数(c	)
			必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
    - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

  - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

#### 「大学の所見」

「ハインがパン」 「高岡義幸教授及び山村耕一郎教授の定年による退職にあたり、当該教員の後任として、新規に教員2名(溝下博教授、田浦元教授)を採用 した。よって、届出当初後任予定であった経営学科堀江浩司教授、経済学科得津康義教授の転科を取消した。担当科目については、すべ て後任の当該教員が担当しており、学生には影響はない。

#### 「学生への周知方法」

時間割表、履修ガイダンス、ガイドブック等により周知を行っている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

#### 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
該当なし				
<i></i>				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

#### <メディアビジネス学部 ビジネス情報学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	(令和2年度) 新型コロナウイルス感染防止対策のため、前期授業期間を 4月10日~7月18日から4月27日~8月5日に変更 し、実施可能なすべての授業を遠隔授業で実施した。後期 は対面授業に切り替えたが、新型コロナウイルスの感染が 再拡大した令和3年1月4日から1月19日まで遠隔授業 に変更した。 遠隔授業が不可能な前期授業においては、開講時期を後期 に変更した。(2020年度のみ) 学生には、ポータルサイト、ホームページ、メールで周知 徹底した。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

#### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育・学習支援委員会を設置し、学内全体のFDを企画、運営している

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

委員会は年間9回実施、委員は、各学部・学科、部会から選出された委員のほか、事務局長を含む 事務系委員など12名で構成され、ほぼ毎回全員が出席し、協議を行っている。

- c 委員会の審議事項等
  - ・年間FD研修会実施計画、各研修会の内容のほか、FDに関連する授業アンケート、アセスメントテスト 実施、授業公開・参観、各種ワーキングの運営、入学前学習、初年次教育などについて、協議している。

#### ② 実施状況

- a 主な実施内容(2020年度分)
  - ・ アセスメントテスト結果報告 (「大学基礎カレポート結果報告」-2019年度生の学力・意識・行動ー) 2020年度生GPS-Academic (思考力・経験・行動)の実施報告
  - 学生対応研修会(オンライン授業について)
  - 著作権についての研修会(改正著作権法第35条の運用)
  - 授業研究会(授業参観と研究会)
  - シラバスの書き方
  - ICT授業研修会(LMS、オンデマンド、リアルタイム授業の具体的方策)
- b 実施方法
  - ・それぞれの研修会について、委員会にて実施要項を協議、教育・学習支援センターにて案内・実施を行う。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
  - ・2020年度に教育支援課が主催して実施した全10回の研修会に延べ617人の教員が参加した。 前年271人、約2.27倍の参加者となった。

それぞれの研修会の開催状況(日時・内容)と参加者数は次の通り

- ■アセスメントテスト結果報告 (オンライン) 実施日:令和2年8月25日16:00~17:00 内容:「大学基礎カレポート結果報告」-2019年度生の学力・意識・行動についてー 参加者:97名
- ■学生対応研修会(対面・オンライン) 実施日:令和2年9月12日10:00~11:10 内 容:オンライン授業における学生対応 参加者:72名
- ■アセスメントテスト結果報告(オンライン)実施日:令和2年8月25日15:00~16:00 内 容:「GPS-Academic結果報告」-2020年度生の学力・意識・行動について-参加者:74名
- ■シラバスの書き方と授業運営研修会(対面)実施日:令和2年12月10日16:30~17:30 内容:効果的な授業運営のためのシラバス作成術 参加者:100名
- ■学生 F D 研修会 (オンライン) 実施日: 令和3年2月9日13:00~14:30 内 容: 「学生FDプロジェクト」との意見交換会
- 参加者:25名
  ■ICT授業研修会(対面・オンライン)実施日:令和3年2月24日10:30~12:00
  内容:ICT機器や各種システムを利用したリアルタイム授業の運用方法や構成について参加者:48名
- ■ICT授業研修会(対面・オンライン)実施日:令和3年3月3日10:30~12:00 内容:ICT機器や各種システムを利用したオンデマンド授業の運用方法や構成について 参加者:47名
- ■授業改善研修会(対面・オンライン)実施日: 令和3年3月11日10:30~12:00 内 容: 2021年度大学入門ゼミの変更点と授業運営ついて説明 参加者: 55名
- ■授業改善研修会(オンライン)実施日:令和3年3月17日13:00~14:30 内容:著作権の基礎と改正著作権法第35条の運用について
- 参加者:56名
  ■ICT授業研修会(対面・オンライン)実施日:令和3年3月23日10:30~12:00
- I C F 授業研修会 (対面・オンライン) 美地日: 〒和3年3月23日10:30~12:00 内 容: ICT機器や各種システムを利用した対面授業の運用方法や構成について 参加者: 43名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学のカリキュラムの課題、アセスメントポリシーに基づいた成績評価、効果的なシラバスの書き方、学生 対応の研修会など、マクロからミクロ、細部にわたる研修会を実施することによって、カリキュラムを見つ めた個々の授業運営への改善につなげている。また、個々の授業を強化することによって、学科、学部のカ リキュラム改善、学生の質保証にもにつなげることができる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

全学部、全科目で実施している。前後期年2回学期末に実施している。2020年度前期はコロナ禍のため実施せず。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果については、各科目の学生評価に関するコメントを記入したものまとめ、冊子にして 学内で公開、また学内用HPにて全科目の評価結果について公表してフィードバックに努めている。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和3年4月にメディアビジネス学部ビジネス情報学科の第3期生が入学した。以下、その間の状況について述べる。

第1期生には、2年次の前期と後期に必修科目のビジネス情報入門ゼミとプレゼミを受講させた。このゼミは、10名程度の定員を設けるとともに学科の専任教員が担当することで、各教員の専門性による基礎教育を行っている。少人数教育の利点を活かした、ゼミ生間ならびに教員とゼミ生間における議論を通じて演習内容の理解度を高めることが出来た。また、経営学や情報学に関する基礎科目や一部の発展・応用科目を履修させることで経営学や情報学に関する理論的な内容について学ばせるとともに情報学に関する演習科目を履修させることでプログラミングや情報システムの活用方法について学ばせることが出来た。4月からはビジネスにおいて生じる諸問題を情報学によって解決する方法を学ぶために発展・応用科目を履修させている。

第2期生については、大学入門や学問入門を目的として設置されている大学入門ゼミ・興動人入門ゼミを実施した。このゼミでは、有意義な大学生活を送る上で必要な学習方法の理解をさせ、卒業後の進路について考えさせる機会を設けるとともに進路指導も行うことができた。また、経営学や情報学に関する入門科目を履修させることでそれぞれの基礎知識を学生に身につけさせることができた。4月からは、個々の学生が希望する人材育成モデルに沿うように基礎もしくは発展・応用に属する専門科目を履修させている。

第3期生については、明確な目的意識をもった上で4年間の学修に取り組んでもらえるように4月初旬に相次いで実施された履修ガイダンスや新入生歓迎オリエンテーションを通じて、本学科で養成しようとしている人物像ならびに人材育成モデル、カリキュラムの内容について理解させた。4月12日からは、前期の授業が始まり、現在は、大学入門ゼミ、経営学や情報学に関する入門科目ならびに共通科目を受講している。

最後に学科の専任教員の取り組みについて示す。本学の教育の柱になっているゼミ科目の担当者でワーキンググループを設置し、ゼミの運営上の問題点や学生指導の問題点を出し合い、それらを解決できるように盛んに議論している。また、ワーキンググループでの議論内容だけでなく、学生が選択している人材育成モデルの希望状況や学科の専門科目の履修状況などの教学に関する情報については、資料にまとめた上で月に一度開催している定例学科会の場で報告することによって全教員が在学生の情報を共有できるように努めている。

以上のことから本学科の設置の目的を達成するべく、学科運営が順調になされているものと判断する。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表(予定)時期
    - 令和3年7月1日 公表予定
  - b 公表方法
    - ・自己点検評価書を刊行し、本学図書館で閲覧可能とする。
    - 大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月1日頃)
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

# (5) 情報公表に関する事項

a 公表予定の有無 〔 有 · 無 〕	O i	設置計画履行状況報告	告書(令和3年度)	
	а	公表予定の有無	[ 有 · 無 ]	
b 公表(予定)時期 〔 調査結果公表後1ヶ月以内 〕	b	公表(予定)時期	[ 調査結果公表後1ヶ月以内 ]	
c 公表方法 「 ウェブサイトへの掲載 〕	С	公表方法	〔 ウェブサイトへの掲載 〕	

<sup>※</sup>設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 7. ①a 委員会の設置状況 関係規程

## 学校法人石田学園校務組織 • 分掌規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、学校法人石田学園(以下「法人」という。)及び法人が経営する広島経済大学(以下「本学」という。)の運営・教育に関する校務組織、職務分掌について必要な事項を定めることを目的とする。

(第2条~第54条は省略)

#### 第14章 委員会

(委員会の目的)

- 第55条 委員会は、学長が決定を行うに当たり、第57条に規定する事項について諮問に応じる。 (種目)
- 第56条 本学に次の委員会を置く。
  - (1) 自己点検·評価委員会
  - (2) 教務委員会
  - (3) 教育·学習支援委員会
  - (4) 地域経済研究所委員会
  - (5) 学生生活委員会
  - (6) 入試委員会
  - (7) 国際交流委員会
  - (8) 人権問題等検討委員会
  - (9) 個人情報保護委員会
  - (10) 興動館運営委員会
  - (11) 大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会
  - (12) 衛生委員会
  - (13) 危機管理委員会
  - (14) 出版委員会
  - (15) 教学情報分析委員会

(委員会への諮問事項)

第57条 各委員会への諮問事項は、広島経済大学教授会の審議事項及び各種委員会への諮問事項 に関する細則に定める。

(委員・委員長)

- 第58条 第56条に規定する委員会の委員は、若干人とし学長がこれを委嘱する。
- 2 委員会の委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長及び委員の任期は2年とする。ただし、留任は妨げない。 (会議)
- 第59条 第56条に規定する委員会は、学長又は委員長がこれを招集し、委員長が議長となる。 (定足数)
- 第60条 第56条に規定する委員会の定足数は、委員の過半数とする。 (臨時委員会)
- 第61条 理事長、学長、副学長、学部長又は大学院研究科長は、必要あるときは臨時に委員会を 組織し、会議を開くことができる。

(以下省略)